OLYMPUS

ラジオサーバー
ポケット

PJ-20

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報については カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について

- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

INDEX

目次 P.4

安全に正しくお使いいただくために P.6

お使いいただく前に P.10 1

基本的な機能を使う P.39 2

予約機能を使う P.66 3

設定機能を使う P.84 4

パソコンで使う P.113 5

資料 P.119 6

目次

はじめに

あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためにお読みください。

安全に正しくお使いいただくために 6

1　お使いいただく前に

製品に関する基礎的な情報をまとめています。

主な特長 10
各部のなまえ 11
　表示画面（液晶パネル） 12
　ストラップ（市販品）の取り付け 14
電源について 15
　電池を入れる 15
　電源を入れる／切る 16
誤操作を防止するーホールド機能 18
ラジオのご使用にあたって 19

製品を使う前の準備をしましょう。

本機単体での受信 20
アンテナステーションを使う 21
　設置のしかた 22
電池を充電する 25
　アンテナステーションを使って充電する 25
　USB 電源を使って充電する 26
microSD カードを入れる／取り出す 28
　microSD カードを入れる 28
　microSD カードを取り出す 29
　microSD カードについて 29
初期設定をする 30
　使用電池を選択する 30
　日付・時刻を合わせる 31
　音声ガイドを設定する 32
　放送局を自動登録する 33
モードの切り替え 35

ファイル管理をする際にお役だてください。

フォルダについて 36
　録音用フォルダについて 36
　フォルダ階層について 37
　音楽再生用フォルダについて 38

2　基本的な機能を使う

ラジオを聞いてみましょう。

AM ／ FM ラジオを聞く 39
　放送局リストから放送局を選ぶ 39
　イヤホンで聞くには 41
　受信中に放送局を変更する 41

いろんな音源を録音してみましょう。

録音する 43
　AM ／ FM ラジオを録音する 43
　マイクで録音する 44
　録音終了時間を設定する 46
　外部マイクや他の機器から録音する 47

再生してみましょう。

再生する 49

ファイルを操作してみましょう。

インデックス／テンプマークをつける 53
　インデックス／テンプマークをつける 53
　インデックス／テンプマークを消去する 54
部分リピート再生のしかた 55

- **ファイル検索**...56
  - ファイル検索画面を呼び出す...56
  - ファイル検索画面の操作...57
  - メモリを切り替える...60
  - ファイル情報を確認する...61
- **消去する**...63
  - ファイルを消去する...63
  - ［**フォルダ検索**］画面から消去する...64

3　予約機能を使う

便利な予約機能を使ってみましょう。

- **予約録音の設定**...66
  - 予約録音の設定画面を呼び出す...66
  - 予約録音の設定画面の操作...68
- **予約番号のオン・オフを切り替える**...72
  - １件ずつ切り替える...72
  - 一括で切り替える...73
- **予約録音の消去**...74
- **目覚まし機能**...75
  - 目覚まし機能の設定画面を呼び出す...75
  - 目覚まし機能の設定画面の操作...76
- **OFF タイマー**...81
- **予約機能の中止**...83

4　設定機能を使う

設定を切り替えることで、
より便利にご使用いただけます。

- **ラジオ設定**...84
  - 放送局をオートスキャンして更新する...84
  - 受信放送局を追加する...85
  - 地域を選択して放送局を自動登録する...87
  - 放送局を消去する...88
  - ラジオの機能を設定する...89
- **ファイル設定**...91
  - ファイルにロックをかける...91
  - ファイルを移動／コピーする...92
  - ファイルを分割する...94
- **録音設定**...96
- **再生設定**...99
- **表示／音設定**...103
- **本体設定**...107

5　パソコンで使う

パソコンとの連携操作ができます。

- **パソコンの動作環境**...113
- **パソコンに接続する**...115
  - パソコンから取り外す...116
- **ファイルをパソコンに取り込む**...117
- **パソコンの外部メモリとして使う**...118

6　資料

お困りのことや、製品をもっと知りたい場合にお役だてください。

- **警告表示一覧**...119
- **故障かな？と思ったら**...120
- **アクセサリー（別売）**...122
- **用語の説明**...123
- **主な仕様**...124
- **NHK 第一放送（周波数リスト）**...126
- **索引**...128

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

⚠ 危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

⚠ 警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

⊘

この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。

❗

この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、直に乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃する場合、アルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障が生じる恐れがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じる恐れがあります。

受信に関する注意事項：

- ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。受信状態が良好でない場合、窓際に移動したり携帯電話、テレビや蛍光灯などの電化製品から離れて使用してください。また、向きにより受信状態が改善されることがあります。

データ消失に関する注意事項：

- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消える恐れがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスクや記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 本製品は故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

録音したファイルに関する注意事項：

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

電池について

⚠ 危険

⊘ **火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

⊘ **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・火傷・ケガの原因となります。

⚠ 警告

⊘ **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。**

⊘ **⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

❗ **電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

⊘ **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**

⊘ **電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。**
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない場合、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

❗ **電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、直ちに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⊘ **充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。**

⊘ **電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合、直ちに医師に相談してください。

❗ **万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

⊘ **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。**

⊘ **液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合、使用を中止してください。**

❗ **電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。**

⊘ **火気のある場所に電池を置かないでください。**

⚠ 注意

⊘ **充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。**

⊘ **乾電池や容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。**

❗ **充電池は、同時に充電した充電池をご使用ください。**

⊘ **電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。**

❗ **充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。**

❗ **充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。**

充電式電池の廃棄に関する注意事項:

❗ **使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕と ⊖ 端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。**

Ni-MH

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ（http://www.jbrc.com）をご覧ください。

AC アダプタについて

⚠ 警告

⊘ **分解、修理、改造をしないでください。**
感電やケガの恐れがあります。

⊘ **内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
火災や感電の原因となります。

⊘ **引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。**
爆発や火災、火傷の原因となります。

⊘ **プラグ先端の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。**
火災や火傷、感電の原因となります。

❗ **落下や損傷により内部が露出したら、**

① 露出した内部に絶対触れないでください。感電、火傷、ケガの恐れがあります。
② 感電 、火傷 、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
③ お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

❗ **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**

① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

❗ **万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**

① 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠ 注意

⊘ **濡らしたり、濡れた手で触らないでください。**
感電の原因となります。

⊘ **表示の電源電圧以外で絶対使用しないでください。**

⊘ **電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。**

⊘ **電源プラグのコンセントへの差し込みが不完全なまま使用しないでください。**

⊘ **使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

⊘ **電源コードを傷つけないでください。**

- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- コードの上に重いものをのせないでください。
- 熱器具にコードを近づけないでください。
- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。
- 火災や感電の原因となります。

本機について

⚠ 警告

⊘ **分解、修理、改造をしないでください。**
感電やケガの恐れがあります。

⊘ **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。**
交通事故などの原因となります。

⊘ **この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。**
幼児、子供の近くで使用する場合、細心の注意を払い不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができません。また、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば：
- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

⊘ **microSD／microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。**
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

❗ **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

❗ **航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用はお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。**

❗ **異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止してください。**
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

⊘ **本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。**

⚠ 注意

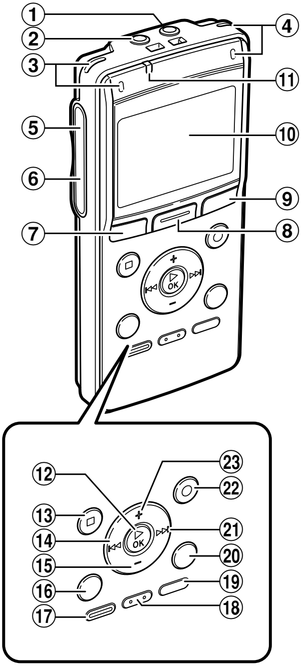
⊘ **操作のまえから、音量を上げないでください。**
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

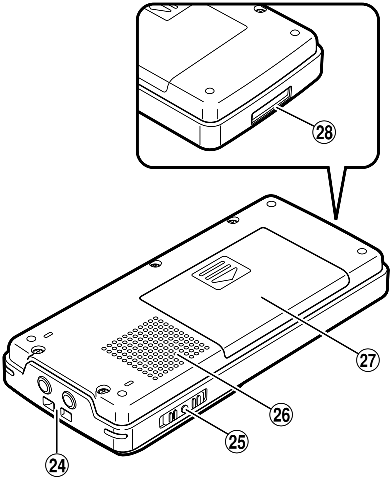
お使いいただく前に

主な特長

- **ラジオチューナーを搭載。**
  AM ／ FM ラジオを受信、録音できます（☞ P.39、43）。
  ラジオとしてもご使用いただける他、IC レコーダーやミュージックプレイヤーとしてもお楽しみいただけます（☞ P.44、P.49）。
- **便利な予約機能を搭載。**
  予約録音：
  日付・時刻での録音や曜日を指定しての繰り返し予約ができます（☞ P.66、P.72）。
  目覚まし機能：
  設定した時間に合わせてお好きな放送番組や音楽でお目覚めできます（☞ P.75）。
- **便利なファイル検索機能を搭載。**
  ファイルをさまざまな方法で検索できます（☞ P.56）。
- **テレビ受信用アンテナ（VHF アンテナまたはケーブルテレビ）が接続可能。**
  アンテナステーションを同梱。AM ループアンテナや FM ケーブルアンテナの他、
  テレビ受信用アンテナをご使用いただけます（☞ P.21）。
- **放送局の登録で選局が簡単。**
  AM、FM ラジオは地域を指定して
  放送局を登録できます（☞ P.33、P.87）。
- **MP3、WMA 形式に対応。**
  MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式の長時間録音が可能です。
  外部機器を接続すれば音声入力信号も録音できます（☞ P.47）。
  また、本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した MP3、WMA（Windows Media Audio）形式のファイルを再生できます。
- **記録メディアに対応。**
  メモリ選択機能：
  内蔵フラッシュメモリの他、市販の microSD/SDHC カードにも記録できます（☞ P.28、P.108）。
  本機で動作確認済みの microSD カードについては、弊社 Web サイトでご確認ください。
  http://olympus-imaging.jp/
  ファイルの移動／コピー機能：
  内蔵メモリと microSD カード間のファイル移動またはコピーができます（☞ P.92）。
- **便利な録音機能を搭載。**
  音声起動録音（VCVA）：
  音声に反応して自動的にマイク録音の開始・停止ができます（☞ P.96、P.98）。
  マイク感度の切り替え：
  録音状況に合わせてマイク感度の切り替えができます（☞ P.96、P.97）。
  ノイズフィルタ機能：
  ラジオの耳障りなノイズを低減し、ラジオの受信・録音音声を聞きやすくします（☞ P.89、P.90）。
  録音自動終了：
  指定した時間で録音が終了します（☞ P.46）。
- **便利な再生機能を搭載。**
  音声フィルタ：
  雑音部分が含まれる低音域と高音域をカットし、目的の音声をクリアに強調します（☞ P.99、P.100）。
  イコライザ：
  お好みに合わせて再生音質をお選びいただけます（☞ P.99、P.101）。
  イントロ再生：
  ファイルのイントロを数秒間再生し、聞きたいファイルを探すことができます（☞ P.103、P.106）。
- **語学学習などで便利な再生機能を搭載。**
  インデックス／テンプマーク：
  呼び出し位置を記憶させると、簡単に再生の開始位置を探すことができます（☞ P.53）。
  早聞き・遅聞き再生：
  放送番組や会議などの内容を早聞きで確認したり、聞き取りにくいところを遅聞きで再生できます（☞ P.51）。
- **音声ガイド機能を搭載。**
  操作状況を音声でお知らせする音声ガイド機能を使用すると、多彩な機能も簡単に操作できます（☞ P.103、P.105）。
- **USB2.0 に対応。**
  パソコンの外部メモリとして、データを高速で転送できます（☞ P.117、P.118）。
- **充電機能を搭載。**
  USB 充電機能またはアンテナステーションを使って充電できます（☞ P.25）。
- **自動時計補正機能を搭載。**
  NHK 第一放送の時報を利用して、設定した時刻に自動で時刻合わせができます（☞ P.107、P.109）。

各部のなまえ


①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
OK

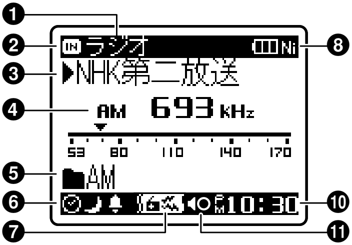


① **イヤホン**ジャック
② **マイク**ジャック
③ 内蔵ステレオマイク（L）
④ 内蔵ステレオマイク（R）
⑤ カードスロット
⑥ USB 端子
⑦ **モード**ボタン
⑧ **リスト**ボタン
⑨ **予約**ボタン
⑩ 表示画面（液晶パネル）
⑪ 録音表示ランプ
⑫ OK ▶ ボタン
（確定／再生）
⑬ **停止（■）**ボタン
⑭ **I◀◀** ボタン
⑮ **−**ボタン
⑯ **戻る**ボタン
⑰ **消去** 🗑 ボタン
⑱ **A-B** ボタン
⑲ **インデックス**ボタン
⑳ **設定** 🔧 ボタン
㉑ **▶▶I** ボタン
㉒ **録音（●）**ボタン
㉓ **＋**ボタン
㉔ ストラップ取り付け部
㉕ **電源／ホールド**スイッチ
㉖ 内蔵スピーカ
㉗ 電池カバー
㉘ アンテナステーション端子

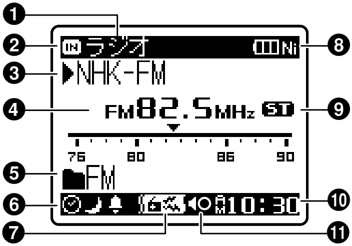
表示画面（液晶パネル）

ラジオモード受信表示画面

AMラジオ受信時：


❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❿
⓫
IN ラジオ
Ni
▶NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

FMラジオ受信時：


❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
IN ラジオ
Ni
▶NHK-FM
FM 82.5 MHz
ST
76 80 86 90
FM
10:30

❶ **モード表示**

❷ **メモリ表示**
 [IN]：内蔵メモリ表示
 [▶]：microSD カード表示

❸ **放送局名**

❹ **受信バンド表示**
 ラジオ受信時：周波数表示

❺ **保存先フォルダ名**

❻ **予約機能表示**
 [⏲]：予約録音表示
 [⏎]：OFF タイマー表示
 [🔔]：目覚まし表示

❼ **ノイズフィルタ表示**

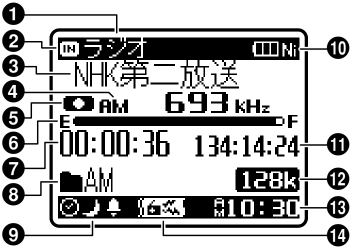
❽ **電池表示**
 [Ni]：ニッケル水素充電池表示
 [Al]：アルカリ電池表示
 [🔌]：AC アダプタ電源表示

❾ **受信モード表示**
 [ST]：ステレオ受信表示
 [MO]：モノラル受信表示

❿ **時刻表示**

⓫ **スピーカ出力表示**
 [🔈O]：スピーカ出力 ON
 [🔈⊘]：スピーカ出力 OFF

ラジオ録音時：


❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
⓬
⓭
⓮
IN ラジオ
Ni
NHK第二放送
AM
693 kHz
E
F
00:00:36
134:14:24
AM
128k
AM 10:30

❶ **モード表示**

❷ **メモリ表示**
  [IN]：内蔵メモリ表示
  [▶]：microSD カード表示

❸ **放送局名**

❹ **受信バンド表示**
  ラジオ受信時：周波数表示

❺ **録音状態表示**
  [●]：録音表示
  [II]：一時停止表示

❻ **メモリ残量バー表示**

❼ **録音経過時間**

❽ **保存先フォルダ名**

❾ **予約機能表示**
  [◷]：予約録音表示
  [♩]：OFF タイマー表示
  [🔔]：目覚まし表示

❿ **電池表示**
  [Ni]：ニッケル水素充電池表示
  [Al]：アルカリ電池表示
  [🔌]：AC アダプタ電源表示

⓫ **録音可能な残り時間**

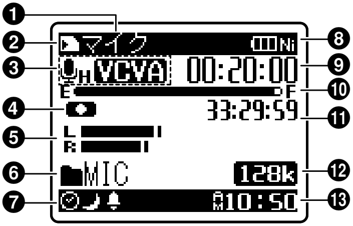
⓬ **録音ビットレート表示**

⓭ **時刻表示**

⓮ **ノイズフィルタ表示**

プレイヤーモードファイル表示画面

マイク録音時：


❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
⓬
⓭
マイク
Ni
H VCVA
00:20:00
E
F
33:29:59
L
R
MIC
128k
AM 10:5

❶ **モード表示**

❷ **メモリ表示**
  [IN]：内蔵メモリ表示
  [▶]：microSD カード表示

❸ **マイク感度表示**
  VCVA 表示

❹ **録音状態表示**
  [●]：録音表示
  [II]：一時停止表示

❺ **録音レベルメータ表示**

❻ **保存先フォルダ名**

❼ **予約機能表示**
  [◷]：予約録音表示
  [♩]：OFF タイマー表示
  [🔔]：目覚まし表示

❽ **電池表示**
  [Ni]：ニッケル水素充電池表示
  [Al]：アルカリ電池表示
  [🔌]：AC アダプタ電源表示

❾ **録音経過時間**

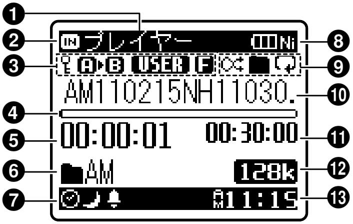
❿ **メモリ残量バー表示**

⓫ **録音可能な残り時間**

⓬ **録音ビットレート表示**

⓭ **時刻表示**

再生時、停止時：


❶
❷
❸
❹
❺
❻
❼
❽
❾
❿
⓫
⓬
⓭
IN プレイヤー
Ni
A▸B USER F
AM110215NH11030.
00:00:01
00:30:00
AM
128k
11:15

❶ **モード表示**

❷ **メモリ表示**

  [IN]：内蔵メモリ表示

  [▶]：microSD カード表示

❸ **[🔒]：ファイルロック表示**

  [A▸B]：部分リピート表示

  [ROCK]／[POP]／[JAZZ]／[USER]：イコライザ表示

  [F]／[S]：早聞き／遅聞き表示

❹ **再生位置バー表示**

❺ **再生経過時間**

❻ **フォルダ名**

❼ **予約機能表示**

  [🕒]：予約録音表示

  [⏾]：OFF タイマー表示

  [🔔]：目覚まし表示

❽ **電池表示**

  [Ni]：ニッケル水素充電池表示

  [Al]：アルカリ電池表示

  [🔌]：AC アダプタ電源表示

❾ **再生モード表示**

  [🔀]：ランダム再生表示

  [📁]／[📁🔁]：フォルダ／フォルダリピート再生表示

  [🔁]：ファイルリピート再生表示

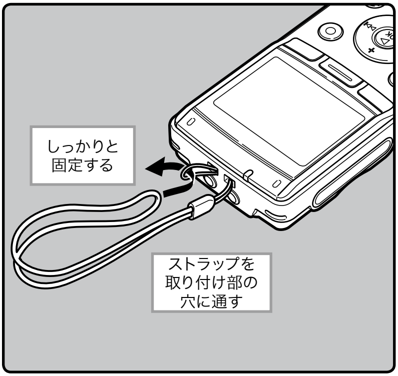
❿ **ファイル名・タイトル名**

⓫ **ファイルの長さ**

⓬ **ビットレート表示**

⓭ **時刻表示**

ストラップ（市販品）の取り付け



しっかりと固定する

ストラップを取り付け部の穴に通す

ストラップ取り付け部に固定する

- ・ 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ・ ストラップは付属されていません。

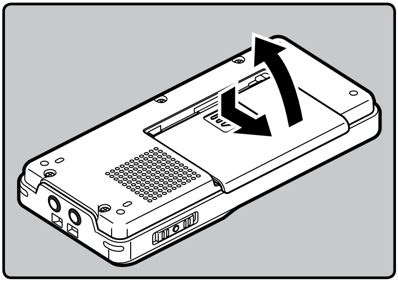
電源について

電池を入れる

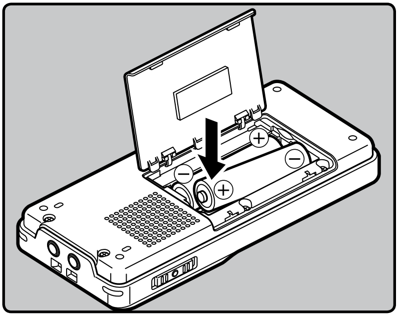
本機は付属の充電池の他、市販の単４形アルカリ乾電池を使用できます。

- 本機で充電する場合、必ず付属の専用ニッケル水素充電池（BR404）をご使用ください。
- 付属の充電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、完全に充電することをおすすめします（☞ P.25）。

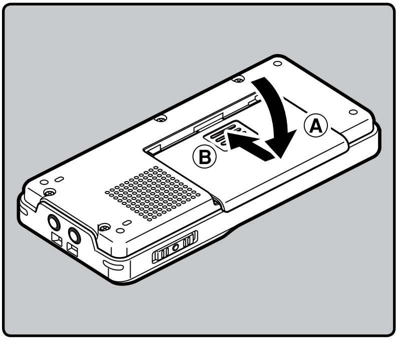
1 電池カバーの矢印部分を上から軽く押しながら、スライドさせて電池カバーを開ける



2 単４形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる



3 電池カバーを Ⓐ の方向に閉じて Ⓑ の方向にスライドさせ、電池カバーを完全に閉める

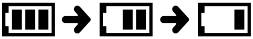


ご注意

- 本機でマンガン電池はご使用になれません。
- 交換の際は単 4 形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池（BR404）をご使用ください。
- 他社製のニッケル水素充電池をご使用になると故障の原因となりますので、絶対におやめください。
- 電池の交換は必ず本機の電源を切ってから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生する恐れがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が 1 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れをすると、初期設定が必要になる場合があります（☞ P.30）。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- ニッケル水素充電池を使用する場合、［**電池選択**］の設定で［**ニッケル水素電池**］を選んでください。市販のアルカリ電池を使用する場合、［**アルカリ電池**］を選んでください（☞ P.30、P.108）。

電池表示について

電池の残量に応じて電池表示が次のようにかわります。



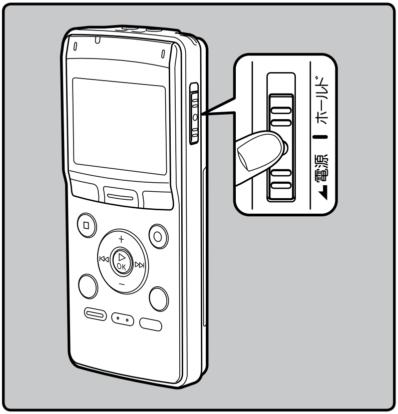
- [▭▮] 表示にかわった場合、早めに充電池を充電するか新しい電池に交換してください。電池がなくなると、[▭] と [**電池残量がありません**] が表示され、動作が停止します。
- 内蔵スピーカで再生するとき、電池表示が [▮▮▮] であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてご使用ください。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電池の電池持続時間は短くなります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間が短くなります。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は異なります。

電源を入れる／切る

本機をご使用にならない場合、電源を切ることで電池の消耗を最小限に抑えられます。電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

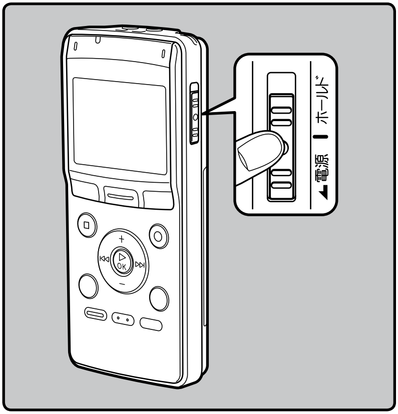
電源／ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる



- 電源が入り画面が点灯します。
- ご購入後はじめてご使用になる場合や、長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合は、初期設定画面が表示されます (☞ P.30)。
- 本機の内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルの数が多い場合、起動に時間がかかることがあります。この場合、パソコンや他の記録メディアにデータをコピーし、内蔵メモリまたは microSD カードからファイルを消去することをおすすめします。

電源を切る

ラジオ受信中または停止中に、**電源／ホールド**スイッチを矢印の方向へ0.5 秒以上スライドさせる



- 画面が消灯し電源が切れます。

ご注意

- [**OFF タイマー**] を設定している場合、設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます (☞ P.81)。

省電力機能について [スリープ]

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります (☞ P.107、P.108)。

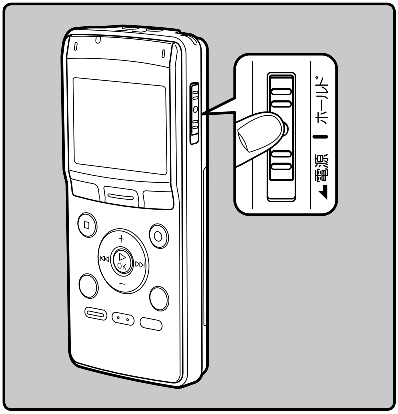
- スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する―ホールド機能

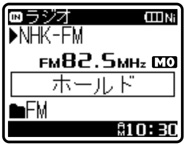
ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びなどに便利です。

ホールドにする

ラジオ受信中、録音中または再生中に、電源／ホールドスイッチをホールド側へスライドさせる

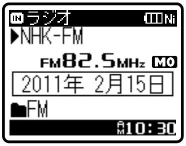


- ［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。



IN ラジオ Ni
▶NHK-FM
FM82.5MHz MO
ホールド
FM
10:30

- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、日付表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。



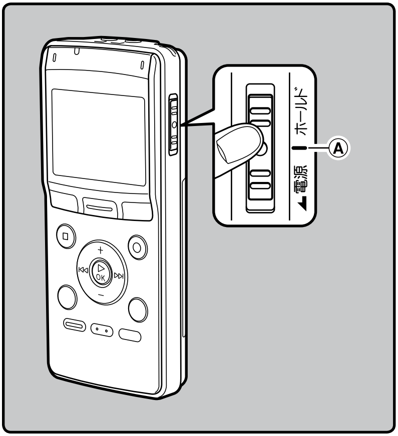
IN ラジオ Ni
▶NHK-FM
FM82.5MHz MO
2011年 2月15日
FM
10:30

ご注意

- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了またはメモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

ホールドを解除する

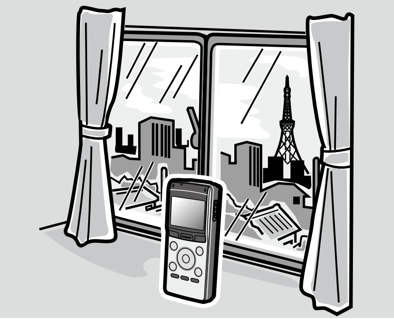
電源／ホールドスイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる



ラジオのご使用にあたって

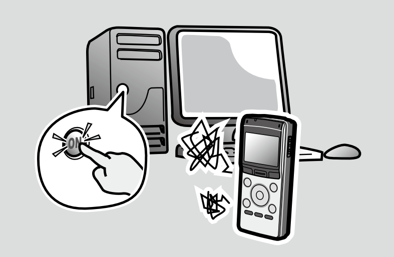
ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。また、受信場所周囲の電気製品などが原因で受信障害が起きる場合もあります。受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください。

- **建物の中やビルの影では、受信できない場合があります：**



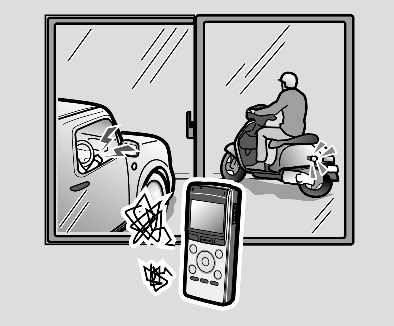
電波の届きやすい場所に移動してください。建物の中では窓辺に移動すると放送波を受信しやすくなります。

- **電気製品の近くでは、受信できない場合があります：**



電気製品から離れた場所に移動してください。

- **自動車やバイクの近くでは、ノイズが入る場合があります：**



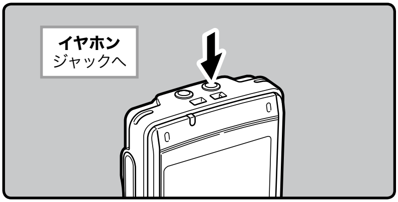
自動車やバイクから離れた場所に移動してください。

本機単体での受信

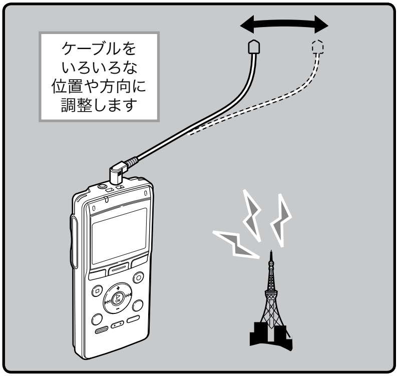
本機単体でラジオを受信する場合、イヤホン、 FMケーブルアンテナや内蔵のAMアンテナを使ってラジオ放送を受信します。ただし、放送エリア外や山間部など地形により電波の届かない場所でのラジオ受信はできません。あらかじめご了承ください。

FMラジオを受信する:

1 本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンまたは FM ケーブルアンテナを接続する



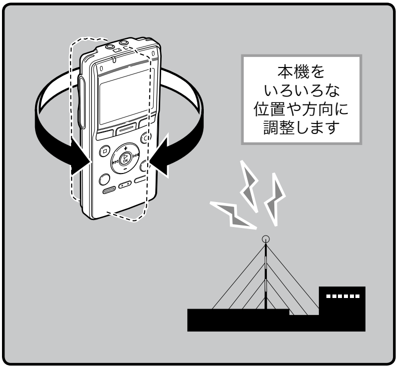
2 受信状態が良好になるようにアンテナの位置を調整する


ケーブルを
いろいろな
位置や方向に
調整します

- 付属のイヤホンはFMアンテナの役割もしています。
- イヤホンや FM ケーブルアンテナと接続した場合、ケーブルをなるべく伸ばして位置や向きを調整し、より良い受信状態にしてください。この場合、ケーブルに何も引っかからないよう周囲の状況に十分ご注意ください。
  また、イヤホンや FM ケーブルアンテナを本機に巻きつけて使用することはお避けください。

AM ラジオを受信する:

本機の位置や方向を調整して、ノイズが少なく受信状態が良好な場所で使用する


本機を
いろいろな
位置や方向に
調整します

- AM アンテナは内蔵型です。受信状態が悪い場合、直接本機の位置や向きを調整してください。

ご注意

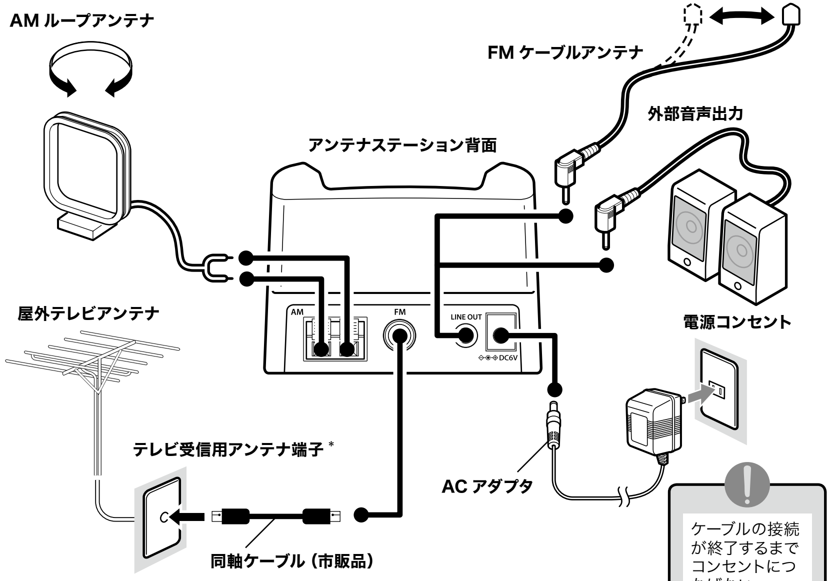
- 放送エリア内でもトンネルや地下道、コンクリートで構造物を覆っているようなビルやマンションの内部や、これら建物の影などでは電波が届きにくくなる場合が多くあります。このような場所でのラジオ受信はできません。
- 本機でラジオを受信する場合、携帯電話、パソコンやテレビなど他の電気製品と同時に使用することはお避けください。ノイズが発生する恐れがあります。

アンテナステーションを使う

アンテナステーション（同梱）を使用すると、家庭用電源から本機に電源を供給できます。また、外部アンテナ端子にAMループアンテナ、FMケーブルアンテナや同軸ケーブル（市販品）を接続できます。
受信状態の良好な場所に設置してください。

❗ 設置前にお読みください：

すべてのケーブルの接続が終了するまでは、電源プラグをコンセントにつなげないでください。また本機の電源は設置が終了するまで入れないでください。


AM ループアンテナ
FM ケーブルアンテナ
外部音声出力
アンテナステーション背面
屋外テレビアンテナ
AM
FM
LINE OUT
DC6V
電源コンセント
テレビ受信用アンテナ端子 *
AC アダプタ
同軸ケーブル（市販品）

ケーブルの接続が終了するまでコンセントにつなげない。

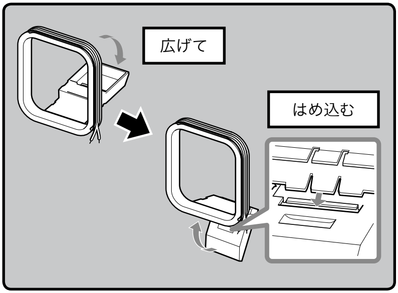
* テレビ受信アンテナ端子が VHF アンテナまたは FM 放送を送信しているケーブルテレビの場合、感度向上の効果があります。

❗ 設置場所の選びかた：

- ✔ 車道に面した部屋を避け、受信状態がもっとも良好な部屋を選び設置してください。
- ✔ 蛍光灯の真下などは避け、他の電気製品から離れた場所を選び設置してください。
- ✔ アンテナステーションを設置する場合、不安定な台の上などはお避けください。平らで安定した場所を選び設置してください。
- ✔ お部屋のテレビ受信用アンテナ端子を使いアンテナステーションに接続する場合、事前にアンテナ端子の形状をご確認のうえ同軸ケーブル（市販品）をご用意ください。

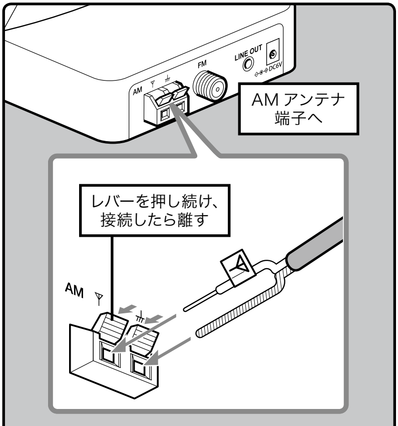
設置のしかた

1 AM ループアンテナを組み立てる



2 AM ループアンテナを接続する

- 実際にラジオを受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置や向きを調整してください。


LINE OUT
FM
DC6V
AM
AM アンテナ端子へ
レバーを押し続け、接続したら離す
AM

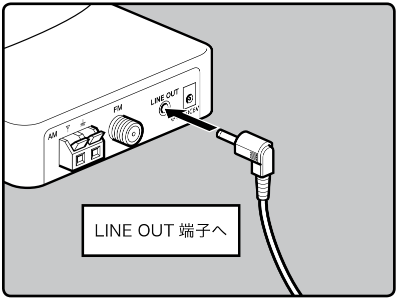
白い線は [Y] 側の端子に接続してください。

- 他の電気製品やアンテナステーションの電源ケーブルに沿って置くと受信障害が起こる場合がありますのでお避けください。

3 FM アンテナを接続する

FM ケーブルアンテナを使う場合：

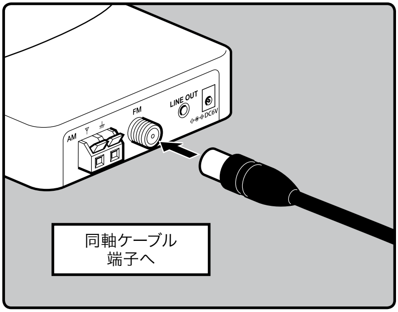
- FM ケーブルアンテナは簡易アンテナです。
- 実際にラジオを受信して、より良い受信状態になるように、アンテナの位置を調整してください。


AM
FM
LINE OUT
DC6V
LINE OUT 端子へ

- LINE OUT 端子は、FM ケーブルアンテナ端子として使用できるほか、音声出力端子としても使用できます。アンテナステーションを外部のスピーカに接続して音声出力する場合、FM ラジオの受信にはテレビ受信用アンテナ（同軸ケーブル）をご使用になるか（☞ P.23）、付属のイヤホンまたは FM ケーブルアンテナをイヤホンジャックに接続してご使用ください（☞ P.20）。

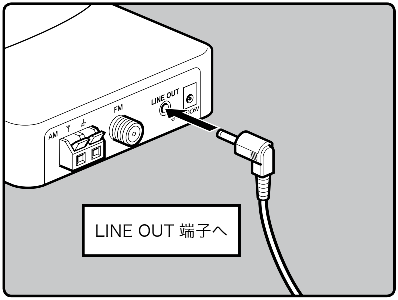
テレビ受信用アンテナを使う場合：

- テレビ受信用アンテナ（VHF アンテナまたはケーブルテレビ）を接続すればより安定した受信状態でお使いいただけます。
- テレビ受信用アンテナを接続する場合、FM ケーブルアンテナの接続は必要ありません。


AM
FM
LINE OUT
DC6V
同軸ケーブル
端子へ

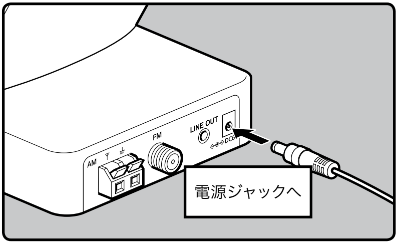
4 外部のスピーカに接続する

- FM ケーブルアンテナを使っている場合は、LINE OUT 端子を使って外部のスピーカに接続できません。

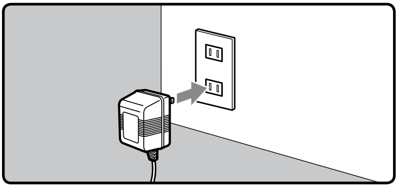

AM
FM
LINE OUT
DC6V
LINE OUT 端子へ

- 外部のスピーカに接続して音声出力する場合、[**アンテナステーション出力**] を [**アンテナステーション**] に設定します（☞ P.103、P.105）。

5 アンテナステーションの電源ジャックに AC アダプタのプラグを接続する

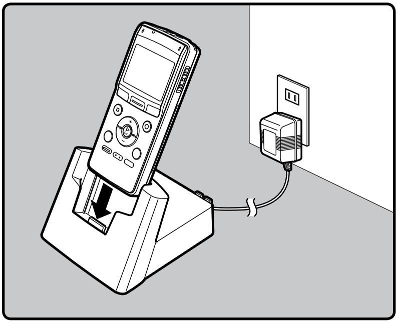

AM
FM
LINE OUT
DC6V
電源ジャックへ

6 ACアダプタの電源プラグを家庭用電源のコンセントに差し込む

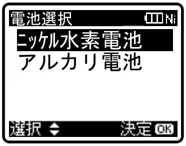


7 本機をアンテナステーションに差し込む

- 角度が合わないままで、無理にアンテナステーションに差し込まないでください。

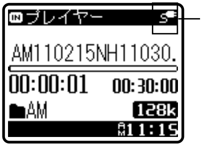


- ご購入後はじめてご使用になる場合、初期設定画面が表示されます。初期設定がお済みでない場合、電池の選択、日付･時刻、音声ガイドの設定および放送局の登録をしてください（☞ P.30）。


電池選択 Ni
ニッケル水素電池
アルカリ電池
選択 ⇕ 決定 OK

初期設定画面

- 本機に付属の充電池を使用している場合、充電が始まります（☞ P.25）。
- アンテナステーションの AC アダプタの電源を使用する場合、[🔌] が表示されます。


プレイヤー
AM110215NH11030.
00:00:01 00:30:00
AM 128k
11:15

AC アダプタ電源表示

8 本機の電源を切り、アンテナステーションから取り外す

- 電源を入れたまま、アンテナステーションから本機を取り外さないでください。設定済みの各種機能が初期値に戻る恐れがあります。

ご注意

- ラジオ番組などを録音する場合、安定した電源供給ができるアンテナステーションのご使用をおすすめします。電池切れで録音が途切れることもありません。
- 本機をアンテナステーションに接続して使用する場合、FM アンテナは本機のイヤホンジャック、アンテナステーションの FM ケーブルアンテナまたはテレビ受信用アンテナのいずれかのみ接続してください。複数の FM アンテナを接続すると、受信感度が低くなる恐れがあります。
- FM ケーブルアンテナは簡易アンテナです。窓辺など電波の届きやすい場所で、位置や向きを調整してご使用ください。受信状態が十分に改善されない場合、設置場所を変えるかアンテナステーションの同軸ケーブル端子にテレビ受信用アンテナ（同軸ケーブル（市販品））を接続してください。
- テレビ受信用アンテナをご使用の場合、ケーブルテレビ局などを経由してテレビを受信されているとラジオ放送局の周波数が通常と異なることがあります。
  詳しくはケーブルテレビ局などにお問い合わせください。
- ＡＭラジオは特に周囲の状況により受信状態が左右されます。電気製品、電源コードや電源コンセントから離れた場所でご使用いただくか、これら電気製品の電源を切ってからご使用ください。
  また、道路や道路に面した部屋などに設置すると、自動車やバイクのウィンカーやイグニッションなどでもノイズが入ってしまう恐れがありますのでご注意ください。
- 本機が録音中の場合、アンテナステーションからの抜き差しをしないでください。録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

電池を充電する

本機に付属の充電池は、本機をアンテナステーションまたはUSB電源に接続して充電できます。

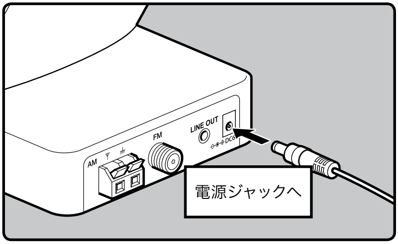
ご注意

- 市販のアルカリ電池は充電できません。
- 付属の充電池を入れ、［**電池選択**］の設定を［**ニッケル水素電池**］にしてください。［**電池選択**］の設定が［**アルカリ電池**］の場合、充電できません (☞ P.15、P.30、P.107、P.108)。

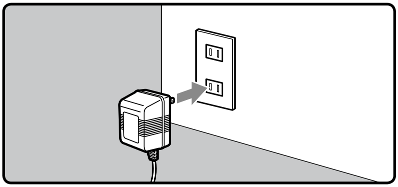
アンテナステーションを使って充電する

付属のアンテナステーションに本機を接続し、充電池を充電できます。

1 アンテナステーションの電源ジャックにACアダプタのプラグを接続する

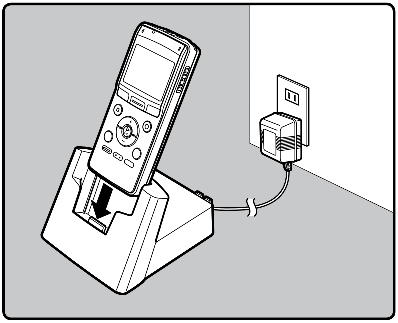

AM
FM
LINE OUT
DC
電源ジャックへ

2 ACアダプタの電源プラグを家庭用電源のコンセントに差し込む

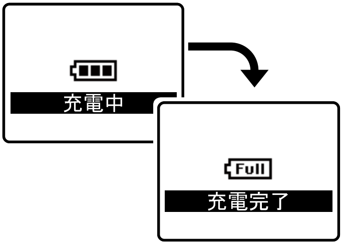


3 本機をアンテナステーションに差し込む

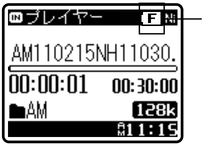
- 角度が合わないままで、無理にアンテナステーションに差し込まないでください。



- 本機の電源が切れている状態またはスリープモードのときにアンテナステーションに接続すると、［**充電中**］が表示され充電が開始されます。充電が完了すると［**充電完了**］が表示されます。


充電中
Full
充電完了

- アンテナステーションに接続して本機を使用しながら充電することもできます。充電が完了すると、［F］が表示されます。


プレイヤー
F
AM110215NH11030.
00:00:01
00:30:00
AM
128k
11:15

充電完了表示

ご注意

- 本機をアンテナステーションから取り外す場合は､本機の電源を切ってください(☞ P.17)。電源を入れたまま取り外した場合、設定済みの各種機能が初期値に戻る恐れがあります。

USB 電源を使って充電する

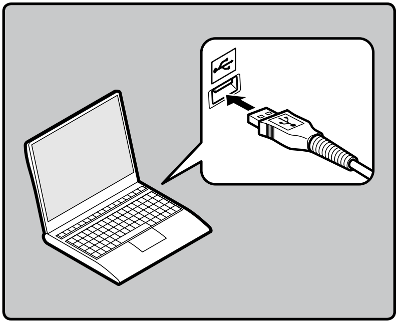
USB 接続ケーブルを使用し、本機をパソコンに接続して充電できます。

! **USB 接続ケーブルを接続する前にホールドを解除してください(☞ P.18)。**

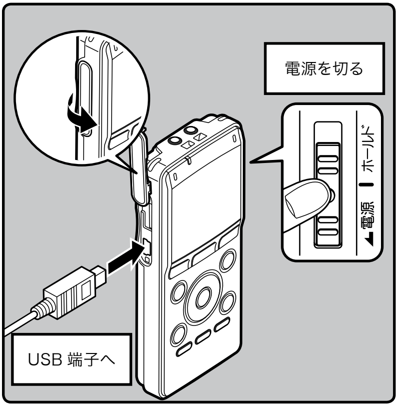
パソコンから充電する

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する



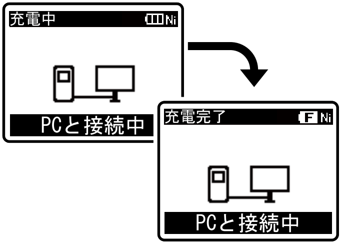
3 本機の電源が切れていることを確認し、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する


電源を切る
ホールド
電源
USB 端子へ

- 録音中や再生中の他、ラジオを受信している場合、パソコンが本機を認識できません。

4 [OK **ボタンで充電を開始します**] が表示されているときに、OK ▶ ボタンを押す

- [**充電中**] が表示され､充電を開始します。[**充電完了**] と表示されたら充電完了です。



充電中

PCと接続中

充電完了

PCと接続中

ご注意

- ＵＳＢ接続したパソコンの電源が入っているときに充電をしてください。
  パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合、充電できません。
- パソコンと接続して充電するときは USB ハブを使用しないでください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

充電について

ニッケル水素充電池（BR404）を使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 ～ 42℃
充電：5 ～ 35℃
長期保管：－ 20 ～ 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合、液漏れ・さびを防ぐため、充電池を取り外して保管してください。

■ 充電時間：

約 3 時間

室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。電池の残量や充電の状態などにより異なります。

ご注意

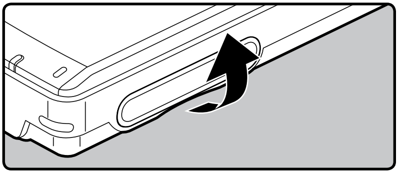
- [C] ***1** または [H] ***2** が点滅している場合、充電できません。周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境で充電してください。
  ***1** [C] ：周囲の温度が低い場合
  ***2** [H] ：周囲の温度が高い場合
- ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1カ月以上）使用していない電池は、完全に充電されない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
- 充電池は、関係する法令に従って処分してください。充電池を完全に放電しないで処分する場合、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

microSD カードを入れる／取り出す

本機は、録音・再生用メモリとして microSD または microSDHC カードを使用できます。
本書に記載されている「microSD」とは microSD と microSDHC の両方をさします。

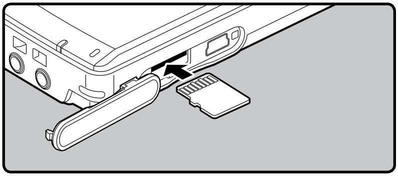
microSD カードを入れる

1 microSD カードスロットのカバーを開ける



2 microSD カードスロットに、microSD カードの向きを正しく合わせて差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

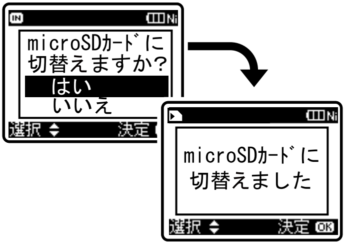
- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。



- microSD カードの向きを間違えたり斜めに入れると、接触面が破壊されたり microSD カードが抜けなくなる場合があります。

3 microSD カードスロットのカバーを閉じる

- 本機がプレイヤーモードの停止中のときに microSD カードを入れた場合は、記録メディアの切り替え画面が表示されます。**+**または**−**ボタンを押して［**はい**］を選んで OK ▶ ボタンを押すと、microSD カードモードに切り替わります。



microSDｶｰﾄﾞに
切替えますか?
はい
いいえ

microSDｶｰﾄﾞに
切替えました

- プレイヤーモードの停止中以外のときに microSD カードを入れた場合は、停止すると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。
- microSD カードモードに切り替わると、画面に［▶］が表示されます。
- 記録メディアは、［**本体設定**］の［**メモリ選択**］で変更できます（☞ P.107、P.108）。
- microSD カードに保存されているファイルの数が多い場合、カードの認識に時間がかかることがあります。この場合、パソコンや他の記録メディアにデータをコピーし、microSD カードからファイルを消去することをおすすめします。

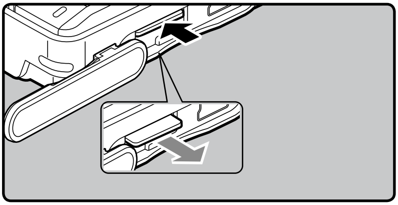
ご注意

- 本機に microSD カードを入れると、[**しばらくお待ちください**] が表示されます。メッセージが表示されている間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。

microSD カードを取り出す

1 microSD カードスロットのカバーを開ける

2 microSD カードを押し込む



・［**メモリ選択**］の設定を［**microSD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切替えました**］と表示されます。

3 microSD カードをゆっくりと引き抜く

4 microSD カードスロットのカバーを閉じる

microSD カードについて

本機で microSD カードを使うときは、microSD カードを初期化してください (☞ P.107、P.111)。

> **!** **初期化は必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンで初期化した microSD カードは、使用できないことがあります。**

microSD カードの取扱いについて

- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機での録音／再生ができません。
- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カードの取り付け／取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。また、microSD カードおよび本機のカードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードの製造メーカーや種類によっては本機との相性により正しく認識しないことがあります。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードについては、当社サポートホームページをご覧ください。
  http://olympus-imaging.jp/
  ホームページでは弊社が動作確認を行った microSD カードメーカーを紹介していますが、弊社がお客様に microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各カードメーカーの仕様変更などにより、対応できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご利用の際は、必ず microSD カードに付属の取扱説明書を合わせてお読みください。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。 また、microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。 この場合、microSD カードを初期化し直してください (☞ P.107、P.111)。
- microSD カード全ての動作を保障するものではありません。

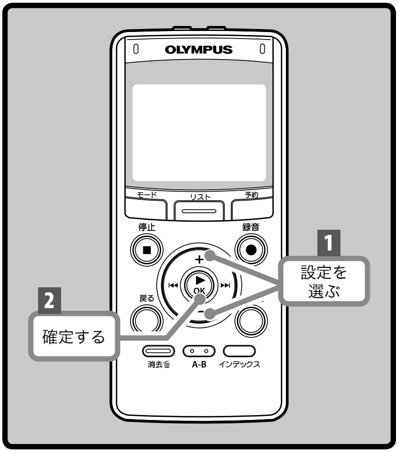
初期設定をする

初期設定で使用電池の選択、日付・時刻および音声ガイドの設定と、放送局を登録します。本機の時計機能を設定すると、録音時に「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。また、登録した放送局の呼び出しが簡単になり、放送番組などの予約録音もできます。あらかじめ初期設定をしてください。

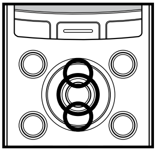
❗ **ご購入後はじめてご使用になる場合や長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、初期設定画面が表示されます。**

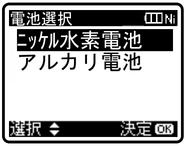
[**電池選択**]画面が表示された場合は、「**使用電池を選択する**」(☞ P.30)、「**日付・時刻を合わせる**」(☞ P.31)、「**音声ガイドを設定する**」(☞ P.32) および「**放送局を自動登録する**」(☞ P.33) の操作をします。

使用電池を選択する



1 **＋**または**－**ボタンを押して [**ニッケル水素電池**] または[**アルカリ電池**] を選ぶ





電池選択
ニッケル水素電池
アルカリ電池
選択 ⇕ 決定 OK

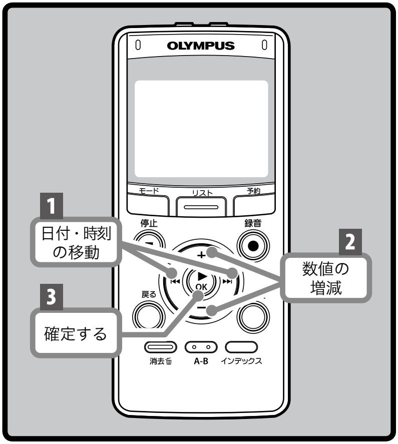
- オリンパス製ニッケル水素充電池 (BR404) をご使用の場合、[**ニッケル水素電池**] をお選びください。
- アルカリ乾電池をご使用の場合、[**アルカリ電池**] をお選びください。

2 OK ▶ ボタンを押す

- 電池選択は、[**本体設定**] の [**電池選択**] 画面 (☞ P.107、P.108) からも行えます。
- 電池交換後は [**電池選択**] 画面が表示されます。ご使用の電池を選択してください。

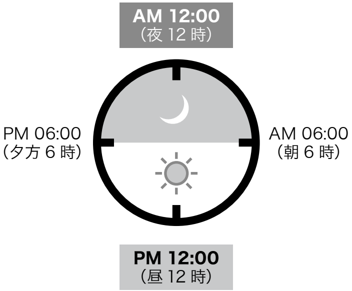
❗ OK ▶ を押すと [**時計設定**] 画面に入ります。「 **日付・時刻を合わせる** 」にお進みください。

日付・時刻を合わせる


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス
1
日付・時刻の移動
2
数値の増減
3
確定する

時刻合わせのときは

本機の時刻表示は、12時間表示または 24 時間表示を選ぶことができます。12 時間表示で時刻を合わせる場合、午前と午後の 12 時を間違えないようご注意ください。

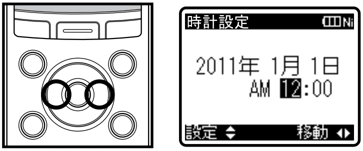

AM 12:00
（夜 12 時）
PM 06:00
（夕方 6 時）
AM 06:00
（朝 6 時）
PM 12:00
（昼 12 時）

ご注意

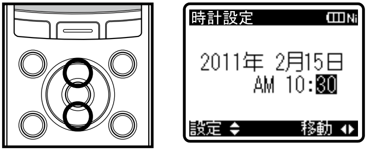
- 昼の 12 時に時刻合わせをする場合、［**PM 12:00**］に設定してください。

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**年**」「**月**」「**日**」「**時**」「**分**」の中から、設定したい項目に合わせてください。


時計設定
2011年 1月 1日
AM 12:00
設定 ◆
移動 ◀▶

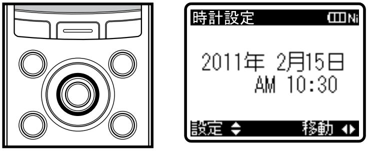
2 ＋または－ボタンを押して設定する


時計設定
2011年 2月15日
AM 10:30
設定 ◆
移動 ◀▶

- ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、**＋**または**－**ボタンを押して設定します。
- 「**時**」または「**分**」の設定時に**モード**ボタンを押すと、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

3 OK ▶ ボタンを押す

- 時報などに合わせて OK ▶ ボタンを押してください。設定した日時で本機の時計が動き始めます。


時計設定
2011年 2月15日
AM 10:30
設定 ◆
移動 ◀▶

OK ▶ ボタンを押すと［**音声ガイド**］画面に入ります。「**音声ガイドを設定する**」にお進みください。

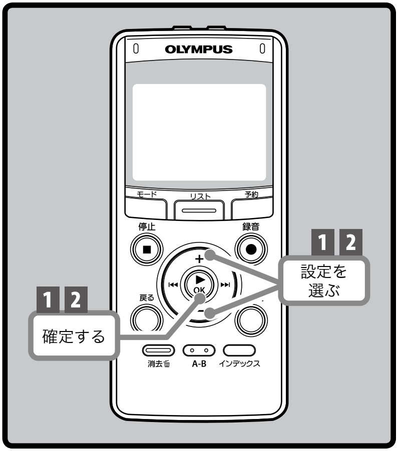
時刻自動補正機能について

[**時計補正設定**] 機能を設定すると (☞ P.107、P.109)、本機の電源が切れているときに NHK 第一放送の時報を利用して自動的に時刻合わせをします。

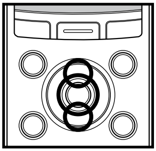
ご注意

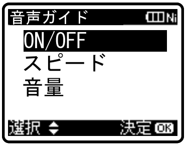
- NHK 第一放送が放送局リストに登録されていないと、時刻自動補正は機能しません。
  NHK 第一放送の受信については「**NHK 第一放送 (周波数リスト)**」もご覧ください (☞ P.126)。
- NHK 第一放送の受信状態が良くない場合は機能しません。
- 本機の時刻と現在の時刻が前後 5 分以上ずれている場合、補正できません。設定画面から日付・時刻を合わせ直してください (☞ P.107、P.108)。

音声ガイドを設定する

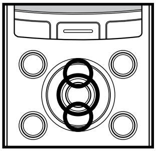

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
+
OK
戻る
−
消去
A-B
インデックス
1 2
設定を選ぶ
1 2
確定する

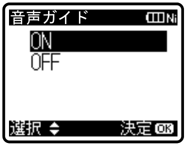
1 **+**または**−**ボタンを押して [**ON/OFF**] を選び、OK ▶ ボタンを押す




音声ガイド
ON/OFF
スピード
音量
選択 ⇕
決定 OK

2 **+**または**−**ボタンを押して [**ON**] または [**OFF**] を選び、OK ▶ ボタンを押す

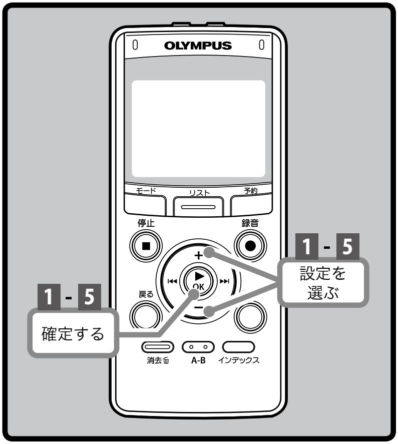



音声ガイド
ON
OFF
選択 ⇕
決定 OK

- [**ON**] に設定した場合は、音声ガイドのスピードと音量を設定できます (☞ P.106)。

! OK ▶ ボタンを押すと [**FM 局自動登録**] 画面に入ります。「**放送局を自動登録する**」にお進みください。

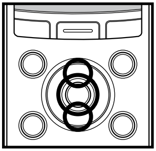
放送局を自動登録する

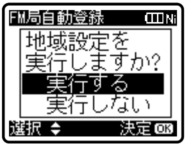

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス

1 - 5 設定を選ぶ

1 - 5 確定する

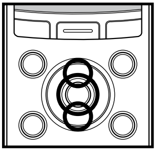
1 **＋または－ボタンを押して［実行する］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

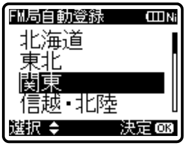



FM局自動登録
地域設定を
実行しますか?
実行する
実行しない
選択 ◆
決定 OK

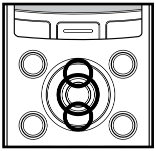
- ［**実行しない**］を選ぶと、FMラジオ局は登録されません。そのまま［**AM 局自動登録**］画面に入ります。

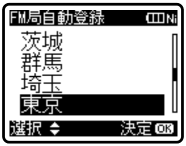
2 **＋または－ボタンを押してお住まいの地方を選び、OK ▶ ボタンを押す**




FM局自動登録
北海道
東北
関東
信越・北陸
選択 ◆
決定 OK

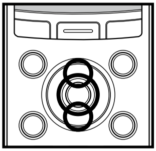
3 **＋または－ボタンを押してお住まいの都道府県を選び、OK ▶ ボタンを押す**

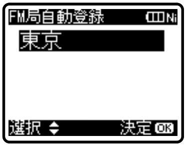



FM局自動登録
茨城
群馬
埼玉
東京
選択 ◆
決定 OK

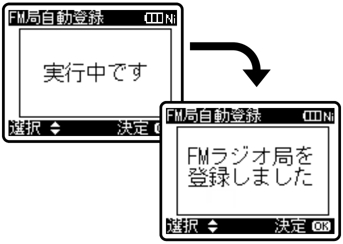
- お住まいの絞込みの途中で間違えた場合、**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

4 **＋または－ボタンを押してお住まいの地域を選び、OK ▶ ボタンを押す**



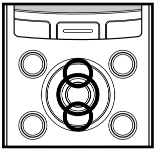

FM局自動登録
東京
選択 ◆
決定 OK

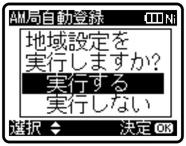
- ［**実行中です**］が表示され、FMラジオ局の自動登録を開始します。［**FM ラジオ局を登録しました**］と表示されたら終了です。


FM局自動登録
実行中です
選択 ◆
決定
FM局自動登録
FMラジオ局を
登録しました
選択 ◆
決定 OK

- FMラジオ局の自動登録が終了すると［**AM 局自動登録**］画面に入ります。

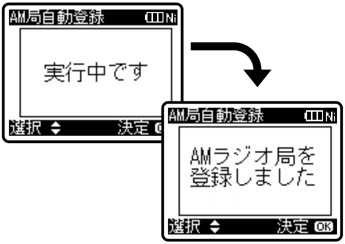
5 **＋または−ボタンを押して**
［実行する］を選び、
OK ▶ ボタンを押す





地域設定を
実行しますか?

- 手順 2 から手順 4 の［**FM局自動登録**］の設定と同じように、お住まいの地域を絞り込みます。
- ［**実行中です**］が表示され、AM ラジオ局の自動登録を開始します。［**AM ラジオ局を登録しました**］と表示されたら終了です。



実行中です

AMラジオ局を
登録しました

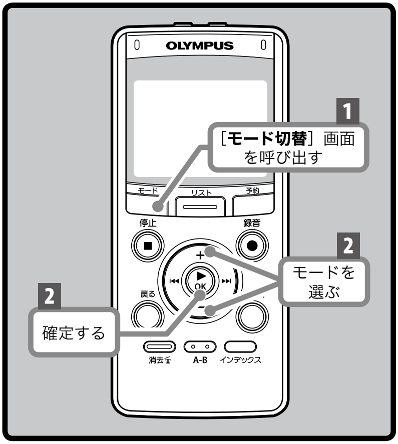
- 初期設定が終了すると、FMラジオまたは AM ラジオモード受信表示画面に入ります。
- FM／AM ラジオ局とも［**実行しない**］を選ぶと、放送局は登録されません。そのまま AM ラジオモード受信表示画面に入ります。
- NHK 第一放送を放送局リストに登録しないと、時刻自動補正は機能しません。

ご注意

- 自動登録されたラジオ局は受信状況に関わらず、選んだ地域の放送局が登録されます。
- 放送局を自動検索したり、現在受信している放送局を登録できます（☞ P.84、P.85）。
- 放送局の自動登録は設定画面からやり直すこともできます（☞ P.87）。

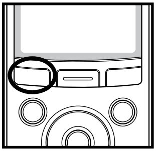
モードの切り替え

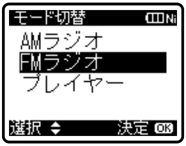
本機はラジオとしてご使用いただける他、IC レコーダーやミュージックプレイヤーとしてもお楽しみいただけます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス
1
［モード切替］画面を呼び出す
2
モードを選ぶ
2
確定する

1 モードボタンを押す

- ［**モード切替**］画面に入ります。

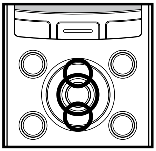


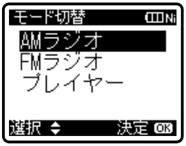


モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕ 決定 OK

2 ＋またはーボタンを押してモードを選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してモードを切り替えることもできます。

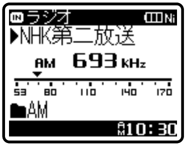




モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕ 決定 OK

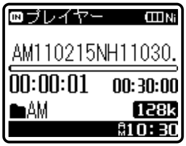
- 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、カーソル位置のモードに切り替わります。

［AMラジオ］［FMラジオ］を選んだ場合：
ラジオの受信モードに切り替わり、放送番組を受信・録音できます（☞ P.39、P.43）。



ラジオ
▶NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

［プレイヤー］を選んだ場合：
プレイヤーモードに切り替わり、マイクから録音したり、ファイルを再生できます（☞ P.44、P.49）。



プレイヤー
AM110215NH11030.
00:00:01 00:30:00
AM 128k
10:30

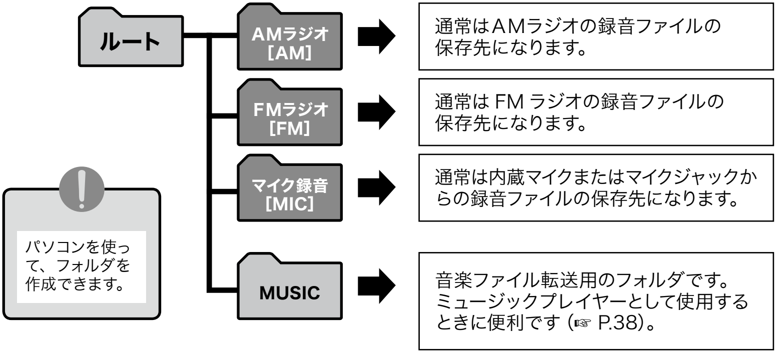
ご注意

- 録音中または録音一時停止中は、モードの切り替えはできません。

フォルダについて

録音用フォルダについて

録音（●）ボタンを押して録音する場合は、録音ファイルは音源ごとのフォルダに保存されます。予約録音の場合は、お好みで他のフォルダを選択することができます（☞ P.66、P.70）。



通常はAMラジオの録音ファイルの保存先になります。

通常は FM ラジオの録音ファイルの保存先になります。

通常は内蔵マイクまたはマイクジャックからの録音ファイルの保存先になります。

音楽ファイル転送用のフォルダです。ミュージックプレイヤーとして使用するときに便利です（☞ P.38）。

パソコンを使って、フォルダを作成できます。

ファイルのなまえについて

本機で録音したファイルには、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

FM 110215 NF1 1030 .MP3

① ② ③ ④ ⑤

① 音源：
本機で録音した場合の音源の略号です。

・ AM ラジオ録音	**AM**
・ FM ラジオ録音	**FM**
・ マイク録音	**MC**

② 録音した日付：
録音した日付を 6 桁の数字であらわします。
例：2011 年 2 月 15 日
110215

③ 認識番号：
本機で録音したときの放送局名などを略号であらわします。マイクから録音すると常に［**000**］になります。

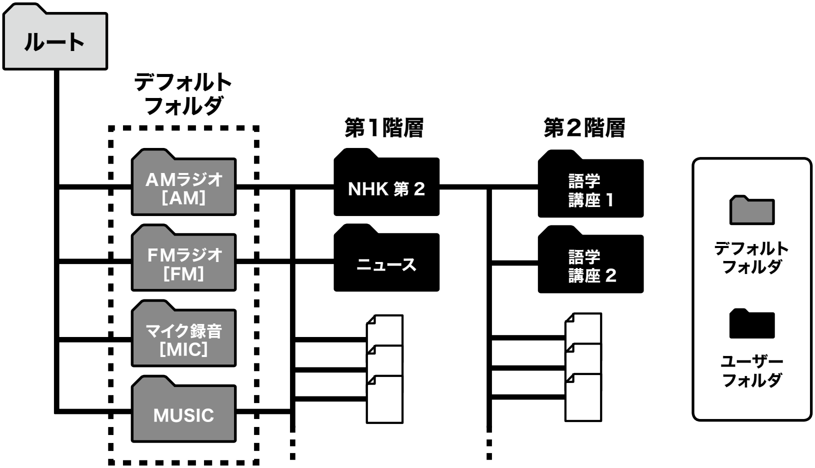
④ 録音開始時間：
録音を開始した時間を 4 桁の数字であらわします。
例：10 時 30 分
1030

⑤ 拡張子：
本機で録音した場合の録音形式（MP3）の拡張子です。

フォルダ階層について

パソコンと接続し、ファイル管理ツールなどを使って、本機の録音用フォルダや音楽再生用フォルダを作成できます。［**AM**］、［**FM**］、［**MUSIC**］フォルダには、［**AM**］、［**FM**］、［**MUSIC**］フォルダを含めてそれぞれ最大 20 フォルダ作成でき、1 フォルダには最大 200 件のファイルを保存できます。

ご利用の 1 例：


ルート
デフォルト
フォルダ
AMラジオ
[AM]
FMラジオ
[FM]
マイク録音
[MIC]
MUSIC
第1階層
NHK 第 2
ニュース
第2階層
語学
講座 1
語学
講座 2
デフォルト
フォルダ
ユーザー
フォルダ

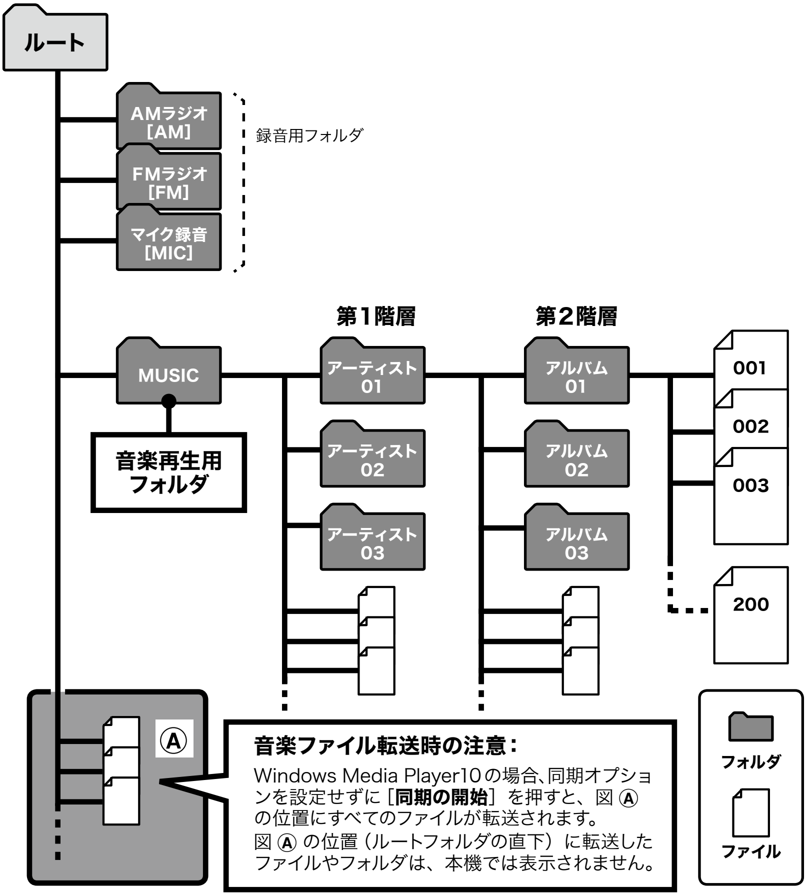
予約録音する場合、あらかじめ保存するフォルダを作成して録音ファイルの保存先に設定できます（☞ P.66、P.70）。

ご注意

- 本機の最大フォルダ数および最大ファイル数を越えても、メモリ残量がある限りパソコンから本機にファイルを転送して保存できますが、上限を超えたファイルは本機で確認および再生できません。

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ（[**MUSIC**]）に下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。


ルート
AMラジオ [AM]
FMラジオ [FM]
マイク録音 [MIC]
録音用フォルダ
第1階層
第2階層
MUSIC
音楽再生用フォルダ
アーティスト 01
アーティスト 02
アーティスト 03
アルバム 01
アルバム 02
アルバム 03
001
002
003
200
Ⓐ
フォルダ
ファイル

音楽ファイル転送時の注意：

Windows Media Player10 の場合、同期オプションを設定せずに［**同期の開始**］を押すと、図 Ⓐ の位置にすべてのファイルが転送されます。

図 Ⓐ の位置（ルートフォルダの直下）に転送したファイルやフォルダは、本機では表示されません。

基本的な機能を使う

AM／FM ラジオを聞く

受信モードを切り替えてラジオを受信できます。

受信に関する設定

AM／FMラジオでは聞きたい周波数を調整して放送局リストに登録できます（☞ P.84）。

［ラジオ局登録］の設定項目：

［**オート登録**］	自動検索された放送局を、放送局リストに登録します。
［**現在の局を登録**］	受信中の放送局を、放送局リストに登録します。

- 初期設定がお済みでない場合、日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.30）。

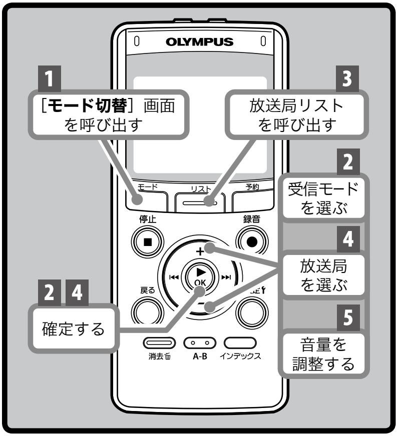
！ ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。

- 受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください（☞ P.19）。
- 携帯電話、パソコン、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生する恐れがあります。

ノイズフィルタ機能について

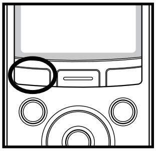
ノイズフィルタ機能を設定すると、ラジオの耳障りなノイズを低減し、受信・録音音声を聞きやすくします（☞ P.89、P.90）。

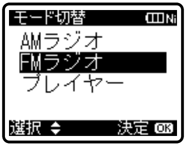
放送局リストから放送局を選ぶ


OLYMPUS
1
［モード切替］画面を呼び出す
3
放送局リストを呼び出す
2
受信モードを選ぶ
4
放送局を選ぶ
2 4
確定する
5
音量を調整する
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス

1 モードボタンを押す

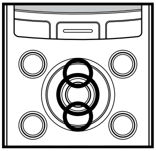
- ［**モード切替**］画面に入ります。

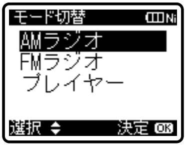



モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ◆
決定 OK

2 ＋またはーボタンを押して受信モードを選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押しても受信モードを選べます。

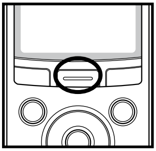


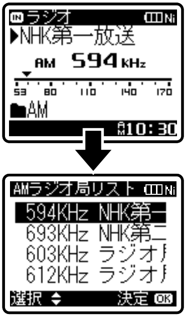

モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕
決定 OK

- 受信表示画面に入ります。
- ［**プレイヤー**］を選んだ場合の操作は「**再生する**」（☞ P.49）をご覧ください。

3 リストボタンを押す

- ラジオ受信モード表示画面から、放送局リストに入ります。

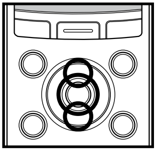


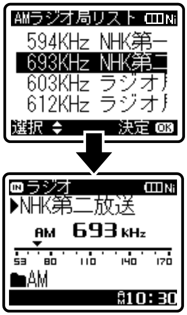

ラジオ
▶NHK第一放送
AM 594 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30
AMラジオ局リスト
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 ⇕
決定 OK

- **戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- 操作中に８秒間何も操作が無かった場合、カーソル位置の放送局に切り替わります。

4 ＋またはーボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す

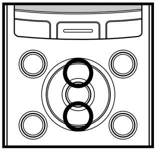
- **リスト**ボタンを繰り返し押しても放送局を選べます。

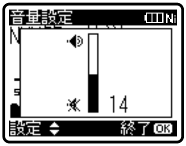



AMラジオ局リスト
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 ⇕
決定 OK
ラジオ
▶NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

- ラジオ受信モード表示画面から直接受信する放送局を変更することもできます。詳しくは、「**受信中に放送局を変更する**」をご覧ください（☞ P.41）。

5 ＋またはーボタンを押して聞きやすい音量にする

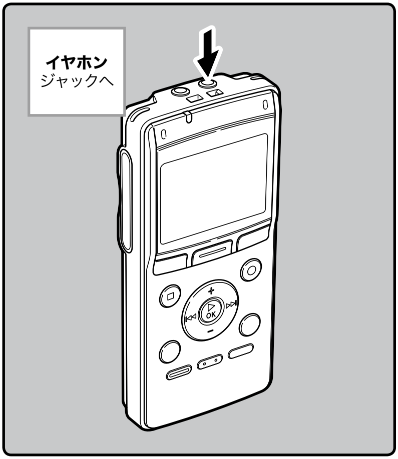



音量設定
14
設定 ⇕
終了 OK

- ［**0**］〜［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。
- 音がひずむ場合、音量を下げてください。

イヤホンで聞くには

イヤホンジャックにイヤホンを接続する



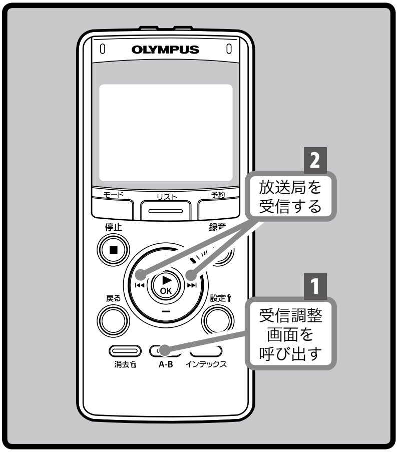
- 通常はイヤホンを接続するとスピーカから音はでません。
- ＦＭラジオを聞く場合、イヤホンはアンテナの役割もしています。詳しくは「**本機単体での受信**」をご覧ください (☞ P.20)。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**0**］にしてからイヤホンを入れてください。
- イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

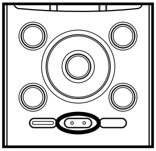
受信中に放送局を変更する

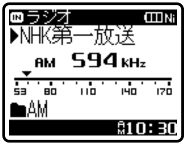
ラジオの受信中にほかの放送局に変更できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
OK
戻る
設定
消去
A-B
インデックス
2
放送局を
受信する
1
受信調整
画面を
呼び出す

登録されている放送局の AM ／ FM ラジオを聞く

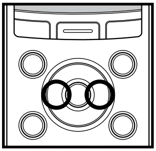
1 ラジオ受信モード表示画面で、**A-B** ボタンを押して、▶ を放送局名に合わせる

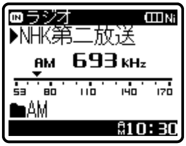



IN ラジオ
Ni
▶NHK第一放送
AM 594 kHz
53
80
110
140
170
AM
AM 10:30

2 **▶▶| または |◀◀ ボタンを押して、放送局を受信する**

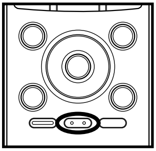
- ▶▶| または |◀◀ ボタンを押すごとに、リストに登録されている放送局が受信されます。

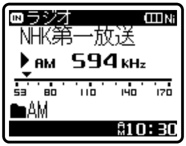



ラジオ
▶NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

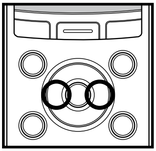
登録した放送局以外のAM／ FM ラジオを聞く

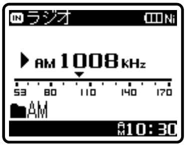
1 **ラジオ受信モード表示画面で、A-B ボタンを押して、▶ を周波数に合わせる**




ラジオ
NHK第一放送
▶ AM 594 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

2 **▶▶| または |◀◀ ボタンを押して周波数を調整する**

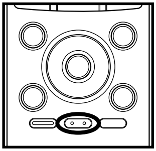


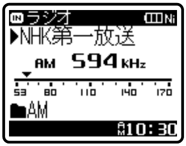

ラジオ
▶ AM 1008 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

- AM ラジオの場合、▶▶| または |◀◀ ボタンを押すと 9 kHz ステップで周波数が増減します。
- FM ラジオの場合、▶▶| または |◀◀ ボタンを押すと 0.1 MHz ステップで周波数が増減します。
- 調整した周波数は、放送局リストに登録できます (☞ P.85)。

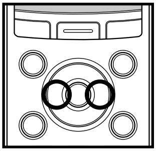
受信できる放送局をスキャンする

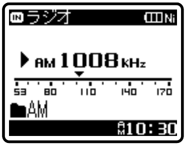
1 **ラジオ受信モード表示画面で、A-B ボタンを押して、▶ を放送局名または周波数に合わせる**




ラジオ
▶NHK第一放送
AM 594 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

2 **▶▶| または |◀◀ ボタンを長押しする**




ラジオ
▶ AM 1008 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

- 受信できる放送局のスキャンが開始されます。
- 放送局が受信されるとスキャンが停止します。
- 放送局が見つからない場合は、受信していた放送局に戻りスキャンが停止します。
- スキャンを途中で停止するには、**停止** (■) ボタンまたは OK ▶ ボタンを押します。
- スキャンの感度を設定できます (☞ P.89、P.90)。

録音する

録音に関する設定

モードごとに、音質などを設定できます（☞ P.96）。

［録音設定］の設定項目：

［**録音音質**］	録音音質を設定します。
［**マイク感度**］	マイクの感度を設定します（マイク録音時のみ設定可能）。
［**VCVA 設定**］	音声起動録音（VCVA）を設定します（マイク録音時のみ設定可能）。

- 録音中は［**録音設定**］の変更ができません。停止中に設定してください。
- 録音した音源は、1 回の録音ごとに自動的にファイル名が付けられ保存されます（☞ P.36）。
- 録音中に**予約**ボタンを押すと、録音終了時間を設定できます（☞ P.46）。

❗ FM ラジオを録音するとき

- FM ラジオがきれいに聞こえても、受信環境により録音を開始するとノイズが入ることがあります。失敗のない録音をするために試し録りをしてください。ノイズが録音されている場合、アンテナの向きを調整してきれいに録音できる場所で使用してください。

❗ AM ラジオを録音するとき

- AM ラジオの録音でノイズが多く入る場合、［**AM 画面表示**］の設定を［**OFF**］にしてご使用ください（☞ P.103、P.105）。

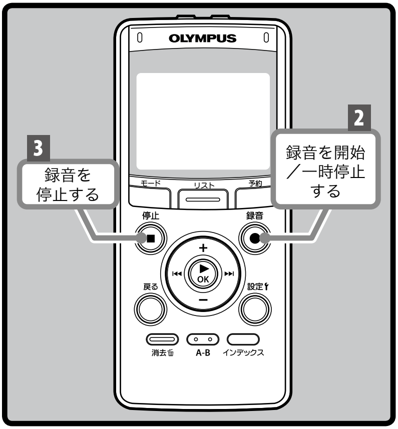
❗ ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります

- 受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きを調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください（☞ P.19）。
- パソコン、携帯電話、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生する恐れがあります。

❗ ラジオのノイズが気になるとき

- ノイズフィルタ機能を設定すると、ラジオの耳障りなノイズを低減し、受信・録音音声を聞きやすくします（☞ P.89、P.90）。

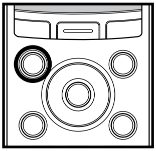
AM／FM ラジオを録音する

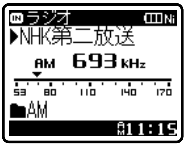

OLYMPUS
3
録音を停止する
2
録音を開始／一時停止する
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
消去
A-B
インデックス

1 録音したい放送番組を受信する
- 詳しくは「**AM／FM ラジオを聞く**」をご覧ください（☞ P.39）。

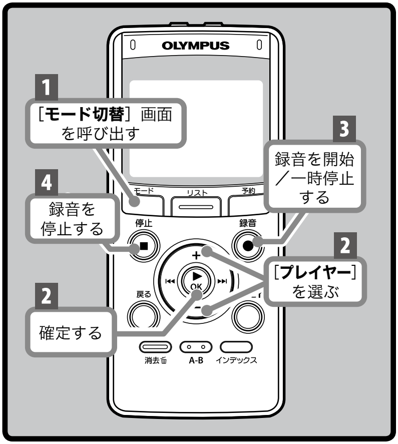
2 録音（●）ボタンを押して録音を開始する
- ［●］表示が点灯します。

3 停止（■）ボタンを押して録音を停止する
- ［●］表示が消灯し、受信表示画面に戻ります。




ラジオ
NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
11:15

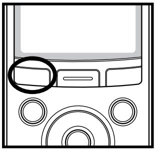
マイクで録音する

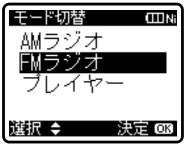

OLYMPUS
1
［モード切替］画面を呼び出す
3
録音を開始／一時停止する
4
録音を停止する
2
［プレイヤー］を選ぶ
2
確定する
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス

! 外部マイクや他の機器から録音する場合、あらかじめ接続をしてください（☞ P.47）。

1 モードボタンを押す

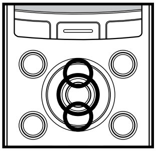
- ［**モード切替**］画面に入ります。

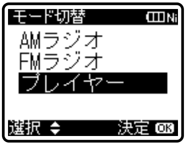



モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕
決定 OK

2 ＋またはーボタンを押して［プレイヤー］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。



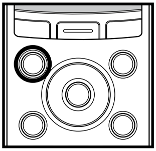

モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕
決定 OK

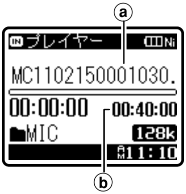
3 録音（●）ボタンを押して録音を開始する

- 録音したい方向に内蔵マイクを向けます。
- ［●］が点灯します。

4 停止（■）ボタンを押して録音を停止する

- ［●］表示が消灯し、プレイヤーモード表示に戻ります。




ⓐ
プレイヤー
MC1102150001030.
00:00:00
00:40:00
MIC
128k
11:10
ⓑ

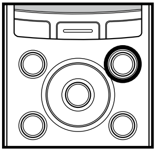
ⓐ 録音ファイル名（ファイル名を表示しきれない場合、スクロールします）
ⓑ ファイルの長さ

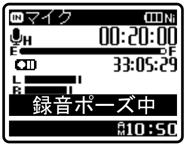
録音に関する注意事項

- 記録媒体（メモリ）は書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ち、音飛びした状態で録音されることがあります。このような場合には大切なファイルをパソコンに転送してから初期化をしてください（☞ P.107、P.111、P.117）。
- 内蔵マイクや外部マイクまたは他の機器から録音する場合、頭切れを防ぐため、録音表示ランプの点灯を確認してから録音してください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、録音表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**最長録音時間になりました**］と表示された場合、自動的に録音が停止します。
- ［**ファイル件数がいっぱいになりました**］と表示された場合、これ以上録音できません。ファイルを他のフォルダへ移動するか、不要なファイルを消去してから録音してください（☞ P.63、P.92）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音してください（☞ P.63）。

一時停止するには

録音中に録音（●）ボタンを押す




マイク
Ni
H
00:20:00
E
F
33:05:29
L
R
録音ポーズ中
10:50

- ［⏸］表示が点灯します。
- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

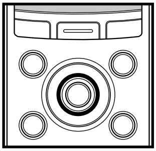
録音を再開するには：

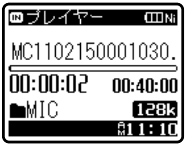
録音（●）ボタンをもう一度押す

- 一時停止した位置から録音を再開します。

録音内容をすぐに確認するには

録音が終了したら、OK ▶ ボタンを押す



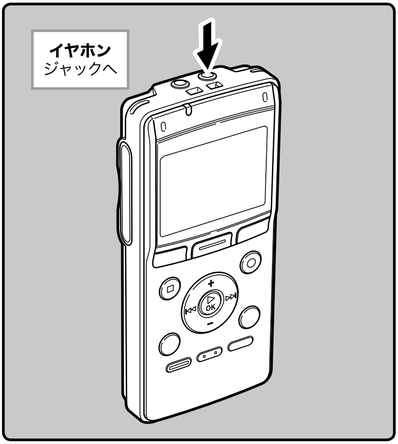

プレイヤー
Ni
MC1102150001030.
00:00:02
00:40:00
MIC
128k
11:10

- プレイヤーモードで操作すると、最後にマイク録音したファイルを再生します。
- ラジオ受信モードで操作するとプレイヤーモードに切り替わり、そのときの受信モード（AM または FM ラジオモード）で最後に録音したファイルを再生します。

録音中の音声を聞くには(録音モニター)

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続する

- 録音モニターの音量は**＋**または**－**ボタンを押して調整できます。



録音ファイルについて

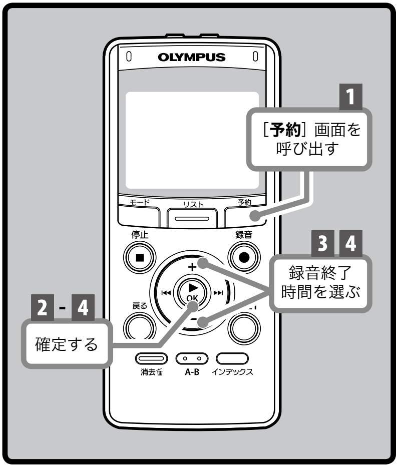
本機で録音したファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは、設定した録音音質により下記のようになります (☞ P.96、P.97)。

録音音質	サンプリング周波数／ビットレート
［**高音質**］	44.1 kHz ／ 128 kbps
［**長時間音質**］	22.05 kHz ／ 48 kbps

- ［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、ステレオ形式で録音します。［**長時間音質**］を選んだ場合、モノラル形式で録音します。

録音終了時間を設定する

指定した時間で録音を終了できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス

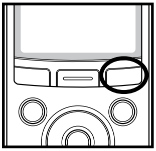
1 ［**予約**］画面を呼び出す

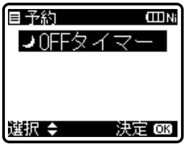
3 4 録音終了時間を選ぶ

2 - 4 確定する

1 録音中または録音一時停止中に予約ボタンを押す

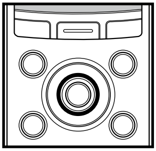
・［**予約**］画面に入ります。

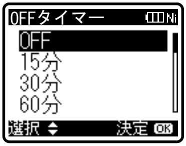



予約
OFFタイマー
選択
決定 OK

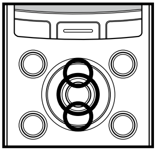
2 OK ▶ ボタンを押す

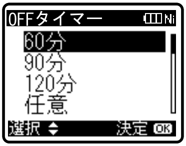
・［**OFF タイマー**］画面に入ります。




OFFタイマー
OFF
15分
30分
60分
選択
決定 OK

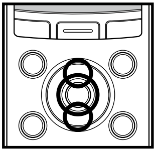
3 ＋または－ボタンを押して録音終了時間を選び、OK ▶ ボタンを押す

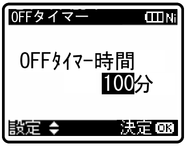



OFFタイマー
60分
90分
120分
任意
選択
決定 OK

- 設定した時間が経過すると自動的に録音が終了します。
- ［**OFF タイマー**］の設定で［**任意**］を選んだ場合、手順 4 の操作で詳細な時間設定ができます。
- 録音終了時間を解除する場合、再度手順 1から手順 3 の操作をして［**OFF**］をお選びください。

4 ［**任意**］を選択した場合は、**+**または**−**ボタンを押して録音終了時間を増減し、OK ▶ ボタンを押す





OFFタイマー

OFFﾀｲﾏｰ時間
100分

設定 ⇕　決定 OK

- 1分から最大 120 分まで録音終了時間を指定できます。

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。

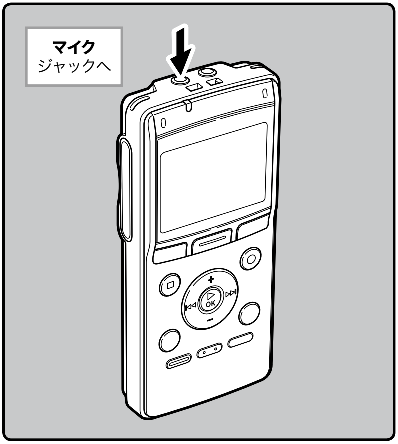
! 接続前にお読みください：

すべての機器とケーブルの接続が終了するまでは、電源を入れないでください。
また、録音中に本機のジャックへの抜き差しはしないでください。

! 外部マイクや他の機器を使用して録音する場合、［**プレイヤー**］モードに切り替えてください。

外部マイクで録音する：

マイクジャックに外部マイクを接続する



- ご使用いただける外部マイクについては、「**アクセサリー（別売）**」をご覧ください（☞ P.122）。

ご注意

- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- ［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.96、P.97）。
- ［**録音音質**］の設定で［**長時間音質**］を選んだ場合、外部ステレオマイクを接続して録音してもＬ側マイクのみの録音となります（☞ P.96、P.97）。

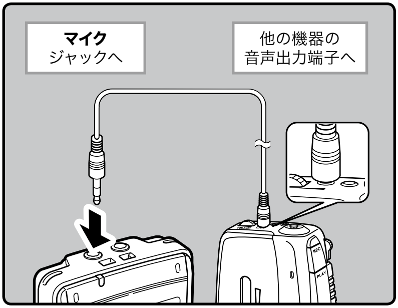
他の機器の音声を本機で録音する：

マイクジャックに他の機器を接続する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の**マイク**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、接続した機器の音声を録音できます。

ご注意

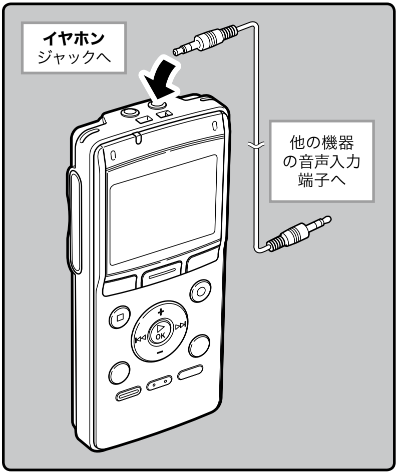
- 外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。


マイク
ジャックへ
他の機器の
音声出力端子へ

本機の音声を他の機器で録音する：

イヤホンジャックに他の機器を接続する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の**イヤホン**ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を接続した機器で録音できます。


イヤホン
ジャックへ
他の機器
の音声入力
端子へ
OK

再生する

本機で録音したファイルの他、パソコンから転送した MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

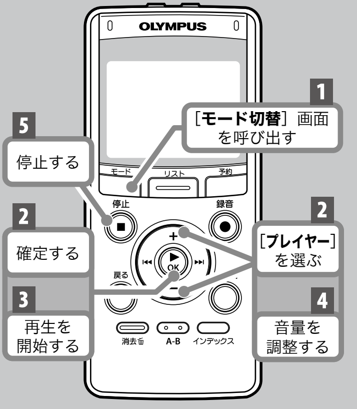
再生に関する設定

［**プレイヤー**］モードでの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びいただけます（☞ P.99）。

［再生設定］の設定項目：

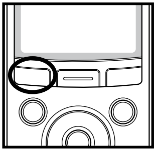
［**音声フィルタ**］	雑音部分が含まれる低音域と高音域をカットし、目的の音声をクリアに強調します。
［**再生モード**］	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。
［**イコライザ**］	お好みに合わせて再生音質をお選びいただけます。
［**スキップ間隔**］	設定した時間をスキップして再生できます。
［**しおり機能**］	ファイルの途中で再生を中断した位置を記憶できます。

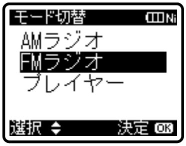
- 本機に転送したファイルが再生できない場合、「**音楽ファイルについて**」をご覧ください（☞ P.52）。


OLYMPUS
1
［モード切替］画面を呼び出す
5
停止する
モード
リスト
予約
停止
録音
2
確定する
2
［プレイヤー］を選ぶ
OK
戻る
3
再生を開始する
4
音量を調整する
消去
A-B
インデックス

1 モードボタンを押す

- ［**モード切替**］画面に入ります。

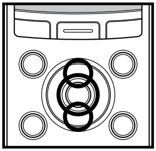


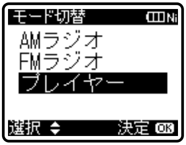


モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ◆ 決定 OK

2 ＋または－ボタンを押して［プレイヤー］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。





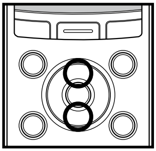
モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ◆ 決定 OK

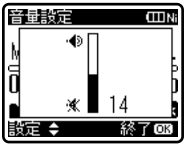
- 前回最後に選択したファイルが表示されます。

3 再生したいファイルを探し、OK ▶ ボタンを押して再生を開始する

- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押します。

4 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする

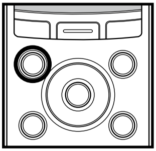


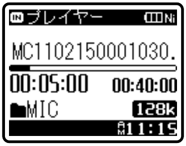


音量設定
14
設定 ◆ 終了 OK

- ［**0**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

5 停止（■）ボタンを押して再生を停止する

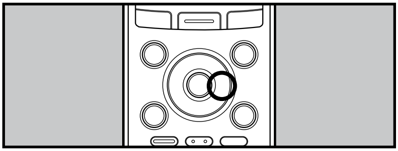




- プレイヤーモードの停止中に **A-B** ボタンを押すと、ファイル名・タイトル名表示部分に以下の情報が順に表示されます。
  ファイル名・タイトル名→アーティスト名・放送局名→アルバム名→ファイル名・タイトル名
  その他の詳細情報は、ファイルリスト表示で**設定🔧**を押して確認できます(☞ P.61)。

早送りをするには

ファイル表示画面で停止中に、▶▶| ボタンを押し続ける



- ▶▶| ボタンから手を離すと停止します。OK ▶ ボタンを押すと、その位置から再生します。

ファイル表示画面で再生中に、▶▶| ボタンを押し続ける

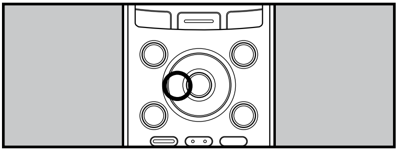
- ▶▶| ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

ご注意

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶| ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。
- ファイルの途中でインデックスやテンプマークの位置にくると、いったん停止します（☞ P.53）。
- ［**しおり機能**］の設定が［**ON**］の場合、ファイルの途中でしおり位置にくると、いったん停止します（☞ P.99、P.102）。

早戻しをするには

ファイル表示画面で停止中に、|◀◀ ボタンを押し続ける



- |◀◀ ボタンから手を離すと停止します。OK ▶ ボタンを押すと、その位置から再生します。

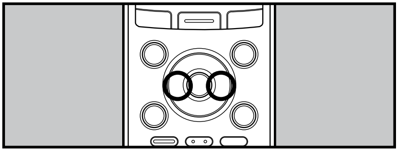
ファイル表示画面で再生中に、|◀◀ ボタンを押し続ける

- |◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。

ご注意

- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに |◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。
- ファイルの途中でインデックスやテンプマークの位置にくると、いったん停止します（☞ P.53）。
- ［**しおり機能**］の設定が［**ON**］の場合、ファイルの途中でしおり位置にくると、いったん停止します（☞ P.99、P.102）。

ファイルの頭出しをするには



停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ ボタンを押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

- 再生中に頭出しした際に、再生中のファイルにインデックスやテンプマークが設定されている場合はインデックスやテンプマークの位置でいったん停止します。停止中に頭出しをした場合、インデックスやテンプマーク位置は飛び越されます (☞ P.53)。
- [**スキップ**] または［**逆スキップ**］の設定で時間を指定している場合、再生中に **▶▶I** または **I◀◀** を押すと、その時間分だけスキップして再生を開始します (☞ P.99、P.102)。
- ［**しおり機能**］の設定で［**ON**］を選び、再生中に頭出しした際に再生中のファイルにしおりが設定されている場合、しおりの位置でいったん停止します。停止中の頭出しや、［**しおり機能**］の設定が［**OFF**］の場合、しおり位置は飛び越されます (☞ P.99、P.102)。

早聞き／遅聞き再生するには

再生スピードを 0.5 ～ 3 倍速の間で変更できます。

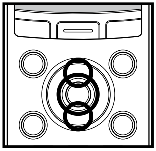
1 再生中に OK ▶ ボタンを押す

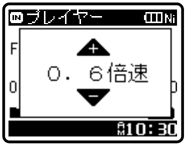
2 ＋または－ボタンを押して再生スピードを切り替える

通常再生 (1.0 倍速)：
普通の再生スピードです。

遅聞き再生 (0.5 ～ 0.9 倍速)：
再生スピードが遅くなり、［S］表示が点灯します。

早聞き再生 (1.1 ～ 3.0 速)：
再生スピードが早くなり、［F］表示が点灯します。





ご注意

- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスやテンプマーク (☞ P.53) の挿入などの操作ができます。
- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次に再生するときも変更した早さを保持します。
- 再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートにより正常に動作しないことがあります。この場合、早聞き再生の速度を落として再生してください。
- 再生ファイルのサンプリング周波数が 48 kHz や 32 kHz の場合、2 倍速までの早聞き再生となります。3 倍速での早聞き再生はできません。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

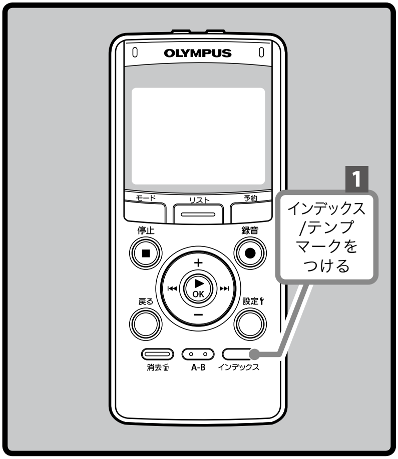
ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3	**MPEG1 Layer3**： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**： 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

インデックス／テンプマークをつける

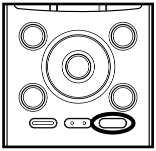
インデックスやテンプマークをつけると、早送り･早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。
本機以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

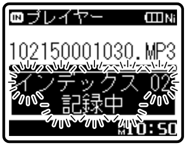
インデックス／テンプマークをつける


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
+
OK
−
戻る
設定
消去
A-B
インデックス
1
インデックス/テンプマークをつける

1 **録音中、録音一時停止中または再生中にインデックスボタンを押す**

- 画面に番号が表示されインデックス／テンプマークがつきます。



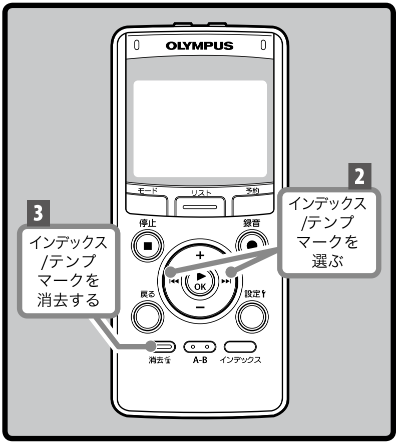

プレイヤー
102150001030.MP3
インデックス 02
記録中
10:50

- インデックス／テンプマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックス／テンプマークをつけることができます。

ご注意

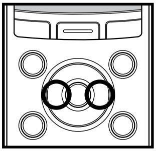
- テンプマークは一時的なマーキングです。他のフォルダーへファイルを移動したり、リスト表示画面への切り替えやパソコンとの接続などを行なうと自動的に消去されます。
- インデックス／テンプマークは 1 つのファイル内に 16 件までつけることができます。16 件を超えてインデックス／テンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］が表示されます。
- ファイルロックがかかっているファイルにはインデックス／テンプマークをつけることはできません。

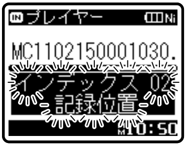
インデックス／テンプマークを消去する


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
＋
−
OK
戻る
設定
消去
A-B
インデックス
2
インデックス
/テンプ
マークを
選ぶ
3
インデックス
/テンプ
マークを
消去する

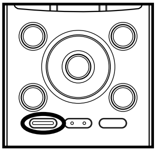
1 消去したいインデックス／テンプマークのあるファイルを再生する（☞ P.49）

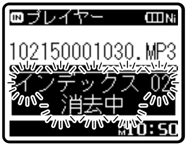
2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいインデックス／テンプマークを選ぶ




プレイヤー
MC1102150001030.
インデックス 02
記録位置
10:50

3 インデックス／テンプマーク番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**消去** 🗑 ボタンを押す




プレイヤー
102150001030.MP3
インデックス 02
消去中
10:50

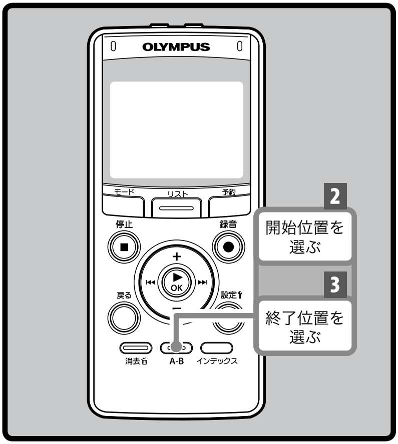
- インデックス／テンプマークが消去されます。
- 消去したインデックス／テンプマーク以降のインデックス／テンプマーク番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- ファイルロックがかかっているファイルは、インデックスマーク／テンプマークを消去することはできません。

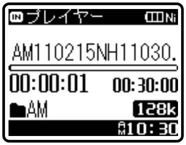
部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
+
OK
戻る
設定
−
消去
A-B
インデックス
2
開始位置を選ぶ
3
終了位置を選ぶ

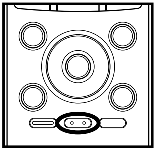
1 ファイルを再生をする（☞ P.49）

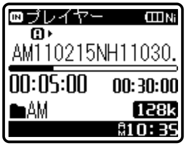
- ファイル表示画面では、▶▶| または |◀◀ ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押します。


IN プレイヤー
AM110215NH11030.
00:00:01
00:30:00
AM
128k
10:30

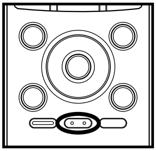
2 部分リピート再生の開始位置で、A – B ボタンを押す

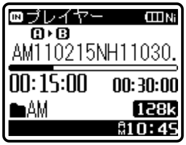
- ［A ▶］表示が点灯します。




IN プレイヤー
A ▶
AM110215NH11030.
00:05:00
00:30:00
AM
128k
10:35

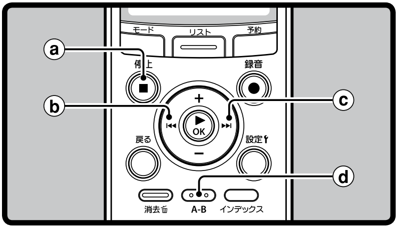
3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 A – B ボタンを押す




IN プレイヤー
A ▶ B
AM110215NH11030.
00:15:00
00:30:00
AM
128k
10:45

- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

部分リピート再生を解除する


a
b
c
d
モード
リスト
予約
停止
録音
+
OK
−
戻る
設定
消去
A-B
インデックス

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ 停止（■）ボタンを押す。

- **停止**（■）ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

ⓑ |◀◀ ボタンを押す。

- |◀◀ ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓒ ▶▶| ボタンを押す。

- ▶▶| ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓓ A – B ボタンを押す。

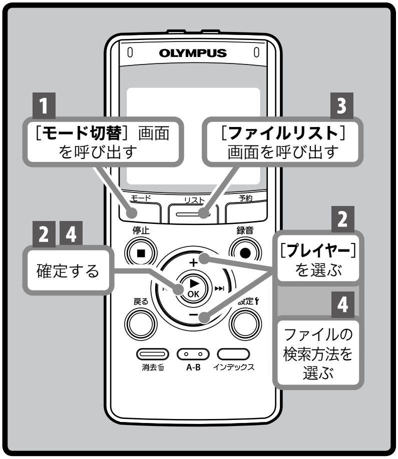
- **A – B** ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、そのまま再生が継続します。

ご注意

- 部分リピート再生中にインデックス／テンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります（☞ P.53）。

ファイル検索

ファイル検索画面を呼び出す

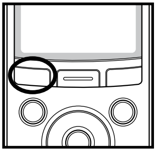

OLYMPUS
1
［モード切替］画面を呼び出す
3
［ファイルリスト］画面を呼び出す
モード
リスト
予約
2 4
確定する
停止
録音
2
［プレイヤー］を選ぶ
+
OK
戻る
設定
−
4
ファイルの検索方法を選ぶ
消去
A-B
インデックス

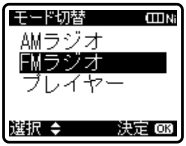
ファイル検索の種類：

［**フォルダ検索**］（☞ P.57）	フォルダ階層に沿って、ファイルを絞り込みます。
［**カレンダー検索**］（☞ P.58）	ファイルの日付で絞り込みます。
［**放送局検索**］（☞ P.58）	本機で録音したときの放送局を指定して絞り込みます。
［**最近再生検索**］（☞ P.59）	本機で再生した日付が新しい順にファイルを並べ替えてファイルをリスト表示します。
［**最近録音検索**］（☞ P.59）	最近録音した日付が新しい順にファイルを並べ替えてリスト表示します。
［**未再生ファイル検索**］（☞ P.59）	本機でまだ再生していないファイルをリスト表示します。
［**全ファイル検索**］（☞ P.59）	本機に保存しているファイルをすべてリスト表示します。

1 **モード**ボタンを押す

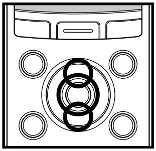
- ［**モード切替**］画面に入ります。

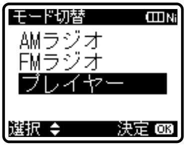



モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕
決定 OK

2 **+**または**−**ボタンを押して［**プレイヤー**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。

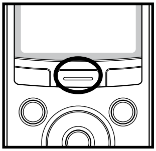


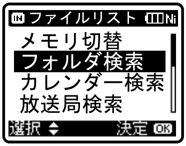

モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕
決定 OK

- ファイル表示画面に入ります。

3 **リスト**ボタンを押す。

- ［**ファイルリスト**］画面に入ります。

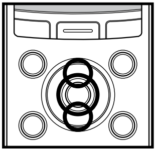


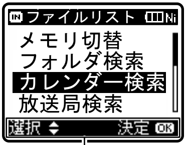

IN ファイルリスト
メモリ切替
フォルダ検索
カレンダー検索
放送局検索
選択 ⇕
決定 OK

- ファイル検索をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください。

4 **＋**または**ー**ボタンを押してファイル検索の種類を選び、OK ▶ ボタンを押す

- **リスト**ボタンを繰り返し押しても検索の種類を選べます。
- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。





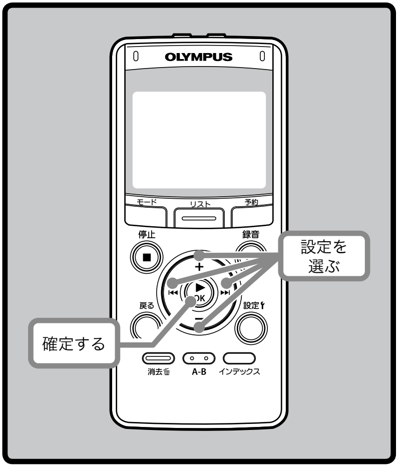
ファイルリスト
メモリ切替
フォルダ検索
カレンダー検索
放送局検索
選択 ⇕ 決定 OK

操作ガイド

- 検索の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

> **!** ファイル検索の種類を選んだら、引き続き「**ファイル検索画面の操作**」にお進みください。

ファイル検索画面の操作



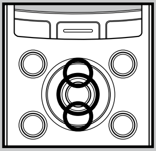
設定を選ぶ

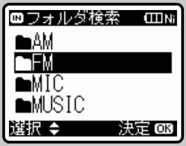
確定する

［フォルダ検索］で絞り込む場合

本機のフォルダ階層内で、ファイルを保存しているフォルダを指定して絞り込みます。

❶ ＋またはーボタンを押してフォルダを選び、OK ▶ ボタンを押す。



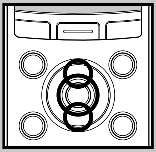


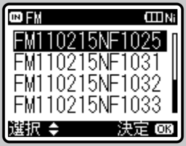
フォルダ検索
AM
FM
MIC
MUSIC
選択 ⇕ 決定 OK

フォルダを選び階層を移動します

- 選んだフォルダ下の階層に移動します。さらにフォルダがあれば同じように操作できます。
- フォルダ検索を途中でやめる場合、**戻る**ボタンを押してください。

❷ ＋またはーボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。





FM
FM110215NF1025
FM110215NF1031
FM110215NF1032
FM110215NF1033
選択 ⇕ 決定 OK

- ファイルの再生が開始されます。

［カレンダー検索］で絞り込む場合

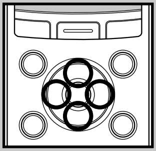
本機で録音した日付を指定して絞り込みます。

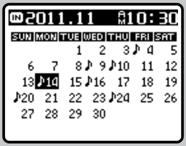
例：11 月 14 日で絞り込む場合：

最後に録音した日付にカーソルが表示されます。カーソルを下記の操作で 11 月 14 日に移動させてください。

❶ +、−、▶▶I または I◀◀ ボタンを押して日付を選ぶ。

- 本機で録音した日付には、［♪］が表示されます。





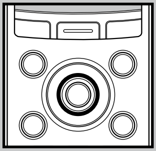
2011.11 AM10:30

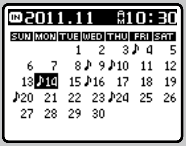
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	♪4	5
6	7	8	♪9	♪10	11	12
13	♪14	15	♪16	17	18	19
♪20	21	22	23	♪24	25	26
27	28	29	30			

カーソルを移動させる

- **+**または **I◀◀** ボタンを押すたびに、録音した日付がさかのぼります。日付を進める場合、**−**または **▶▶I** ボタンを押してください。
- ボタンを押し続けると、カーソルを早く移動させることができます。
- カレンダー検索を途中でやめる場合、**戻る**ボタンを押してください。

❷ 日付を合わせたら、OK ▶ ボタンを押す。



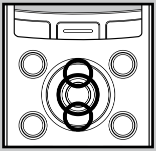


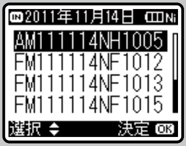
2011.11 AM10:30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	♪4	5
6	7	8	♪9	♪10	11	12
13	♪14	15	♪16	17	18	19
♪20	21	22	23	♪24	25	26
27	28	29	30			

11 月 14 日に合わせる

❸ +または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。





2011年11月14日
AM111114NH1005
FM111114NF1012
FM111114NF1013
FM111114NF1015
選択 ⇕ 決定 OK

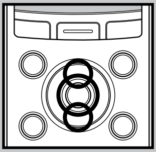
指定した日付に録音したファイルがリスト表示されます。

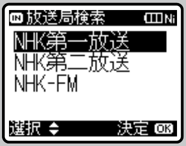
- ファイルの再生が開始されます。

［放送局検索］で絞り込む場合

本機で録音した放送局を指定して絞り込みます。

❶ +または−ボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す。

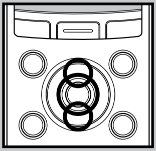


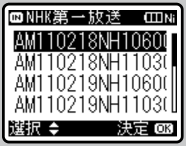


放送局検索
NHK第一放送
NHK第二放送
NHK-FM
選択 ⇕ 決定 OK

選んだ放送局の録音ファイルをリスト表示します。

❷ +または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。





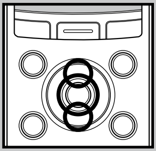
NHK第一放送
AM110218NH1060(
AM110218NH1103(
AM110219NH1060(
AM110219NH1103(
選択 ⇕ 決定 OK

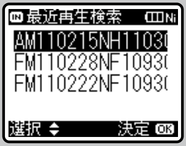
- ファイルの再生が開始されます。

[最近再生検索] で絞り込む場合

最近再生した 20 ファイルをリスト表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**





最近再生検索

AM110215NH1103
FM110228NF1093
FM110222NF1093

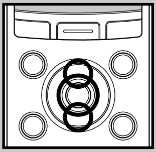
選択 ◆ 決定 OK

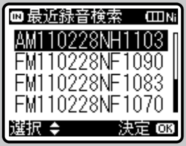
- ファイルの再生が開始されます。

[最近録音検索] で絞り込む場合

最近録音した 20 ファイルをリスト表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**





最近録音検索

AM110228NH1103
FM110228NF1090
FM110228NF1083
FM110228NF1070

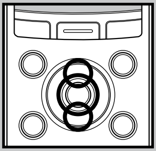
選択 ◆ 決定 OK

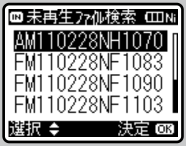
- ファイルの再生が開始されます。

[未再生ファイル検索] で絞り込む場合

まだ再生していないすべてのファイルをリスト表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**





未再生ファイル検索

AM110228NH1070
FM110228NF1083
FM110228NF1090
FM110228NF1103

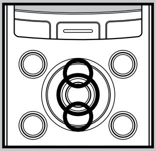
選択 ◆ 決定 OK

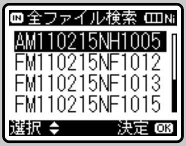
- ファイルの再生が開始されます。

[全ファイル検索] を選んだ場合

本機に保存しているすべてのファイルをリスト表示します。

❶ **+または−ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。**





全ファイル検索

AM110215NH1005
FM110215NF1012
FM110215NF1013
FM110215NF1015

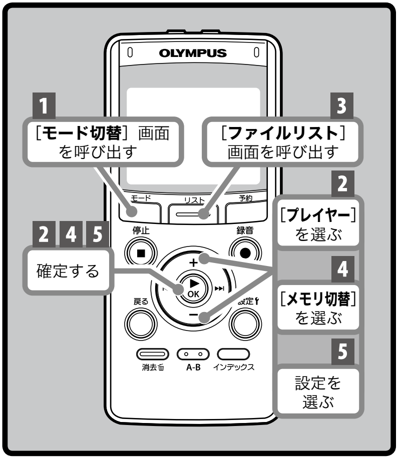
選択 ◆ 決定 OK

- ファイルの再生が開始されます。

ご注意

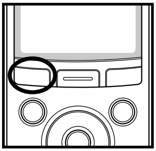
- 12,200 件以上のファイルは表示できません。

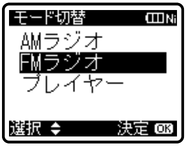
メモリを切り替える


OLYMPUS
1
［モード切替］画面を呼び出す
3
［ファイルリスト］画面を呼び出す
2
［プレイヤー］を選ぶ
2 4 5
確定する
4
［メモリ切替］を選ぶ
5
設定を選ぶ
モード
リスト
予約
停止
録音
OK
戻る
設定
消去
A-B
インデックス

1 **モード**ボタンを押す

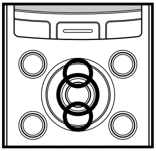
- ［**モード切替**］画面に入ります。

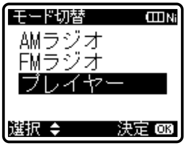



モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕ 決定 OK

2 ＋または－ボタンを押して［**プレイヤー**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- **モード**ボタンを繰り返し押してもプレイヤーモードを選べます。

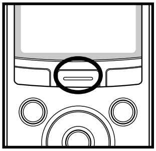


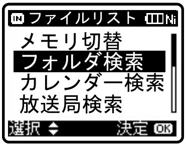

モード切替
AMラジオ
FMラジオ
プレイヤー
選択 ⇕ 決定 OK

- ファイル表示画面に入ります。

3 **リスト**ボタンを押す。

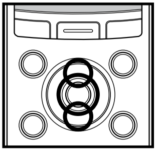
- ［**ファイルリスト**］画面に入ります。

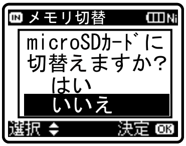



ファイルリスト
メモリ切替
フォルダ検索
カレンダー検索
放送局検索
選択 ⇕ 決定 OK

4 ＋または－ボタンを押して［**メモリ切替**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

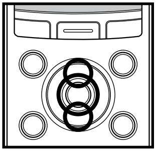
- ［**メモリ切替**］画面に入ります。
- 内蔵メモリが選択されている場合は、［**microSD カードに切替えますか?**］が表示されます。
- microSD カードが選択されている場合は、［**内蔵メモリに切替えますか?**］が表示されます。

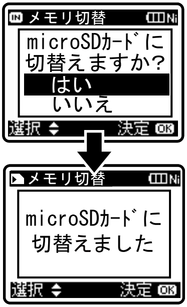



メモリ切替
microSDｶｰﾄﾞに
切替えますか?
はい
いいえ
選択 ⇕ 決定 OK

- ファイルの再生中はメモリの切り替えはできません。ファイルの再生中に［**ファイルリスト**］画面を表示した場合、［**メモリ切替**］は表示されません。
- ［**メモリ切替**］画面は、ファイルリストが表示されているときに **A-B** ボタンを押して表示することもできます。

5 **＋**または**－**ボタンを押して［**はい**］を選び、OK ▶ ボタンを押す




メモリ切替
microSDｶｰﾄﾞに
切替えますか?
はい
いいえ
選択 ⇕ 決定 OK

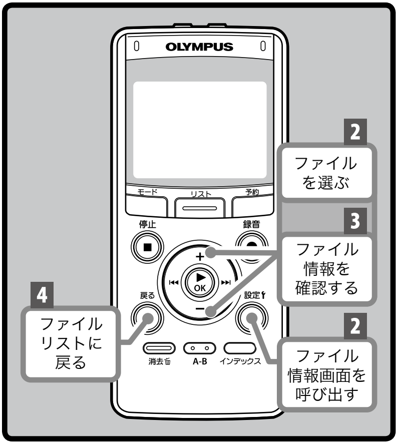
メモリ切替
microSDｶｰﾄﾞに
切替えました
選択 ⇕ 決定 OK

- 内蔵メモリの場合は、画面に［IN］が表示されます。
- microSD の場合は、画面に［▶］が表示されます。

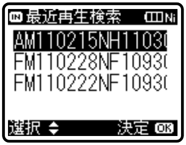
microSD カードモードへの切り替え

プレイヤーモードの停止中に microSD カードを挿入すると、［**microSD カードに切替えますか?**］が表示されます。［**はい**］を選んで、microSD カードモードに切り替えることができます（☞ P.28）。

ファイル情報を確認する


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
＋
－
消去
A-B
インデックス
2
ファイルを選ぶ
3
ファイル情報を確認する
4
ファイルリストに戻る
2
ファイル情報画面を呼び出す

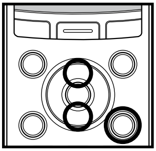
1 ファイルリストを表示させる（☞ P.56）

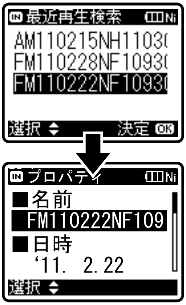

最近再生検索
AM110215NH1103
FM110228NF1093
FM110222NF1093
選択 ⇕ 決定 OK

［**最近再生検索**］でファイルをリスト表示した場合

2 ＋または－ボタンを押してファイルを選び、設定🔧ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。

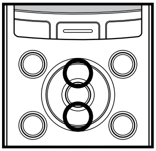


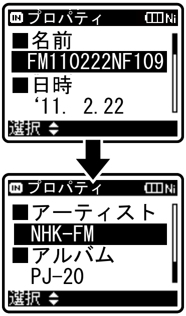

最近再生検索
AM110215NH1103
FM110228NF1093
FM110222NF1093
選択 ⇕ 決定 OK

プロパティ
■名前
FM110222NF109
■日時
'11. 2. 22
選択 ⇕

- ファイルの再生中に**設定**🔧ボタンを押した場合、［**プロパティ**］画面は表示されません。

3 ＋または－ボタンを押してファイル情報を確認する

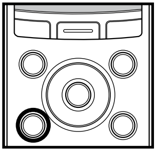


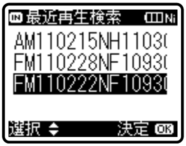

プロパティ
■名前
FM110222NF109
■日時
'11. 2. 22
選択 ⇕

プロパティ
■アーティスト
NHK-FM
■アルバム
PJ-20
選択 ⇕

- 本機で録音したファイルの［**アーティスト**］には、ラジオ録音の場合は放送局リストに登録されている放送局名が表示され、マイク録音の場合は［**PJ-20**］が表示されます。
- 本機で録音したファイルの［**アルバム**］には、［**PJ-20**］が表示されます。
- ファイルにタグ情報がない場合、［**アーティスト**］および［**アルバム**］にはそれぞれ［**UNKNOWN_ARTIST**］、［**UNKNOWN_ALBUM**］と表示されます。
- ［**名前**］、［**アーティスト**］および［**アルバム**］の情報は、プレイヤーモードの停止中に **A-B** ボタンを押して確認することもできます（☞ P.50）。

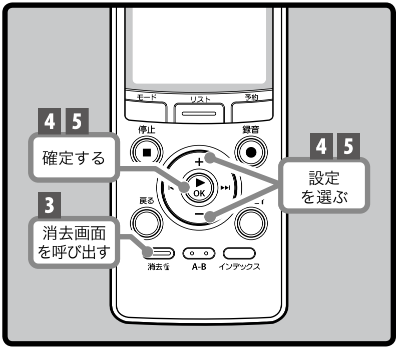
4 戻るボタンを押してファイルリストに戻る




最近再生検索
AM110215NH1103
FM110228NF1093
FM110222NF1093
選択 ⇕ 決定 OK

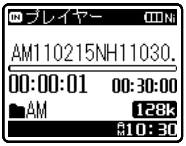
消去する

ファイルを消去する


4 5
確定する
3
消去画面
を呼び出す
4 5
設定
を選ぶ
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス

1 **「再生する」**の手順 1 から手順 2 まで操作する (☞ P.49)

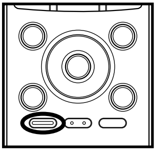
- 前回最後に選択したファイルが表示されます。

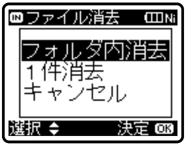

プレイヤー
AM110215NH11030.
00:00:01
00:30:00
AM
128k
AM 10:30

2 削除したいファイルを選ぶ

- ファイル表示画面では、▶▶| または |◀◀ ボタンを押してファイルを選びます。

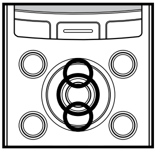
3 ファイル表示画面で停止中に、**消去** 🗑 ボタンを押す

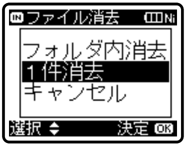



ファイル消去
フォルダ内消去
1件消去
キャンセル
選択
決定 OK

- 再生中は消去できません。**停止**（■）ボタンを押して再生を停止してください。

4 **＋**または**－**ボタンを押して［**フォルダ内消去**］または［**1件消去**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

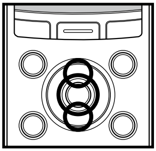


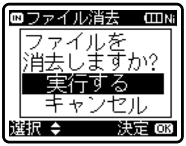

ファイル消去
フォルダ内消去
1件消去
キャンセル
選択
決定 OK

例：［**1 件消去**］を選んだ場合

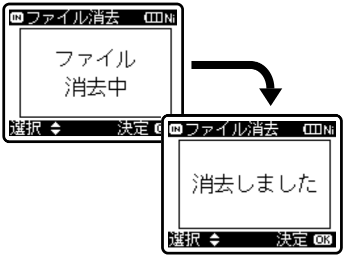
- 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、ファイル表示画面に戻ります。

5 **＋**または**－**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

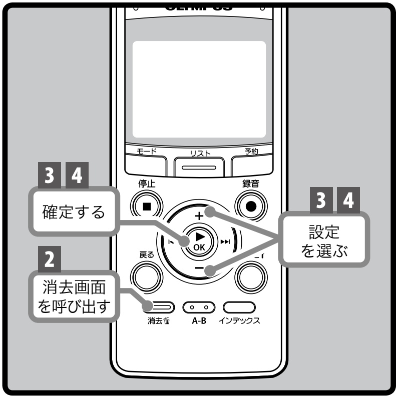



ファイル消去
ファイルを
消去しますか?
実行する
キャンセル
選択
決定 OK

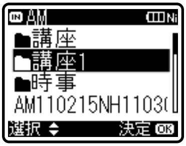
- ［**ファイル消去中**］にかわり、消去を開始します。［**消去しました**］と表示されたら終了です。


ファイル消去
ファイル
消去中
選択
決定
ファイル消去
消去しました
選択
決定 OK

［フォルダ検索］画面から消去する

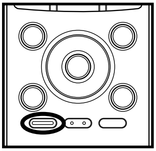


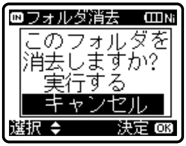
1 **「ファイル検索」**の操作をして［**フォルダ検索**］画面から削除するファイルやフォルダを選ぶ（☞ P.56、P.57）


AM
講座
講座1
時事
AM110215NH1103(
選択 ⇕ 決定 OK

例：フォルダを選んだ場合

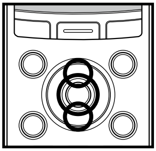
2 停止中に**消去** 🗑 ボタンを押す

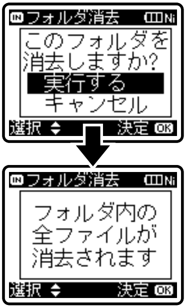



フォルダ消去
このフォルダを消去しますか?
実行する
キャンセル
選択 ⇕ 決定 OK

- 再生中は消去できません。**停止**（■）ボタンを押して再生を停止してください。

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

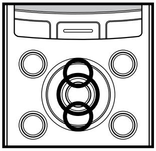


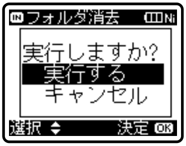

フォルダ消去
このフォルダを消去しますか?
実行する
キャンセル
選択 ⇕ 決定 OK

フォルダ消去
フォルダ内の全ファイルが消去されます
選択 ⇕ 決定 OK

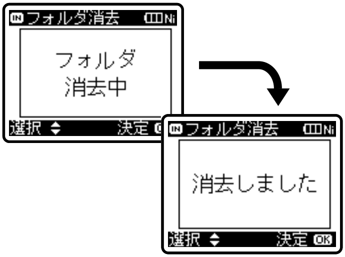
- 操作中に 8 秒間何も操作が無かった場合、［**フォルダ検索**］画面に戻ります。

4 **＋**または**－**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ ボタンを押す




フォルダ消去
実行しますか?
実行する
キャンセル
選択 ⇕ 決定 OK

- ［**フォルダ消去中**］にかわり、消去を開始します。［**消去しました**］と表示されたら終了です。


フォルダ消去
フォルダ消去中
選択 ⇕ 決定 OK

フォルダ消去
消去しました
選択 ⇕ 決定 OK

消去に関するご注意

- 本機の［**AM**］、［**FM**］、［**MIC**］や［**MUSIC**］のデフォルトフォルダ、および予約録音の［**保存先**］の設定で保存先に指定したフォルダを消去することはできません。
- ［**フォルダ内消去**］を選んだ場合、現在の階層にあるフォルダ以下に保存されているファイルは消去されません。
- ファイルロックされているファイルおよび本機で認識できないファイルは消去されません。
- 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ電池を充電するか新しい電池に交換してください。

予約機能を使う

予約録音の設定

放送番組や内蔵マイク、外部マイクまたは他の機器から予約録音できます。

ご確認ください

予約録音の場合、操作の前に下記の内容をご確認ください。

- ✔ **初期設定がお済みでない場合**：
  日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.30）。
- ✔ **時刻が合っていない場合：**
  日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.107、P.108）。
- ✔ **放送局の登録がない場合：**
  あらかじめ登録してください（☞ P.84）。
- ✔ **外部機器から録音する場合：**
  あらかじめ本機と接続してください（☞ P.47）。
- ✔ 予約録音をする場合、安定した受信ができる環境でのご使用をおすすめします。
- ✔ アンテナステーション（同梱）を使用すると、家庭用電源から本機の電源を供給できます（☞ P.21）。
- ✔ あらかじめメモリの残量を確認してください。メモリ残量が無くなると録音が途中で終了します（☞ P.107、P.112）。

ラジオサーバーポケット　アプリケーション「予約設定ツール for PJ-20」

パソコンと接続して予約録音や放送局名の編集などができます。ご入手方法など詳しくは、当社 Web サイトでご確認ください。

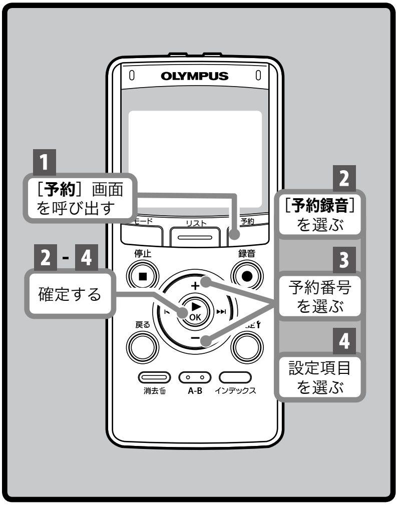
http://olympus-imaging.jp/

! ラジオはご使用の場所により受信状態が大きく変わります。

- 受信状態が良好でない場合、アンテナの位置や向きで調整するか、窓辺など電波の届きやすい場所でご使用ください（☞ P.19）。
- パソコン、携帯電話、テレビ、蛍光灯などの電気製品の近くに置いて使用すると、ノイズが発生する恐れがあります。

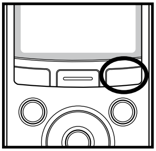
予約録音の設定画面を呼び出す

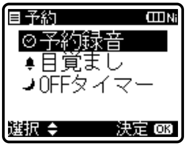
予約録音は、録音日時を指定して録音する他、曜日を指定して繰り返し録音することもできます。特定の日に放送される番組や同じ時間帯に放送される番組など、目的に合わせて設定できます。



1 予約ボタンを押す

- ［**予約**］画面に入ります。

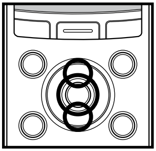


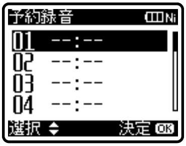

予約
予約録音
目覚まし
OFFタイマー
選択 ◆
決定 OK

- 録音中やファイルの再生中は予約の設定はできません。録音中やファイルの再生中に［**予約**］画面を表示した場合、［**OFFタイマー**］のみが表示されます。
- 設定をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 ＋または－ボタンを押して［予約録音］を選び、OK ▶ ボタンを押す

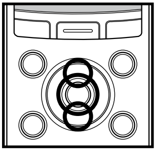
- ［**予約録音**］画面に入ります。

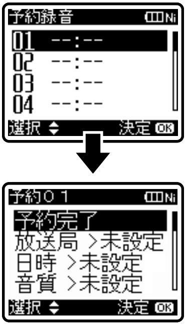



予約録音
01 --:--
02 --:--
03 --:--
04 --:--
選択 ◆
決定 OK

3 ＋または－ボタンを押して予約番号を選び、OK ▶ ボタンを押す

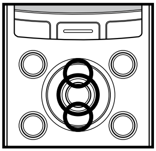
- 予約番号は［**01**］～［**20**］からお選びいただけます。

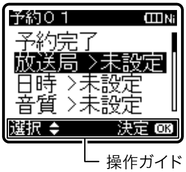



予約録音
01 --:--
02 --:--
03 --:--
04 --:--
選択 ◆
決定 OK
予約０１
予約完了
放送局 >未設定
日時 >未設定
音質 >未設定
選択 ◆
決定 OK

4 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。




予約０１
予約完了
放送局 >未設定
日時 >未設定
音質 >未設定
選択 ◆
決定 OK
操作ガイド

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

予約録音の設定項目：

［**放送局**］（☞ P.68）

➡ 録音する音源を設定します。

［**日時**］（☞ P.68）

➡ 録音する日時を設定します。

［**音質**］（☞ P.70）

➡ 録音するファイルの音質を設定します。

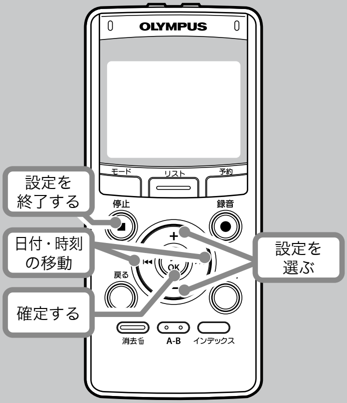
［**保存先**］（☞ P.70）

➡ 録音するファイル（予約録音のみ）の保存先を設定します。

［**予約完了**］（☞ P.71）

➡ 設定項目の内容を確定します。

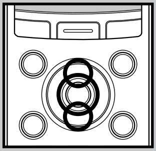
予約録音の設定画面の操作

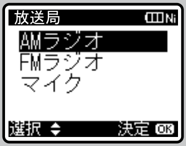

OLYMPUS
モード
リスト
予約
設定を終了する
停止
録音
日付・時刻の移動
設定を選ぶ
戻る
OK
確定する
消去
A-B
インデックス

[放送局] の設定

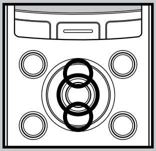
■ 放送番組を録音する:

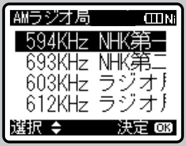
❶ **+**または**−**ボタンを押して受信モードを選び、OK ▶ ボタンを押す。




放送局
AMラジオ
FMラジオ
マイク
選択 ⬍
決定 OK

❷ **+**または**−**ボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す。

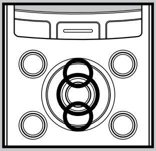


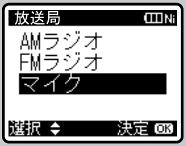

AMラジオ局
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 ⬍
決定 OK

■ 内蔵マイク、外部マイクや他の機器から録音する:

! マイクや他の機器から録音する場合、[マイク]を選んでください。

❶ **+**または**−**ボタンを押して [**マイク**] を選び、OK ▶ ボタンを押す。



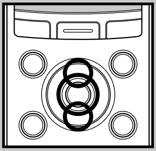

放送局
AMラジオ
FMラジオ
マイク
選択 ⬍
決定 OK

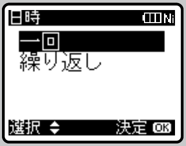
[日時] の設定

■ 日時を指定する:

特定の日に放送される番組を予約録音する場合に便利です。

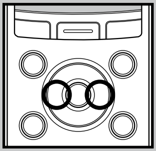
❶ **+**または**−**ボタンを押して [**1 回**] を選び、OK ▶ ボタンを押す。

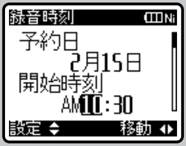



日時
一回
繰り返し
選択 ⬍
決定 OK

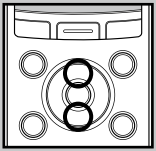
❷ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目にカーソルを移動させる。**

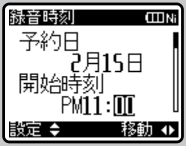
- 新たに予約録音を設定する場合、予約日、開始時刻および終了時刻は設定を開始した日付と時刻を表示します。




録音時刻
予約日
2月15日
開始時刻
AM10:30
設定 ⇕　移動 ◀▶

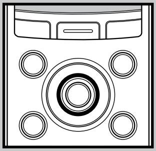
❸ **+または−ボタンを押して設定する。**

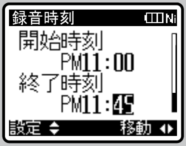



録音時刻
予約日
2月15日
開始時刻
PM11:00
設定 ⇕　移動 ◀▶

- 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［PM12：00］に設定します）。

❹ **設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。**

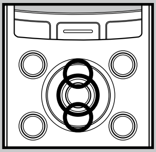


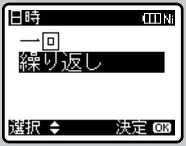

録音時刻
開始時刻
PM11:00
終了時刻
PM11:45
設定 ⇕　移動 ◀▶

■ 曜日を指定する：

特定の曜日の同じ時間に繰り返し予約録音する場合に便利です。

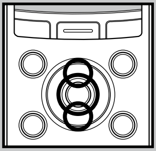
❶ **+または−ボタンを押して［繰り返し］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

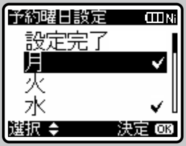



日時
一回
繰り返し
選択 ⇕　決定 OK

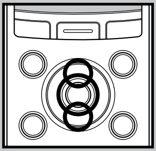
❷ **+または−ボタンを押して曜日を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

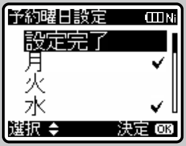
- 曜日は複数選べます。選んだ曜日にはチェックが付きます。
- 選択した曜日を解除するには、**+**または**−**ボタンを押してチェックのついた曜日を選び、OK ▶ ボタンを押します。




予約曜日設定
設定完了
月 ✓
火
水 ✓
選択 ⇕　決定 OK

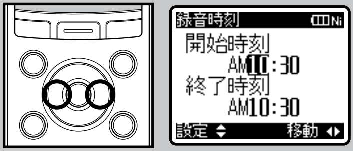
❸ **曜日の指定が終了したら、+または−ボタンを押して［設定完了］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**



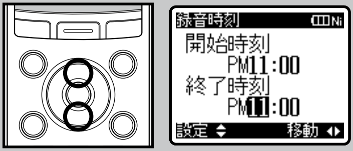

予約曜日設定
設定完了
月 ✓
火
水 ✓
選択 ⇕　決定 OK

❹ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目にカーソルを移動させる。**

- 新たに予約録音を設定する場合、開始時刻および終了時刻は設定を開始した日付と時刻を表示します。

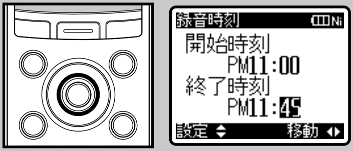

録音時刻
開始時刻
AM10:30
終了時刻
AM10:30
設定 ⇕ 移動 ◀▶

❺ **+または−ボタンを押して設定する。**


録音時刻
開始時刻
PM11:00
終了時刻
PM11:00
設定 ⇕ 移動 ◀▶

- 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［PM12：00］に設定します）。

❻ **設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。**

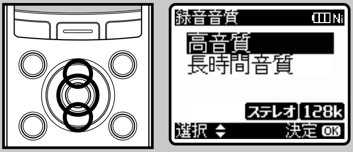

録音時刻
開始時刻
PM11:00
終了時刻
PM11:45
設定 ⇕ 移動 ◀▶

! ［**開始/終了時刻が同じです**］と表示された場合、開始時刻と終了時刻を最低1分以上開けてください。

! 1 件の予約録音は最大 23 時間 59 分まで録音できます。

［音質］の設定

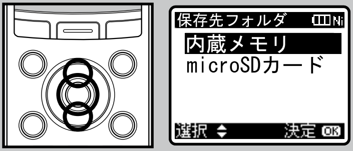
❶ **+または−ボタンを押して音質を選び、OK ▶ ボタンを押す。**


録音音質
高音質
長時間音質
ステレオ 128k
選択 ⇕ 決定 OK

- ［**予約録音**］で［**録音音質**］を設定しない場合は、［**録音設定**］の各モードの［**録音音質**］の設定が適用されます。

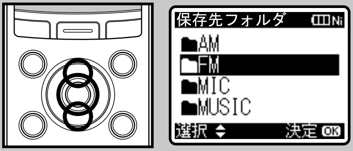
［保存先］の設定

❶ **+または−ボタンを押して保存先のメモリを選び、OK ▶ ボタンを押す。**


保存先フォルダ
内蔵メモリ
microSDカード
選択 ⇕ 決定 OK

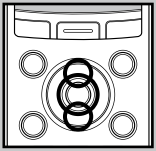
- microSD カードが挿入されていないときは、［**microSD カード**］は表示されません。

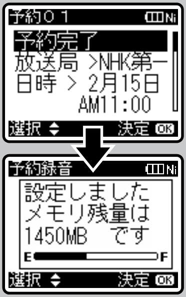
❷ **+または−ボタンを押してフォルダを選び、OK ▶ ボタンを押す。**


保存先フォルダ
AM
FM
MIC
MUSIC
選択 ⇕ 決定 OK

［予約完了］の設定

❶ **＋または－ボタンを押して[予約完了]を選び、OK ▶ ボタンを押す。**





予約01

予約完了
放送局 >NHK第一
日時 > 2月15日
AM11:00

選択 ⇕ 決定 OK

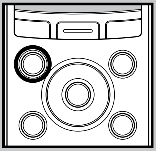
予約録音

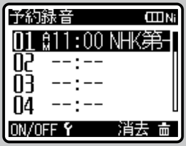
設定しました
メモリ残量は
1450MB です

E F

選択 ⇕ 決定 OK

❷ **停止（■）ボタンを押して設定を終了する。**



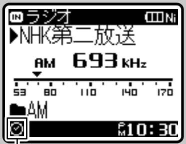


予約録音

01 AM11:00 NHK第一
02 --:--
03 --:--
04 --:--

ON/OFF 消去

- ラジオ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると予約録音表示が点灯します。



ラジオ

▶NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
AM10:30

予約録音表示

ご注意

- 未設定項目がある場合、［**未設定項目があります**］と表示されます。［**設定に戻る**］を選び、設定してください。［**設定を終了**］を選ぶと、途中までの設定内容は消去され、［**予約録音**］のリスト画面に戻ります（☞ P.66）。
- 予約録音時間が重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。［**日時**］で重複しない時刻を設定し直してください。設定中の予約録音を優先する場合、重複先の予約番号を動作させないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去してから、再度設定してください（☞ P.72、P.74）。

ご注意

- 予約録音と目覚まし機能の開始時刻が同時刻に設定されている場合、予約録音が優先されます。
- 予約録音の開始時刻前には、予約録音の保留や中止ができます（☞ P.72、P.83）。
- 終了時刻と他の予約番号の開始時刻が同じ場合、前の予約録音が設定時刻より早めに終了し、次の予約録音が開始されますのでご注意ください。
- パソコンと接続している場合、予約録音機能は働きません。
- ［**予約録音**］の設定のあとに、指定した放送局の登録を消去した場合でも、予約設定した放送局の周波数で録音します。
- マイクからの録音の場合、［**VCVA**］の設定は自動的に［**OFF**］に設定されます。
- 保存先に microSD カード内のフォルダを指定した後に microSD カードを取り出した場合、保存先となるフォルダが内蔵メモリ内に作成され、録音されます。
- microSD カードの交換やフォルダの消去によって [**保存先**] で指定したフォルダが予約録音開始時にない場合は、[**保存先**] で指定した名前のフォルダが作成され、録音されます。
- AM ／ FM ／ MUSIC フォルダ以下では、保存先フォルダのファイル件数が 200 件に達した場合、別フォルダを自動作成し録音します。自動作成するフォルダは「元フォルダ名 _ 数字（連番）」とし、保存先フォルダの設定にも反映されます。
  MIC フォルダでは、200 件に達した場合、予約録音は動作しません。

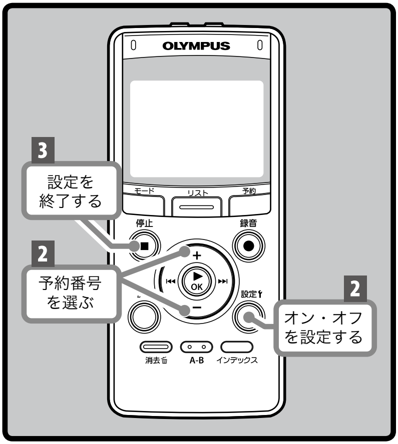
1 時間あたりのファイル容量（めやす）

［**高音質**］	約 55 MB
［**長時間音質**］	約 21 MB

予約番号のオン・オフを切り替える

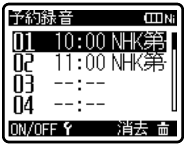
1件ずつ切り替える

すでに設定済みの予約番号のオン・オフを設定できます。


OLYMPUS
3
設定を
終了する
2
予約番号
を選ぶ
2
オン・オフ
を設定する
モード
リスト
予約
停止
録音
OK
設定
消去
A-B
インデックス

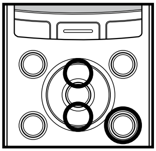
1 **「予約録音の設定画面を呼び出す」**の手順 1 から手順 2 まで操作する（☞ P.66）

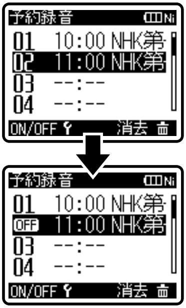
- ［**予約録音**］画面に入ります。


予約録音
01 10:00 NHK第
02 11:00 NHK第
03 --:--
04 --:--
ON/OFF 消去

2 **＋または－ボタンを押して設定する予約番号を選び、設定ボタンを押す**

- 予約番号を選び、**設定**ボタンを繰り返し押すとオン・オフが順番に切り替わります。

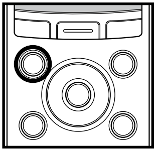



予約録音
01 10:00 NHK第
02 11:00 NHK第
03 --:--
04 --:--
ON/OFF 消去

予約録音
01 10:00 NHK第
OFF 11:00 NHK第
03 --:--
04 --:--
ON/OFF 消去

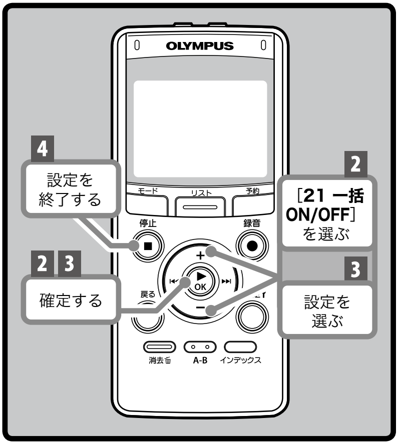
- リストの予約番号が表示されている場合、予約がオンの状態です。予約がオフの場合は、［**OFF**］が表示されます。
- 予約録音の開始時刻が重複している場合、［**予約 02 と重複しています**］のように表示され、重複先の予約番号をお知らせします。この場合、重複先の予約番号を動作させないようにするか、重複先の予約番号の設定内容を消去してください（☞ P.74）。

3 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**



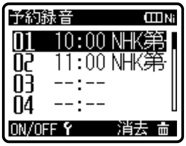
一括で切り替える

すでに登録済みの予約番号のオン・オフを一括で設定できます。

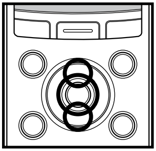

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
消去
A-B
インデックス
4
設定を終了する
2
［21 一括 ON/OFF］を選ぶ
2 3
確定する
3
設定を選ぶ

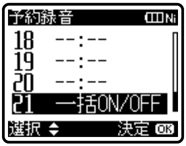
1 **「予約録音の設定画面を呼び出す」**の手順 1 から手順 2 まで操作する（☞ P.66）

- ［**予約録音**］画面に入ります。

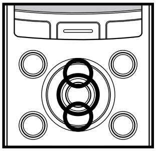

予約録音
01 10:00 NHK第
02 11:00 NHK第
03 --:--
04 --:--
ON/OFF　消去

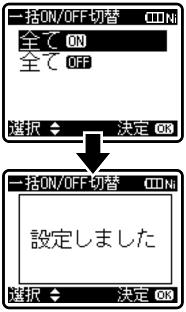
2 **＋**または**－**ボタンを押して［**21 一括 ON/OFF**］を選び、OK ▶ ボタンを押す




予約録音
18 --:--
19 --:--
20 --:--
21 一括ON/OFF
選択　決定 OK

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**全て ON**］または［**全て OFF**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

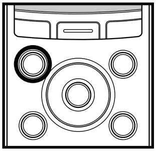



一括ON/OFF切替
全て ON
全て OFF
選択　決定 OK

一括ON/OFF切替
設定しました
選択　決定 OK

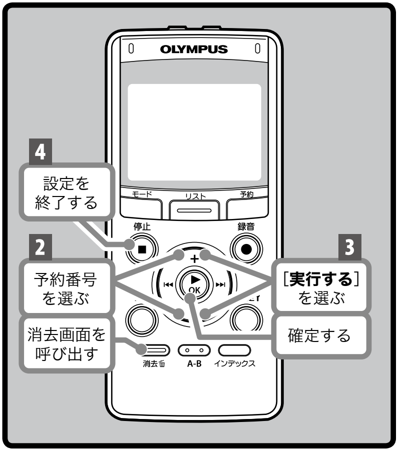
- 予約録音の開始時刻が重複している場合、［**重複した予約があります**］と表示されます。重複先がわからない場合などは、［**全て OFF**］を選び、予約録音を1件ずつ［**ON**］に設定して重複を解消してください（☞ P.72）。

4 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**



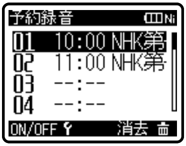
予約録音の消去

予約番号を選び予約録音の設定内容を消去できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
消去
A-B
インデックス
4
設定を終了する
2
予約番号を選ぶ
3
[実行する] を選ぶ
確定する
消去画面を呼び出す

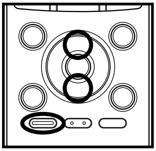
1 **「予約録音の設定画面を呼び出す」**の手順 1 から手順 2 まで操作する（☞ P.66）

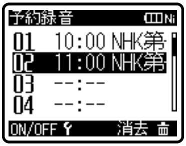
- ［**予約録音**］画面に入ります。



予約録音
01 10:00 NHK第
02 11:00 NHK第
03 --:--
04 --:--
ON/OFF 消去

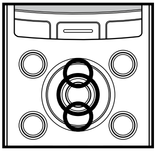
2 **+**または**−**ボタンを押して消去したい予約番号を選び、**消去** ボタンを押す

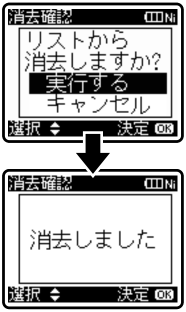




予約録音
01 10:00 NHK第
02 11:00 NHK第
03 --:--
04 --:--
ON/OFF 消去

3 **+**または**−**ボタンを押して**［実行する］**を選び、OK ▶ ボタンを押す

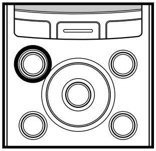




消去確認
リストから
消去しますか?
実行する
キャンセル
選択 決定 OK

消去確認
消去しました
選択 決定 OK

4 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する



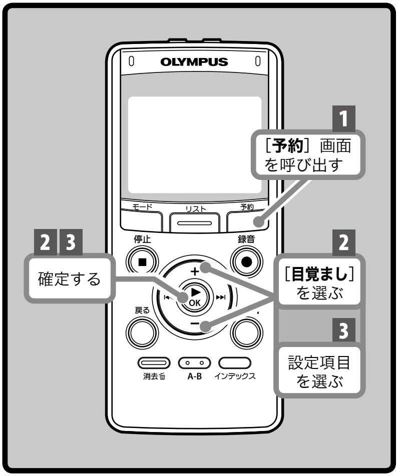
目覚まし機能

毎朝お好きな放送番組、音楽やアラーム音でお目覚めできます。

ご確認ください

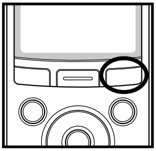
- あらかじめ日付・時刻の設定および放送局の登録をしてください（☞ P.30、P.84、P.107、P.108）。

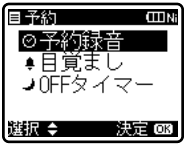
目覚まし機能の設定画面を呼び出す


OLYMPUS
1
［予約］画面を呼び出す
モード
リスト
予約
2 3
確定する
停止
録音
2
［目覚まし］を選ぶ
+
OK
−
戻る
3
設定項目を選ぶ
消去
A-B
インデックス

1 予約ボタンを押す

- ［**予約**］画面に入ります。



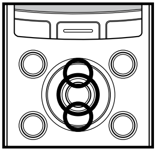


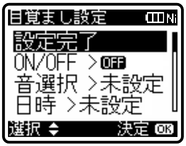
予約
⊘予約録音
目覚まし
OFFタイマー
選択 ⇕ 決定 OK

- 録音中やファイルの再生中は目覚ましの設定はできません。録音中やファイルの再生中に［**予約**］画面を表示した場合、［**OFFタイマー**］のみが表示されます。
- 設定をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 ＋または－ボタンを押して［目覚まし］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- ［**目覚まし設定**］画面に入ります。

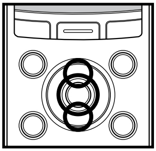


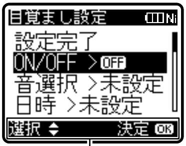


目覚まし設定
設定完了
ON/OFF >OFF
音選択 >未設定
日時 >未設定
選択 ⇕ 決定 OK

3 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。





目覚まし設定
設定完了
ON/OFF >OFF
音選択 >未設定
日時 >未設定
選択 ⇕ 決定 OK

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

目覚まし機能の設定項目：

［**ON/OFF**］（☞ P.76）

➡ 目覚まし機能を実行する・しないを設定します。

［**音選択**］（☞ P.76）

➡ 再生する音源を設定します。

［**日時**］（☞ P.77）

➡ 再生する日時を設定します。

［**停止時間**］（☞ P.79）

➡ アラームを停止する時間を設定します。

［**音量**］（☞ P.79）

➡ 再生する音量を設定します。

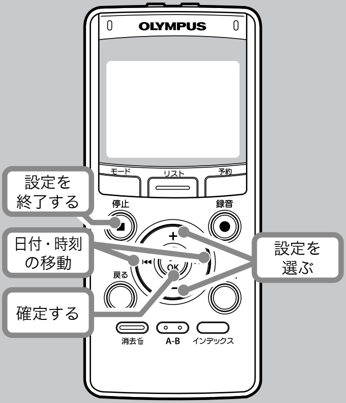
［**再生テスト**］（☞ P.79）

➡［**音選択**］と［**音量**］の設定を試し聞きします。

［**設定完了**］（☞ P.79）

➡ 設定項目の内容を確定します。

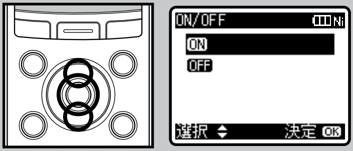
目覚まし機能の設定画面の操作


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
消去
A-B
インデックス
設定を終了する
日付・時刻の移動
確定する
設定を選ぶ

[ON/OFF] の設定

目覚まし機能を使う・使わないを選びます。[**OFF**] を選んだ場合でも設定内容は記憶しています。

❶ **+**または**−**ボタンを押して [**ON**] または [**OFF**] を選び、OK ▶ ボタンを押す。

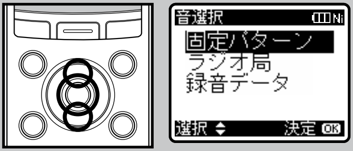

ON/OFF
ON
OFF
選択 ⬍
決定 OK

[**ON**]：目覚まし機能が働きます。
[**OFF**]：目覚まし機能は働きません。

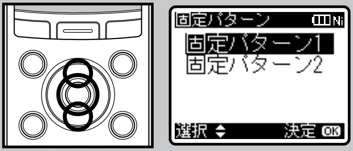
[音選択] の設定

■ アラーム音を選ぶ場合：

❶ **+**または**−**ボタンを押して [**固定パターン**] を選び、OK ▶ ボタンを押す。

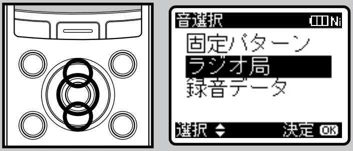

音選択
固定パターン
ラジオ局
録音データ
選択 ⬍
決定 OK

❷ **+**または**−**ボタンを押してアラーム音を選び、OK ▶ ボタンを押す。

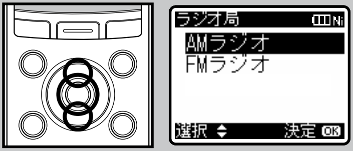

固定パターン
固定パターン1
固定パターン2
選択 ⬍
決定 OK

■ 放送番組を選ぶ場合：

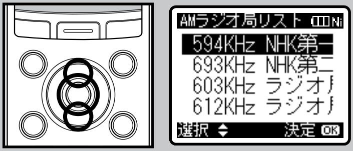
❶ **+**または**−**ボタンを押して [**ラジオ局**] を選び、OK ▶ ボタンを押す。


音選択
固定パターン
ラジオ局
録音データ
選択 ⬍
決定 OK

❷ **+**または**−**ボタンを押して受信モードを選び、OK ▶ ボタンを押す。

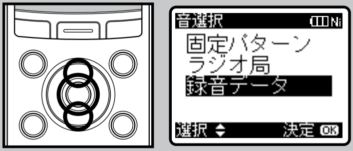

ラジオ局
AMラジオ
FMラジオ
選択 ⬍
決定 OK

❸ ＋または－ボタンを押して放送局を選び、OK ▶ ボタンを押す。


AMラジオ局リスト
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 ⇕
決定 OK

■ ファイルを選ぶ場合：

❶ ＋または－ボタンを押して［録音データ］を選び、OK ▶ ボタンを押す。

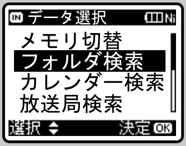

音選択
固定パターン
ラジオ局
録音データ
選択 ⇕
決定 OK

❷ メモリを選択する。

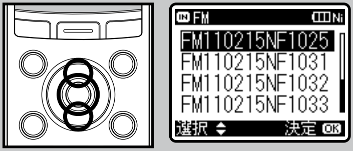
- 詳しくは、「**メモリを切り替える**」の手順 4 をご覧ください（☞ P.60）。

❸ 再生するファイルを検索する。

- 詳しくは「**ファイル検索画面の操作**」をご覧ください（☞ P.57）。


IN データ選択
メモリ切替
フォルダ検索
カレンダー検索
放送局検索
選択 ⇕
決定 OK

❹ ＋または－ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押す。

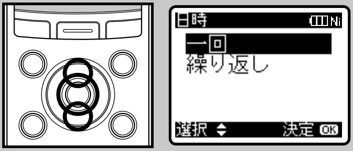

IN FM
FM110215NF1025
FM110215NF1031
FM110215NF1032
FM110215NF1033
選択 ⇕
決定 OK

［日時］の設定

■ 日時を指定する場合：

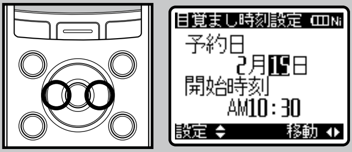
特定の日に目覚ましを設定する場合に便利です。

❶ ＋または－ボタンを押して［1 回］を選び、OK ▶ ボタンを押す。

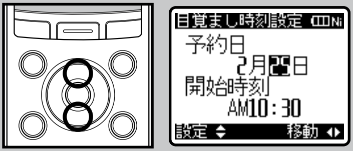

日時
一回
繰り返し
選択 ⇕
決定 OK

❷ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目にカーソルを移動させる。

- 新たに目覚ましを設定する場合、予約日および開始時刻は設定を開始した日付と時刻を表示します。

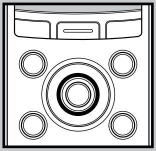

目覚まし時刻設定
予約日
2月15日
開始時刻
AM10:30
設定 ⇕
移動 ◀▶

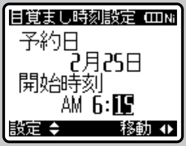
❸ ＋または－ボタンを押して設定する。


目覚まし時刻設定
予約日
2月25日
開始時刻
AM10:30
設定 ⇕
移動 ◀▶

- 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［PM12:00］に設定します）。

❹ **設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。**



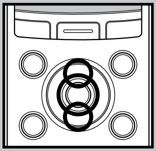


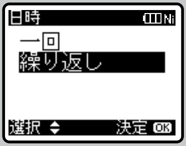
目覚まし時刻設定
予約日
2月25日
開始時刻
AM 6:15
設定 ⇕ 移動 ◀▶

■ 曜日を指定する場合：

特定の曜日の同じ時間に目覚ましを設定する場合に便利です。

❶ **+または−ボタンを押して［繰り返し］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

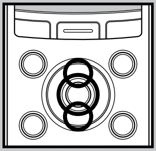


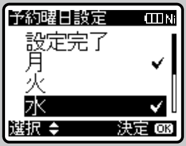


日時
一回
繰り返し
選択 ⇕ 決定 OK

❷ **+または−ボタンを押して曜日を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

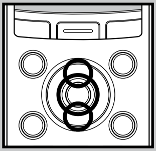
- 曜日は複数選べます。選んだ曜日にはチェックが付きます。
- 選択した曜日を解除するには、**+**または**−**ボタンを押してチェックのついた曜日を選び、OK ▶ ボタンを押します。

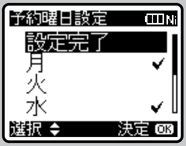




予約曜日設定
設定完了
月 ✓
火
水 ✓
選択 ⇕ 決定 OK

❸ **曜日の指定が終了したら、+または−ボタンを押して［設定完了］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

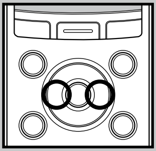


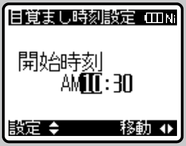


予約曜日設定
設定完了
月 ✓
火
水 ✓
選択 ⇕ 決定 OK

❹ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目にカーソルを移動させる。**

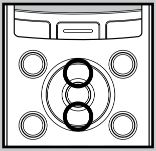
- 新たに目覚ましを設定する場合、開始時刻は設定を開始した時刻を表示します。

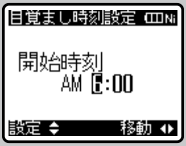




目覚まし時刻設定
開始時刻
AM 10:30
設定 ⇕ 移動 ◀▶

❺ **+または−ボタンを押して設定する。**

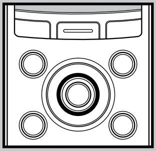


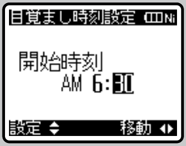


目覚まし時刻設定
開始時刻
AM 6:00
設定 ⇕ 移動 ◀▶

- 時間表示（12 時間表示または 24 時間表示）は、［**時計設定**］の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください（昼の 12 時の場合は、［PM12:00］に設定します）。

❻ 設定が終了したら、OK ▶ ボタンを押す。

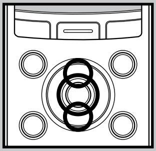


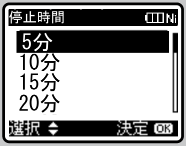


目覚まし時刻設定
開始時刻
AM 6:30
設定 ⇕ 移動 ◂▸

［停止時間］の設定

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して停止する時間を選び、OK ▶ ボタンを押す。

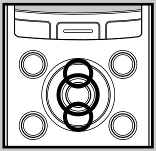


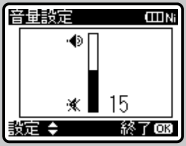


停止時間
5分
10分
15分
20分
選択 ⇕ 決定 OK

［音量］の設定

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して目覚ましの音量を調整し、OK ▶ ボタンを押す。



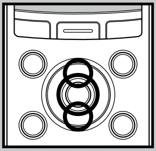


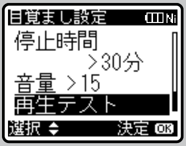
音量設定
15
設定 ⇕ 終了 OK

［再生テスト］の実行

［**音選択**］と［**音量**］の設定を試し聞きできます。

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して［**再生テスト**］を選び、OK ▶ ボタンを押す。



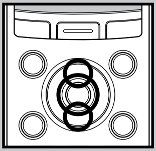


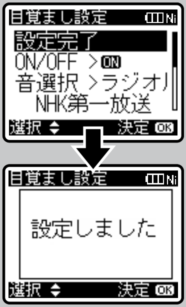
目覚まし設定
停止時間
＞30分
音量 ＞15
再生テスト
選択 ⇕ 決定 OK

❷ 試し聞きをしたら、OK ▶ ボタンを押す。

［設定完了］の設定

❶ **＋**または**ー**ボタンを押して［**設定完了**］を選び、OK ▶ ボタンを押す。

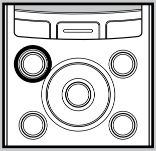


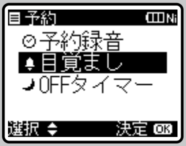


目覚まし設定
設定完了
ON/OFF ＞ON
音選択 ＞ラジオ
NHK第一放送
選択 ⇕ 決定 OK

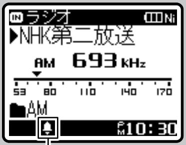
目覚まし設定
設定しました
選択 ⇕ 決定 OK

❷ **停止（■）ボタンを押して設定を終了する。**




予約
予約録音
目覚まし
OFFタイマー
選択
決定 OK

- ラジオ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると目覚まし機能表示が点灯します。


ラジオ
NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
PM 10:30

目覚まし機能表示

ご注意

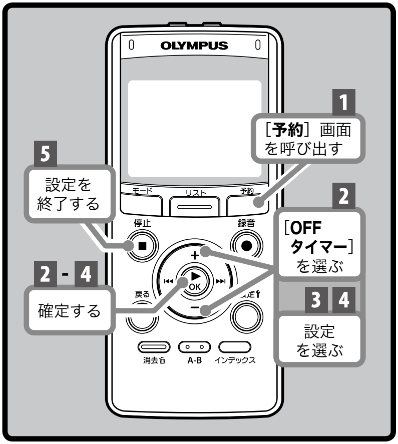
- 未設定項目がある場合、[**未設定項目があります**] と表示されます。[**設定に戻る**] を選び、設定してください。[**設定を終了**] を選ぶと、途中までの設定内容は消去されます。

ご注意

- 目覚まし機能が働いたあとに、アラーム音の再生をやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください。
- [**音選択**] の設定のあとに、指定したファイルや放送局の登録が消去された場合、目覚まし機能の再生音は[**固定パターン 1**] になります。
- microSD カード内のファイルを指定後に microSD カードを取り出した場合、再生音は [**固定パターン1**] に変更されます。
- パソコンと接続している場合、目覚まし機能は働きません。
- 予約録音と目覚まし機能の開始時刻が同時刻に設定されている場合、予約録音が優先されます。

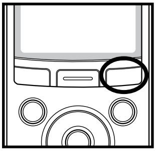
OFF タイマー

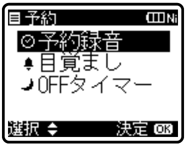
設定した時間が経過すると自動的に本機の電源が切れます。


OLYMPUS
1
［予約］画面を呼び出す
5
設定を終了する
2
［OFF タイマー］を選ぶ
2 - 4
確定する
3 4
設定を選ぶ
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
消去
A-B
インデックス

1 予約ボタンを押す

- ［**予約**］画面に入ります。

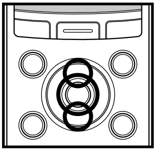


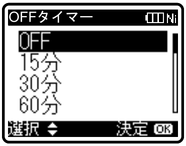


予約
予約録音
目覚まし
OFFタイマー
選択 ⇕ 決定 OK

2 ＋またはーボタンを押して［OFF タイマー］を選び、OK ▶ ボタンを押す

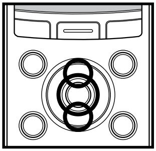
- ［**OFF タイマー**］画面に入ります。

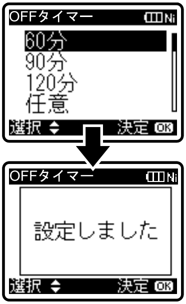




OFFタイマー
OFF
15分
30分
60分
選択 ⇕ 決定 OK

3 ＋またはーボタンを押してお好みの時間を選び、OK ▶ ボタンを押す



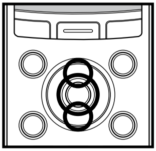


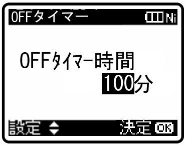
OFFタイマー
60分
90分
120分
任意
選択 ⇕ 決定 OK

OFFタイマー
設定しました
選択 ⇕ 決定 OK

- ［**任意**］を選んだ場合、手順 4 の操作で詳細な時間設定ができます。
- OFF タイマーを解除する場合、再度手順 1 から手順3の操作をして［**OFF**］をお選びください。

4 ［任意］を選択した場合は、＋またはーボタンを押して終了時間を増減し、OK ▶ ボタンを押す

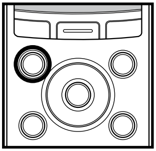


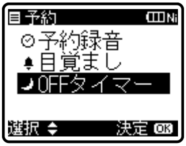


OFFタイマー
OFFタイマー時間
100分
設定 ⇕ 決定 OK

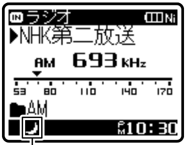
- 1分から最大 120 分まで録音終了時間を指定できます。

5 停止（■）ボタンを押して設定を終了する




予約
予約録音
目覚まし
OFFタイマー
選択
決定 OK

- ラジオ受信モード画面やファイル表示画面に戻ると OFF タイマー表示が点灯します。


ラジオ
NHK第二放送
AM 693 kHz
53 80 110 140 170
AM
10:30

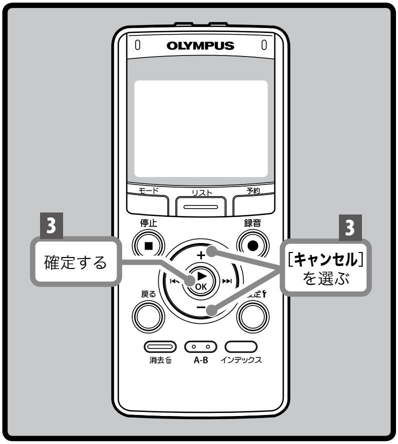
OFF タイマー表示

ご注意

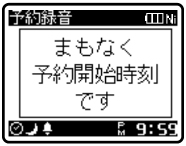
- パソコンと接続中、予約録音中または目覚ましの動作中は、OFF タイマーは働きません。
- OFF タイマーとスリープ機能が設定されている場合、設定時間が短い機能が優先されます。

予約機能の中止

本機を使用中に、予約録音、目覚まし機能および OFF タイマー機能の開始時刻が来た場合に、予約機能を中止できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
3
確定する
3
[キャンセル]
を選ぶ
OK
戻る
決定
消去
A-B
インデックス

1 予約機能が動作する1分前に確認画面が表示されます



予約録音

まもなく
予約開始時刻
です

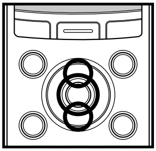
P M 9:59

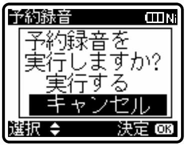
例：予約録音の確認画面

2 いずれかのボタンを押す

- **電源／ホールド**スイッチでは操作できません。

3 **＋またはーボタンを押して［キャンセル］を選び、OK ▶ ボタンを押す**





予約録音

予約録音を
実行しますか?
実行する
キャンセル

選択 ⇕　決定 OK

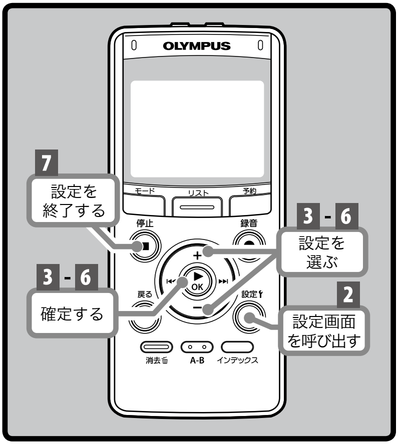
予約録音を中止する場合

- 何も操作しない場合、開始時刻になると予約機能が働きます。

ラジオ設定

放送局をオートスキャンして更新する

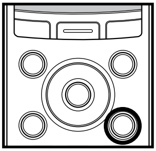
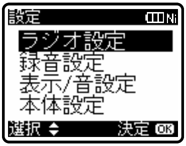
設定画面で放送局をオートスキャン（自動検索）して、放送局リストを更新できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
設定
消去
A-B
インデックス
7
設定を終了する
3 - 6
設定を選ぶ
3 - 6
確定する
2
設定画面を呼び出す

1 **「AM ／ FM ラジオを聞く」**の手順 1 から手順 2 までを操作する（☞ P.39）

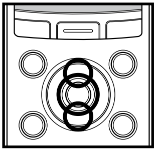
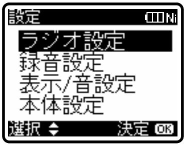
2 **設定** ボタンを押す

- 設定画面に入ります。

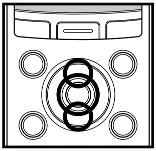
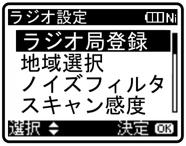


設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕
決定 OK

- 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

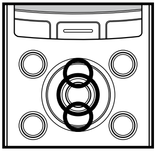
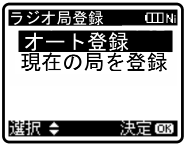


設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕
決定 OK

4 **＋**または**－**ボタンを押して［**ラジオ局登録**］を選び、OK ▶ ボタンを押す



ラジオ設定
ラジオ局登録
地域選択
ノイズフィルタ
スキャン感度
選択 ⇕
決定 OK

- ［**ラジオ局登録**］画面に入ります。
- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

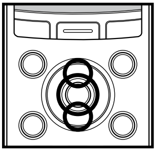
5 **＋**または**－**ボタンを押して［**オート登録**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

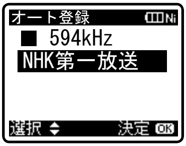


ラジオ局登録
オート登録
現在の局を登録
選択 ⇕
決定 OK

- ［**オート登録**］画面に入り、放送局のスキャンが開始されます。
- 放送局が検出されると、受信した放送局の周波数と登録方法の設定項目が表示されます。

6 **＋**または**ー**ボタンを押して［**放送局名候補**］または［**周波数で登録**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

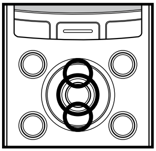
- ［**放送局名候補**］を選んだ場合は、放送局名の候補がリスト表示されます。放送局名を選んで、OK ▶ ボタンを押します。

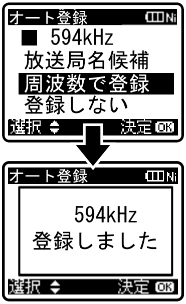




オート登録
■ 594kHz
NHK第一放送
選択 ⇕　決定 OK

- ［**周波数で登録**］を選んだ場合は、放送局名は［AM ラジオ局 01］または［FM ラジオ局 01］となります（数字部分は登録した順番となります）。



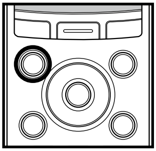


オート登録
■ 594kHz
放送局名候補
周波数で登録
登録しない
選択 ⇕　決定 OK

オート登録
594kHz
登録しました
選択 ⇕　決定 OK

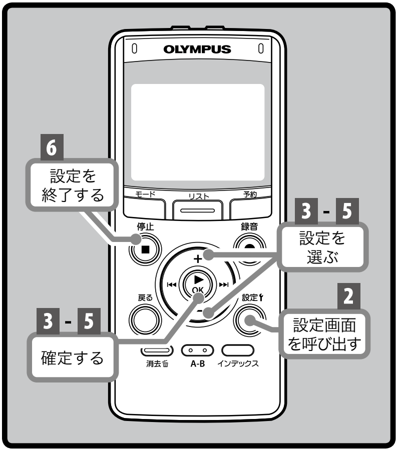
- 放送局リストは、オート登録で登録した放送局で上書きされます。
- AM、FM ラジオとも、それぞれ最大 20 件まで放送局リストに登録できます。
- 登録件数が 20 件を超えると、［**これ以上登録できません**］が表示されます。この場合、放送局リストから不要な登録を消去してください（☞ P.88）。

7 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する

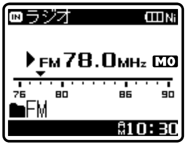


受信放送局を追加する

現在の受信周波数を放送局リストに追加できます。


OLYMPUS
6
設定を終了する
モード
リスト
予約
停止
録音
3 - 5
設定を選ぶ
戻る
OK
設定
2
設定画面を呼び出す
3 - 5
確定する
消去
A-B
インデックス

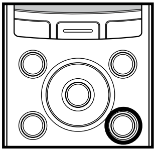
1 「**登録した放送局以外の AM／FM ラジオを聞く**」の操作をして（☞ P.42）、追加する放送局に周波数を合わせる

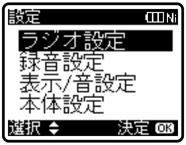


ラジオ
FM 78.0MHz MO
76 80 86 90
FM
10:30

2 **設定**🔧 ボタンを押す

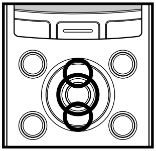
- 設定画面に入ります。

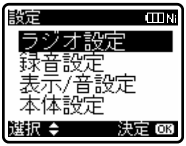



設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕
決定 OK

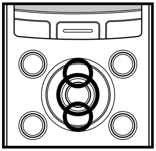
- 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

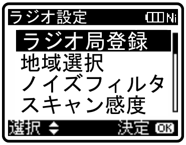
3 **＋**または**－**ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選び、OK ▶ を押す




設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕
決定 OK

4 **＋**または**－**ボタンを押して［**ラジオ局登録**］を選び、OK ▶ を押す

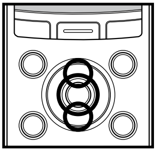


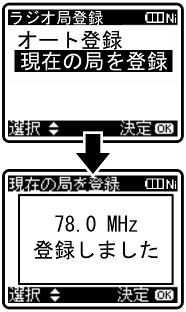

ラジオ設定
ラジオ局登録
地域選択
ノイズフィルタ
スキャン感度
選択 ⇕
決定 OK

- ［**ラジオ局登録**］画面に入ります。
- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

5 **＋**または**－**ボタンを押して［**現在の局を登録**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

- 現在受信中の周波数が放送局リストに追加されます。

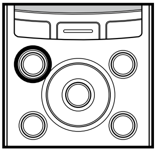



ラジオ局登録
オート登録
現在の局を登録
選択 ⇕
決定 OK
現在の局を登録
選択 ⇕
決定 OK

78.0 MHz
登録しました

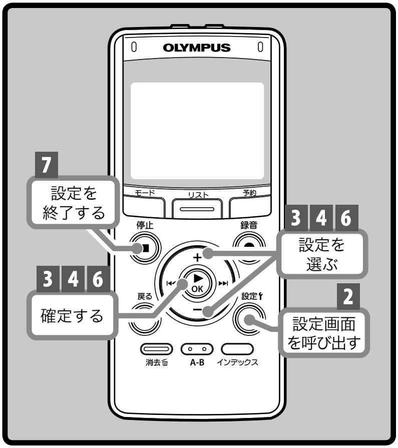
- 登録済みの放送局の場合、［**既に登録されています**］と表示されます。
- AM、FM ラジオとも、それぞれ最大 20 件まで放送局リストに登録できます。
- 登録件数が 20 件を超えると、［**これ以上登録できません**］と表示されます。この場合、放送局リストから不要な登録を消去してください（☞ P.88）。

6 **停止**（■）ボタンを押して設定を終了する



地域を選択して放送局を自動登録する

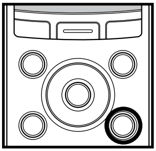
地域を選択して、放送局を自動登録できます。

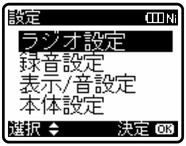

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
消去
A-B
インデックス
7
設定を終了する
3 4 6
設定を選ぶ
3 4 6
確定する
2
設定画面を呼び出す

1 **「AM／FM ラジオを聞く」の手順 1 から手順 2 までを操作する（☞ P.39）**

2 **設定 ボタンを押す**

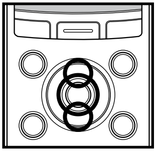
- 設定画面に入ります。

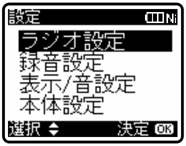



設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕ 決定 OK

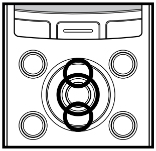
- 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

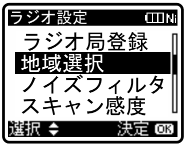
3 **＋または－ボタンを押して［ラジオ設定］を選び、OK ▶ を押す**




設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕ 決定 OK

4 **＋または－ボタンを押して［地域選択］を選び、OK ▶ ボタンを押す**




ラジオ設定
ラジオ局登録
地域選択
ノイズフィルタ
スキャン感度
選択 ⇕ 決定 OK

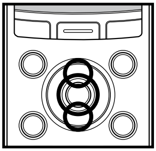
- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

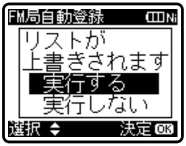
5 **「放送局を自動登録する」の手順 1 から手順 4 までを操作する（☞ P.33）**

- **初期設定**と同じように、お住まいの地方、都道府県、地域で絞り込みます。

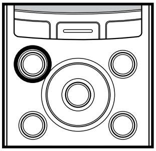
6 **＋または－ボタンを押して［実行する］を選び、OK ▶ ボタンを押す**

- 登録されていた放送局は削除されます。

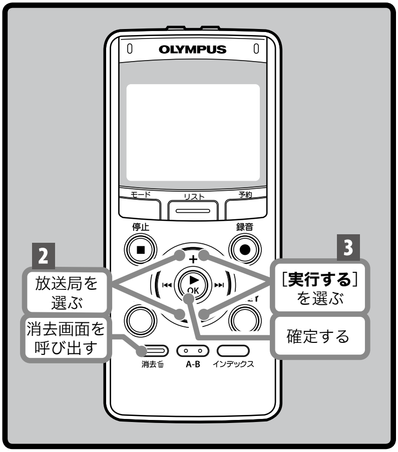



FM局自動登録
リストが
上書きされます
実行する
実行しない
選択 ⇕ 決定 OK

7 **停止（■）** ボタンを押して設定を終了する

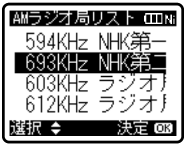


放送局を消去する

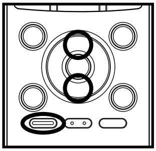

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
OK
2
放送局を選ぶ
3
[**実行する**]を選ぶ
消去画面を呼び出す
確定する
消去
A-B
インデックス

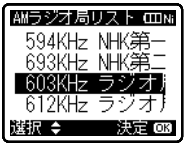
1 **「AM／FM ラジオを聞く」** の手順 1 から手順 3 までを操作する（☞ P.39）

- 放送局リストに入ります。

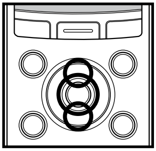

AMラジオ局リスト
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 ◆ 決定 OK

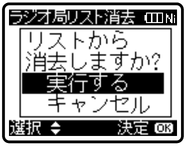
2 **＋**または**－**ボタンを押して消去する放送局を選び、**消去** ボタンを押す

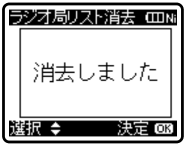



AMラジオ局リスト
594KHz NHK第一
693KHz NHK第二
603KHz ラジオ
612KHz ラジオ
選択 ◆ 決定 OK

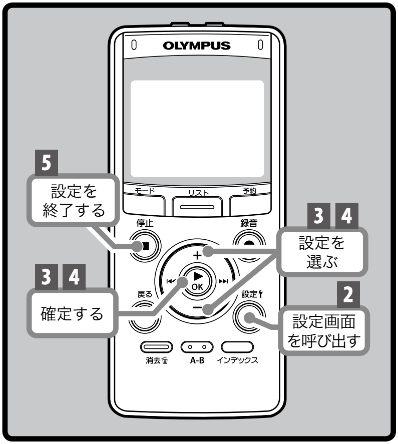
3 **＋**または**－**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ ボタンを押す




ラジオ局リスト消去
リストから
消去しますか?
実行する
キャンセル
選択 ◆ 決定 OK


ラジオ局リスト消去
消去しました
選択 ◆ 決定 OK

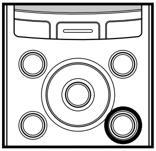
ラジオの機能を設定する

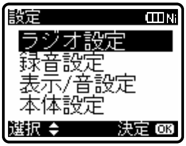

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
消去
A-B
インデックス
5
設定を終了する
3 4
設定を選ぶ
3 4
確定する
2
設定画面を呼び出す

1 **「AM ／ FM ラジオを聞く」**の手順 1 から手順 2 までを操作する（☞ P.39）

2 **設定** ボタンを押す

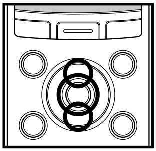
- 設定画面に入ります。

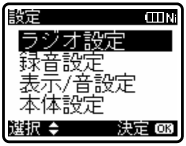



設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕　決定 OK

- 録音中または放送局リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

3 ＋または－ボタンを押して［**ラジオ設定**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

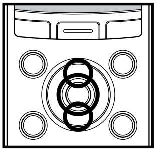


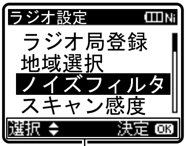

設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕　決定 OK

- ［ラジオ設定］画面に入ります。

4 **＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ ボタンを押す**

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。




ラジオ設定
ラジオ局登録
地域選択
ノイズフィルタ
スキャン感度
選択 ⇕　決定 OK

操作ガイド

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

ラジオ受信／録音に関する設定項目：

［**ノイズフィルタ**］（☞ P.90）

➥ ラジオの耳障りなノイズを低減し、受信・録音音声を聞きやすくします。

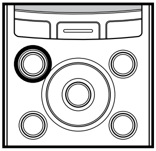
［**スキャン感度**］（☞ P.90）

➥ 放送局検索時のスキャン感度を設定できます。

［**FM モード**］（☞ P.90）

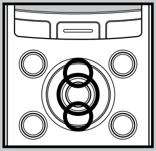
➥ FM ラジオの音声出力（ステレオ／モノラル受信）を設定できます。

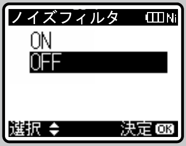
5 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**



［ノイズフィルタ］の設定

❶ ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ **ボタンを押す。**



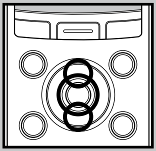

ノイズフィルタ
ON
OFF
選択 ⬍
決定 OK

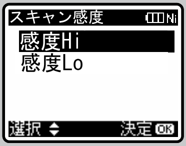
［**ON**］：
高域の周波数をカットして、ラジオの受信・録音音声を聞きやすくします。
［**OFF**］：
ノイズフィルタ機能は働きません。

［スキャン感度］の設定

放送局のスキャン感度は、受信状況に合わせて設定してください。

❶ ＋または－ボタンを押して［感度 Hi］または［感度 Lo］を選び、OK ▶ **ボタンを押す。**



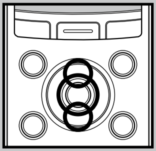

スキャン感度
感度Hi
感度Lo
選択 ⬍
決定 OK

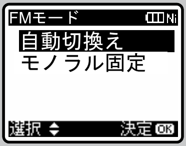
［**感度 Hi**］：
放送局を高感度でスキャンします。
［**感度 Lo**］：
感度を抑えて放送局をスキャンします。

- 通常は［**感度 Hi**］をお選びください。放送局の混信などがある場合、［**感度 Lo**］をお試しください。

［FM モード］の設定

❶ ＋または－ボタンを押して［自動切換え］または［モノラル固定］を選び、OK ▶ **ボタンを押す。**




FMモード
自動切換え
モノラル固定
選択 ⬍
決定 OK

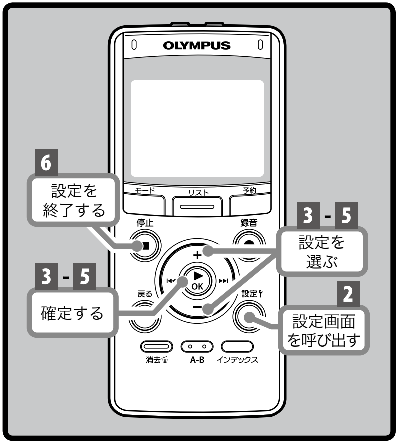
［**自動切換え**］：
受信状態によってステレオとモノラルが切り替わります。
［**モノラル固定**］：
モノラル受信に固定になります。

- ステレオ受信の場合は、受信モード表示画面に［ST］が表示されます。
- モノラル受信の場合は、受信モード表示画面に［MO］が表示されます。

ファイル設定

ファイルにロックをかける

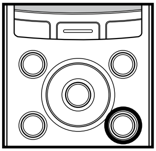
ファイルにロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。ロックがかかっているファイルは、フォルダ内のファイルを全消去しても消去されません (☞ P.63)。

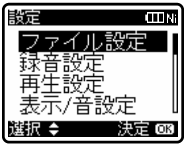

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
消去
A-B
インデックス
6
設定を終了する
3 - 5
設定を選ぶ
3 - 5
確定する
2
設定画面を呼び出す

1 [**ファイル検索**] の操作をしてファイルを選ぶ (☞ P.56)

2 停止中に**設定** ボタンを押す

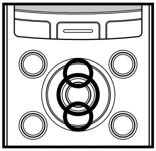
- 設定画面に入ります。

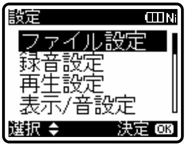



設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択
決定 OK

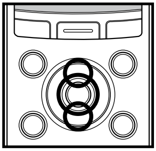
- リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止** (■) ボタンを押してください (設定途中の内容は消去されます)。

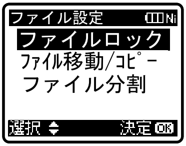
3 **+**または**−**ボタンを押して [**ファイル設定**] を選び、OK ▶ ボタンを押す



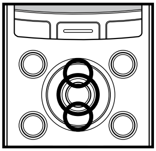

設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択
決定 OK

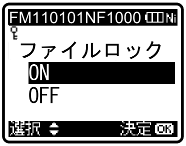
4 **+**または**−**ボタンを押して [**ファイルロック**] を選び、OK ▶ ボタンを押す



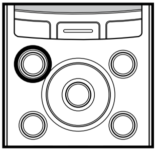

ファイル設定
ファイルロック
ファイル移動/コピー
ファイル分割
選択
決定 OK

5 **+**または**−**ボタンを押して [**ON**] を選び、OK ▶ ボタンを押す



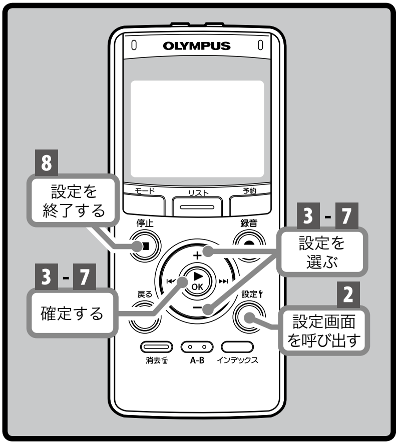

FM110101NF1000
ファイルロック
ON
OFF
選択
決定 OK

6 **停止** (■) ボタンを押して設定を終了する



ファイルを移動／コピーする

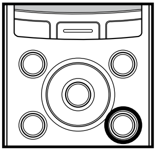
ファイルの保存先を変更したり、ファイルのコピーの保存先を指定して保存できます。

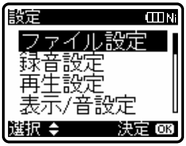

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
消去
A-B
インデックス
8
設定を終了する
3 - 7
設定を選ぶ
3 - 7
確定する
2
設定画面を呼び出す

1 「**再生する**」の手順 1 から手順 2 までを操作する (☞ P.49)

2 停止中に**設定**🔧ボタンを押す

- 設定画面に入ります。

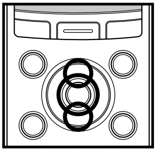


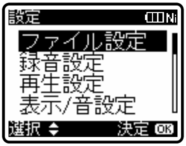


設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択 ⇕ 決定 OK

- リスト表示中は設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止** (■) ボタンを押してください (設定途中の内容は消去されます)。

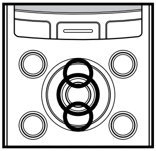
3 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル設定**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

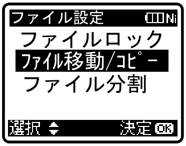




設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択 ⇕ 決定 OK

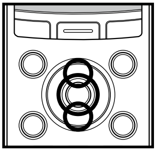
4 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル移動／コピー**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

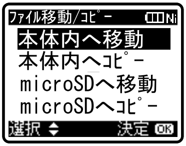




ファイル設定
ファイルロック
ﾌｧｲﾙ移動/ｺﾋﾟｰ
ファイル分割
選択 ⇕ 決定 OK

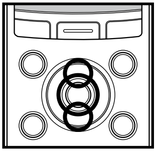
5 **+**または**−**ボタンを押して［**本体内へ移動**］、［**本体内へコピー**］、［**microSD へ移動**］または［**microSD へコピー**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

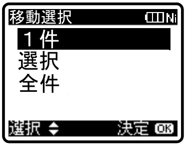




ﾌｧｲﾙ移動/ｺﾋﾟｰ
本体内へ移動
本体内へｺﾋﾟｰ
microSDへ移動
microSDへｺﾋﾟｰ
選択 ⇕ 決定 OK

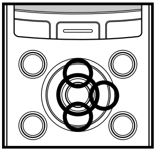
6 **+**または**−**ボタンを押して［**1件**］、［**選択**］または［**全件**］を選び、OK ▶ ボタンを押す

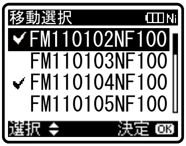




移動選択
1件
選択
全件
選択 ⇕ 決定 OK

- ［**1 件**］を選んだ場合は、ファイルの選択画面が表示されます。**＋**または**−**ボタンを押してファイルを選び、OK ▶ ボタンを押します。
- ［**選択**］を選んだ場合は、ファイルの選択画面が表示されます。**＋**または**−**ボタンを押して選択したいファイルにカーソルを合わせて ▶▶I を押します。選択したファイルには、チェックが付きます。ファイルの選択を解除するには、チェックが付いているファイルにカーソルを合わせて ▶▶I を押します。
  すべてのファイルを選択したら、OK ▶ ボタンを押します。

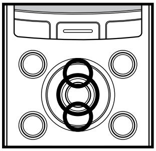


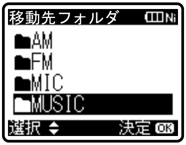


移動選択
✔FM110102NF100
FM110103NF100
✔FM110104NF100
FM110105NF100
選択 ⬍ 決定 OK

- ［**全件**］を選んだ場合は、現在のファイルがあるフォルダ内の全ファイルを移動／コピーします。

7 ＋または−ボタンを押して移動またはコピー先を選び、OK ▶ ボタンを押す

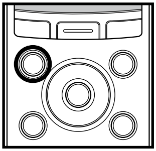




移動先フォルダ
AM
FM
MIC
MUSIC
選択 ⬍ 決定 OK

- フォルダ階層を移動するには ▶▶I または I◀◀ ボタンを押します。

8 停止（■）ボタンを押して設定を終了する

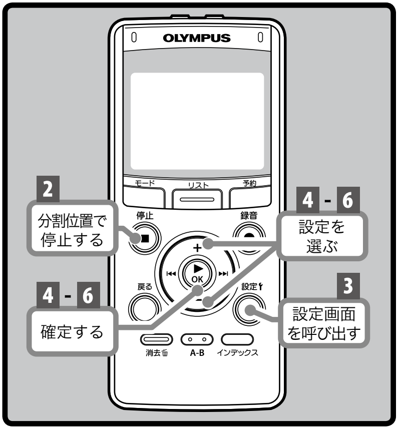


ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- 元のファイルと同じフォルダはコピー先に指定できません。
- ファイル件数が 200 件を超える場合、移動またはコピーできません。
- 移動／コピー先に指定したフォルダに同じ名前のフォルダがある場合は、移動／コピーできません。
- DRM 付きファイルは移動またはコピーできません。
- ファイルロック（☞ P.91）がかかっているファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。
- ファイルの移動またはコピー中に電池または microSD カードを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルを分割する

容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割すると管理がしやすくなります。

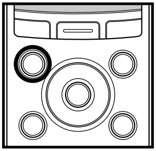

OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
OK
+
−
消去
A-B
インデックス
2
分割位置で停止する
4 - 6
設定を選ぶ
3
設定画面を呼び出す
4 - 6
確定する

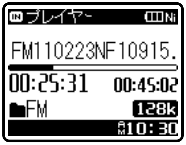
! ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式のみです。

1 「**再生する**」の手順 1 から手順 3 までを操作する (☞ P.49)

2 ファイル分割する位置で、**停止** (■) ボタンを押して再生を停止する

- ファイル表示画面での停止位置が分割位置になります。

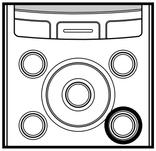


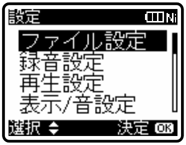

プレイヤー
FM110223NF10915.
00:25:31
00:45:02
FM
128k
10:30

- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします (☞ P.50)。
- 分割位置はあらかじめインデックス／テンプマークなどでマーキングしておくと便利です (☞ P.53)。

3 停止中に**設定**ボタンを押す

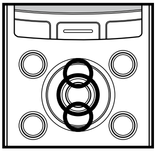
- 設定画面に入ります。

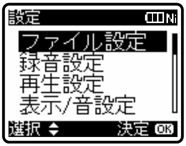



設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択
決定 OK

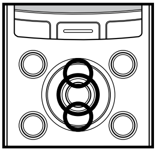
- 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止** (■) ボタンを押してください (設定途中の内容は消去されます)。

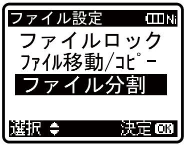
4 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル設定**］を選び、OK ▶ ボタンを押す



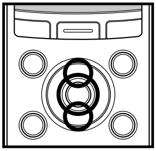

設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択
決定 OK

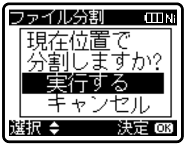
5 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル分割**］を選び、OK ▶ を押す



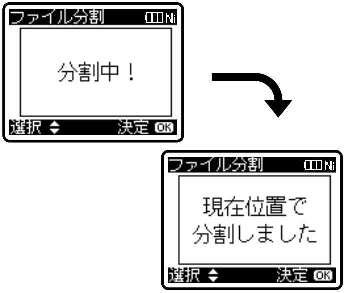

ファイル設定
ファイルロック
ファイル移動/コピー
ファイル分割
選択
決定 OK

6 **+**または**−**ボタンを押して［**実行する**］を選び、OK ▶ を押す




ファイル分割
現在位置で分割しますか?
実行する
キャンセル
選択
決定 OK

- 画面が［**分割中！**］に切り替わり、処理を開始します。［**現在位置で分割しました**］と表示されたら終了です。



分割中！

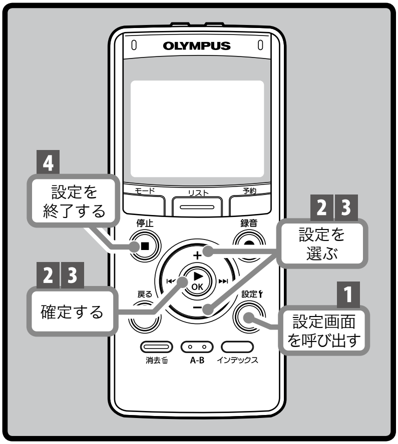
現在位置で分割しました

ご注意

- 本機で録音していない MP3 形式ファイルの分割は保証しておりません。
- ファイルロックがかかっているファイルは分割できません（☞ P.91）。
- ファイルの長さが極端に短い場合、ファイルを分割できないことがあります。
- フォルダ内のファイル件数が 199 件以上の場合、ファイルを分割できません。
- 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池または microSD カードを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。
- 分割後のファイルは、前半部分のファイルは「ファイル名 _1.mp3」、後半部分のファイルは「ファイル名 _2.mp3」となります。
- 分割を指定した位置と実際に分割される位置には、数秒のズレがあります。

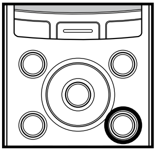
録音設定

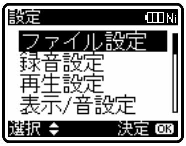
モードごとに、それぞれ設定できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
設定
消去
A-B
インデックス
4
設定を終了する
2 3
設定を選ぶ
2 3
確定する
1
設定画面を呼び出す

1 設定ボタンを押す

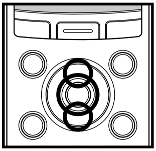
- 設定画面に入ります。

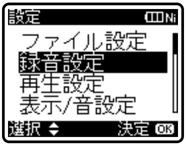



設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択 ⇕
決定 OK

- 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 ＋または－ボタンを押して［録音設定］を選び、OK ▶ を押す

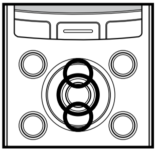


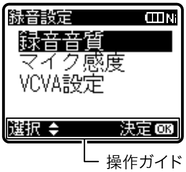

設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択 ⇕
決定 OK

- ［**録音設定**］画面に入ります。

3 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。




録音設定
録音音質
マイク感度
VCVA設定
選択 ⇕
決定 OK
操作ガイド

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

録音に関する設定項目：

［**録音音質**］（☞ P.97）

➥ 音質を設定できます。

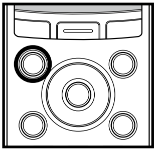
［**マイク感度**］（☞ P.97）

➥ 使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度の切り替えができます（マイク録音設定時のみ）。

［**VCVA 設定**］（☞ P.98）

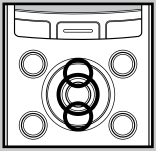
➥ VCVA 機能を使用する・使用しないをお選びいただけます（マイク録音設定時のみ）。

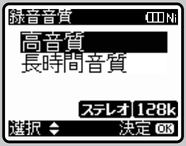
4 停止（■）ボタンを押して設定を終了する



［録音音質］の設定

❶ **＋または－ボタンを押して音質を選び、OK ▶ ボタンを押す。**





録音音質

高音質

長時間音質

ステレオ 128k

選択 ⬍ 決定 OK

［**高音質**］：
　ステレオ高音質録音します。

［**長時間音質**］：
　モノラル長時間録音します。

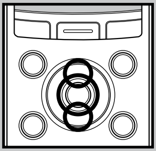
ご注意

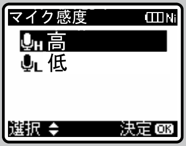
- 設定した録音音質により最大録音時間は異なります。詳しくは「**1 ファイルあたりの最長録音時間**」をご覧ください（☞ P.125）。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**高音質**］を選んで録音してください。
- ［**録音音質**］の設定で［**高音質**］を選んだ場合、モノラルマイクを接続すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。

［マイク感度］の設定

使用目的に合わせて内蔵ステレオマイクの感度の切り替えができます。

❶ **＋または－ボタンを押して［高］または［低］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**





マイク感度

H 高

L 低

選択 ⬍ 決定 OK

［**高**］：打合せや少人数の会議などの録音に適しています。

［**低**］：メモ録などの口述録音に適しています。

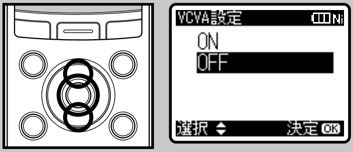
ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**低**］を選び、本機の内蔵ステレオマイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

［VCVA 設定］の設定

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

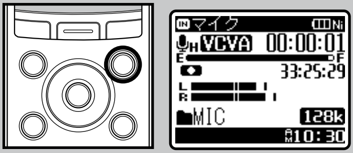
❶ ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。


VCVA設定
ON
OFF
選択 ♦
決定 OK

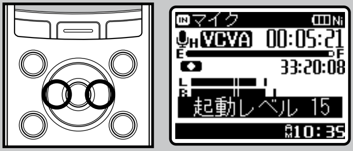
［**ON**］：VCVA が機能します。
VCVA の音声起動レベルを調整できます。
［**OFF**］：VCVA は機能しません。

音声起動レベルの調整：

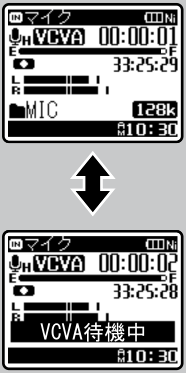
❶ 録音（●）ボタンを押して録音を開始する


IN マイク
H VCVA 00:00:01
E F
33:25:29
L
R
MIC 128k
10:30

❷ 録音中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する


IN マイク
H VCVA 00:05:21
E F
33:20:08
L
R
起動レベル 15
10:35

- VCVA の音声起動レベルを 15 段階（［**01**］～［**15**］）で表示します。
- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。
- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。この場合、録音レベルメータと［**VCVA 待機中**］が交互に点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

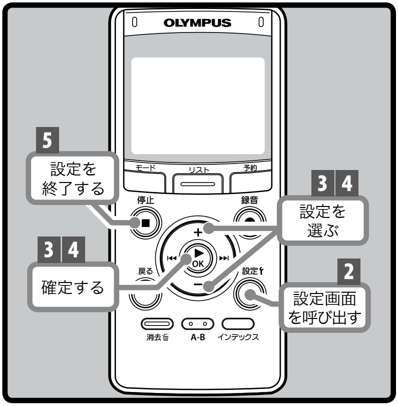

IN マイク
H VCVA 00:00:01
E F
33:25:29
L
R
MIC 128k
10:30
IN マイク
H VCVA 00:00:02
E F
33:25:28
L
R
VCVA待機中
10:30

ご注意

- 音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります（☞ P.96、P.97）。
- 音声起動レベルの調整画面で 2 秒間操作がない場合、表示が元に戻ります。
- まわりのノイズが大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音のため、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。
- ラジオ受信モードでは、VCVA 機能は働きません。

再生設定

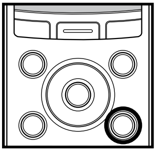
用途に合わせて再生機能を設定できます。ファイルを再生する前に設定してください。

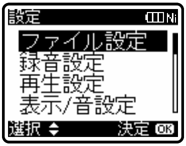

OLYMPUS
モード
リスト
予約
5
設定を終了する
3 4
設定を選ぶ
停止
録音
3 4
確定する
戻る
OK
設定
2
設定画面を呼び出す
消去
A-B
インデックス

1 「**再生する**」の手順 1 から手順 2 までを操作する (☞ P.49)

2 設定 ボタンを押す

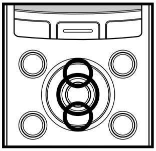
- 設定画面に入ります。

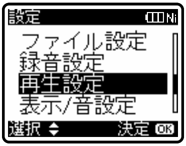



設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択 ◆
決定 OK

- 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止** (■) ボタンを押してください (設定途中の内容は消去されます)。

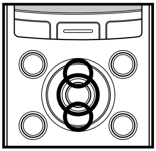
3 ＋または－ボタンを押して［**再生設定**］を選び、OK ▶ を押す

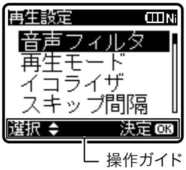



設定
ファイル設定
録音設定
再生設定
表示/音設定
選択 ◆
決定 OK

4 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。




再生設定
音声フィルタ
再生モード
イコライザ
スキップ間隔
選択 ◆
決定 OK
操作ガイド

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

再生に関する設定項目 :

［**音声フィルタ**］(☞ P.100)

➥ 雑音部分が含まれる低音域と高音域をカットし、目的の音声をクリアに強調します。

［**再生モード**］(☞ P.100)

➥ お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

［**イコライザ**］(☞ P.101)

➥ お好みに合わせて再生音質をお選びいただけます。

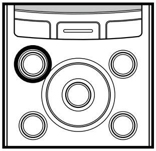
［**スキップ間隔**］(☞ P.102)

➥ 設定した時間をスキップして再生できます。

［**しおり機能**］(☞ P.102)

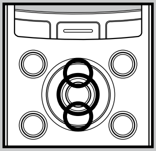
➥ ファイルごとに最後に聞いた位置に、しおり（ブックマーク）をつけることができます。

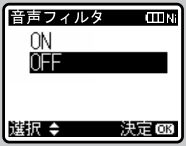
5 停止 (■) ボタンを押して設定を終了する



［音声フィルタ］の設定

❶ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**




音声フィルタ
ON
OFF
選択 ⇕
決定 OK

［**ON**］：雑音部分が含まれる低音域と高音域をカットし、目的の音声をクリアに強調します。
［**OFF**］：音声フィルタ機能は働きません。

ご注意

- ［**イコライザ**］が［**OFF**］以外に設定されていると、［**音声フィルタ**］は設定できません。

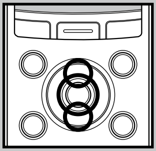
［再生モード］の設定

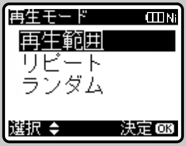
再生モードを設定できます。

■ 再生範囲を設定する

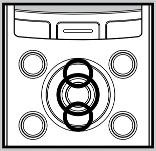
選択した1ファイルまたは選択したフォルダ内の全ファイルを再生します。

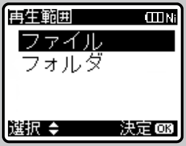
❶ **＋または－ボタンを押して［再生範囲］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**




再生モード
再生範囲
リピート
ランダム
選択 ⇕
決定 OK

❷ **＋または－ボタンを押して［ファイル］または［フォルダ］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**




再生範囲
ファイル
フォルダ
選択 ⇕
決定 OK

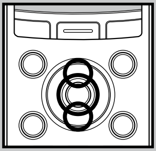
［**ファイル**］：選択した1つのファイルを再生します。
［**フォルダ**］：選択したフォルダ内の全ファイルを再生します。

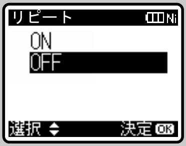
■ リピート再生を設定する

現在のファイルを繰り返して再生します。

❶ **＋または－ボタンを押して［リピート］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**

❷ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**




リピート
ON
OFF
選択 ⇕
決定 OK

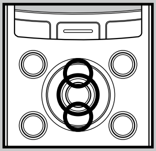
［**ON**］：選択したファイルを繰り返して再生します。
［**OFF**］：リピート機能は働きません。

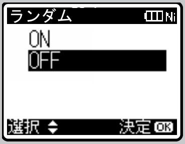
■ ランダム再生を設定する

ランダム再生します。

❶ **＋または－ボタンを押して［ランダム］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**

❷ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**

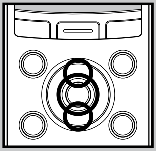


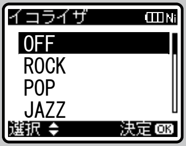

ランダム
ON
OFF
選択 ⬍
決定 OK

［**ON**］：ランダム再生します。
［**OFF**］：ランダム機能は働きません。

［イコライザ］の設定

❶ **＋または－ボタンを押してお好みの音質を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**

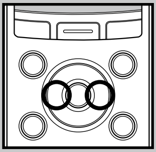


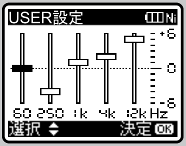

イコライザ
OFF
ROCK
POP
JAZZ
選択 ⬍
決定 OK

［**OFF**］：イコライザ機能は働きません。
［**ROCK**］：ロックの曲にあった音質で再生します。
［**POP**］：ポップスの曲にあった音質で再生します。
［**JAZZ**］：ジャズの曲にあった音質で再生します。
［**USER**］：［**USER**］にカーソルを合わせて ▶▶I を押すと、お好みの音質に調整できます。

USER の設定：

❶ **▶▶I または I◀◀ ボタンを押して調整する周波数帯域(Hz) を選ぶ。**

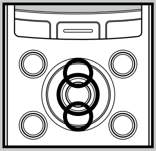


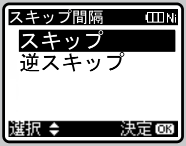

USER設定
+6
0
-6
60
250
1k
4k
12k
Hz
選択 ⬍
決定 OK

❷ **＋または－ボタンを押して再生レベル（dB）を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**

［スキップ間隔］の設定

❶ **＋または－ボタンを押して［スキップ］または［逆スキップ］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

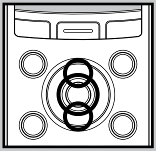


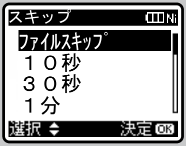

スキップ間隔
スキップ
逆スキップ
選択 ⇕
決定 OK

［**スキップ**］：再生中のファイルを設定した秒数スキップして再生します。

［**逆スキップ**］：再生中のファイルを設定した秒数戻って再生します。

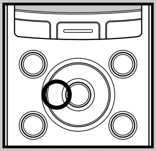
❷ **＋または－ボタンを押してスキップ間隔を選び、OK ▶ ボタンを押す。**




スキップ
ファイルスキップ
１０秒
３０秒
１分
選択 ⇕
決定 OK

- ［**ファイルスキップ**］を選ぶと、ファイルごとにスキップします。

逆スキップのしかた：

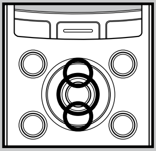


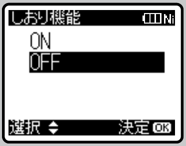
再生中に ⏮ ボタンを押して、逆スキップ再生する

［しおり機能］の設定

ファイルごとに最後に聞いた位置に、しおり（ブックマーク）をつけることができます。

❶ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**




しおり機能
ON
OFF
選択 ⇕
決定 OK

［**ON**］：他のファイルに再生を切り替えた場合、そのファイルに記憶されているしおり位置を呼び出して再生できます。また、電源を切ってもしおり位置を記憶し、次に電源を入れたときに続きから再生できます。

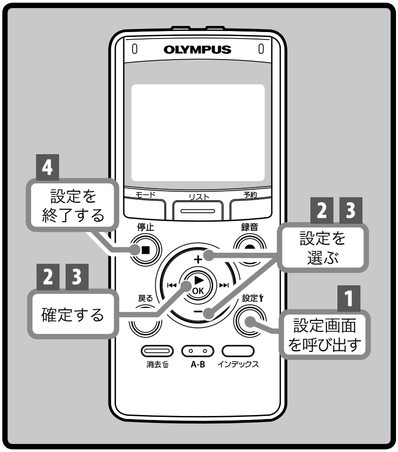
［**OFF**］：しおり機能は働きません。

ご注意

- ファイルを最後まで再生した場合、そのファイルの最初にしおり位置が戻ります。

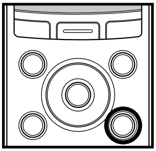
表示／音設定

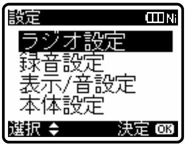
モードごとに、それぞれ設定できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
設定
消去
A-B
インデックス
OK
4
設定を終了する
2 3
設定を選ぶ
2 3
確定する
1
設定画面を呼び出す

1 設定 ボタンを押す

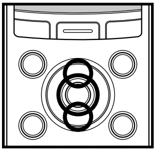
- 設定画面に入ります。

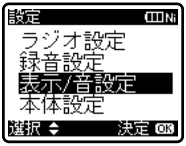



設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕
決定 OK

- 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 ＋または－ボタンを押して［表示／音設定］を選び、OK ▶ を押す

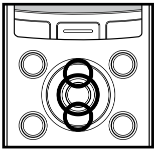


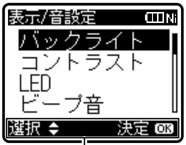

設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ⇕
決定 OK

- ［**表示／音設定**］画面に入ります。

3 ＋または－ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。




表示/音設定
バックライト
コントラスト
LED
ビープ音
選択 ⇕
決定 OK

操作ガイド

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

表示／音に関する設定項目：

［**バックライト**］（☞ P.104）

➥ バックライトの設定ができます。

［**コントラスト**］（☞ P.104）

➥ 画面のコントラストを12段階に調整できます。

［**LED**］（☞ P.104）

➥ 録音表示ランプの設定ができます。

［**ビープ音**］（☞ P.104）

➥ ビープ音の設定ができます。

［**AM 画面表示**］（☞ P.105）

➥ AM ラジオ受信モードで画面を表示させる・させないを設定できます。

［**スピーカ出力**］（☞ P.105）

➥ 内蔵スピーカの設定ができます。

［**アンテナステーション出力**］（☞ P.105）

➥ 本機をアンテナステーションに差し込んで使用する際に、イヤホンを接続していない場合にアンテナステーションから音声出力するかを設定できます。

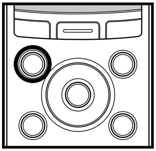
［**音声ガイド**］（☞ P.105）

➥ 機能の説明をする音声ガイドを使用するかを設定できます。

［**イントロ再生**］（☞ P.106）

➥ イントロ再生を設定できます。

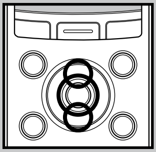
4 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**

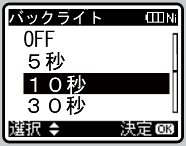


［バックライト］の設定

ボタンを押すたびに画面のバックライトが点灯します。暗いところでも表示が確認できて便利です。

❶ **＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。**





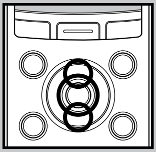
バックライト
OFF
５秒
１０秒
３０秒
選択 ⬍　決定 OK

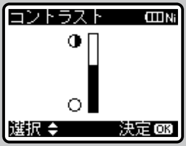
・［**OFF**］を選ぶとバックライトは点灯しません。

［コントラスト］の設定

画面のコントラストを 12 段階に調整できます。

❶ **＋または－ボタンを押してコントラストを選び、OK ▶ ボタンを押す。**



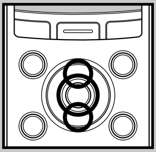


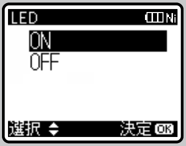
コントラスト
選択 ⬍　決定 OK

［LED］の設定

録音表示ランプの点灯を設定できます。

❶ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**



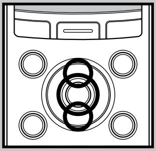


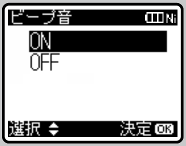
LED
ON
OFF
選択 ⬍　決定 OK

［**ON**］：録音表示ランプが点灯します。
［**OFF**］：録音表示ランプは点灯しません。

［ビープ音］の設定

❶ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**





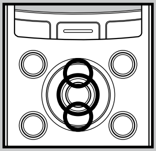
ビープ音
ON
OFF
選択 ⬍　決定 OK

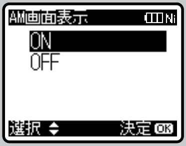
［**ON**］：ビープ音が鳴ります。
［**OFF**］：ビープ音は鳴りません。

［AM 画面表示］の設定

AM ラジオを受信しているときにノイズが入る場合、表示画面を消灯するとノイズを軽減できることがあります。

❶ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**





AM画面表示

ON

OFF

選択 ⇕ 　決定 OK

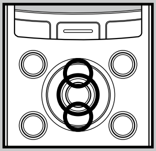
［**ON**］：常に画面を点灯します。

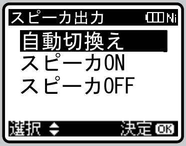
［**OFF**］：AM ラジオ受信モードになると画面が消灯します。

［スピーカ出力］の設定

イヤホンを取り外した場合の内蔵スピーカの設定ができます。

❶ **＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**





スピーカ出力

自動切換え

スピーカON

スピーカOFF

選択 ⇕ 　決定 OK

［**自動切換え**］：イヤホンを接続すると、内蔵スピーカから音は出ません。イヤホンを外すと、内蔵スピーカから音を出します。

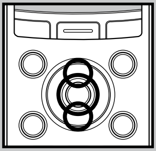
［**ON**］：内蔵スピーカから音を出します。

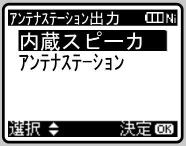
［**OFF**］：内蔵スピーカから音は出ません。

［アンテナステーション出力］の設定

本機をアンテナステーションに差し込んで使用する際の、イヤホンを接続しない場合の音声出力を設定できます。

❶ **＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、**OK ▶ **ボタンを押す。**





アンテナステーション出力

内蔵スピーカ

アンテナステーション

選択 ⇕ 　決定 OK

［**内蔵スピーカ**］：内蔵スピーカから音声出力します。

［**アンテナステーション**］：アンテナステーションの LINE OUT 端子から音声出力します。

［音声ガイド］の設定

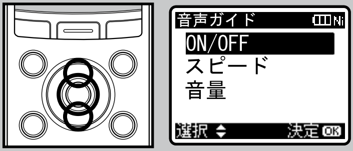
各操作（一部を除く）を音声でご案内する音声ガイド機能を設定できます。

ご注意

- 電源を入れる／切る（☞ P.16）際の起動音／終了音は、［**音声ガイド**］を［**OFF**］に設定すると解除されます。
- ［**音声ガイド**］の［**音量**］設定で、起動音／終了音の音量も設定されます。
- ファイル再生中は、［**音声ガイド**］の［**スピード**］設定は無効になります。

■ 使用する・しないを設定する

❶ **＋または－ボタンを押して［ON/OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

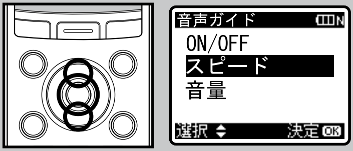

音声ガイド
ON/OFF
スピード
音量
選択 ⬍
決定 OK

❷ **＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

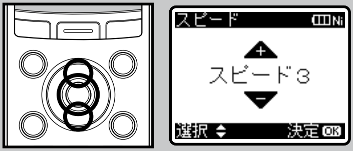
［**ON**］：音声ガイドが働きます。
［**OFF**］：音声ガイドは働きません。

■ スピードを設定する

❶ **＋または－ボタンを押して［スピード］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

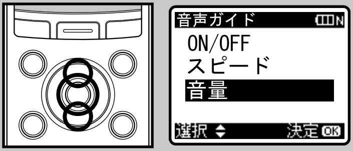

音声ガイド
ON/OFF
スピード
音量
選択 ⬍
決定 OK

❷ **＋または－ボタンを押してお好みのスピードを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

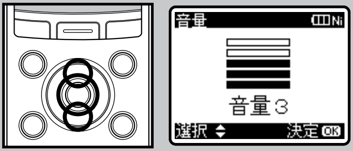

スピード
＋
スピード３
－
選択 ⬍
決定 OK

■ 音量を設定する

❶ **＋または－ボタンを押して［音量］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**


音声ガイド
ON/OFF
スピード
音量
選択 ⬍
決定 OK

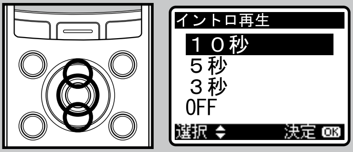
❷ **＋または－ボタンを押してお好みの音量を選び、OK ▶ ボタンを押す。**


音量
音量３
選択 ⬍
決定 OK

［イントロ再生］の設定

フォルダ内のファイルにカーソルを合わせるとファイルの先頭の数秒間を再生することができます。再生するファイルを探すのに便利です。

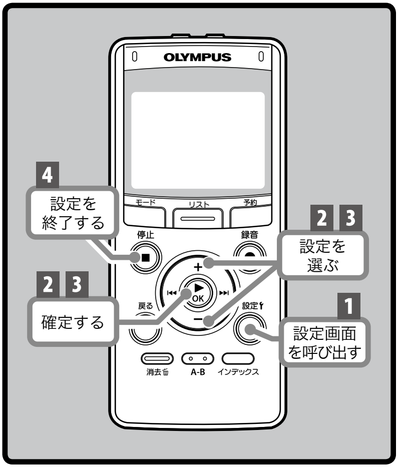
❶ **＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。**


イントロ再生
１０秒
５秒
３秒
OFF
選択 ⬍
決定 OK

・［**OFF**］を選ぶとイントロ再生しません。

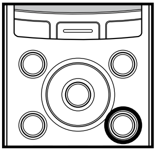
本体設定

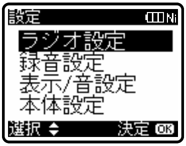
モードごとに、それぞれ設定できます。


OLYMPUS
モード
リスト
予約
停止
録音
戻る
OK
設定
消去
A-B
インデックス
4
設定を終了する
2 3
確定する
2 3
設定を選ぶ
1
設定画面を呼び出す

1 設定 ボタンを押す

- 設定画面に入ります。

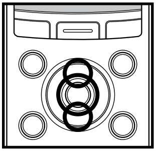


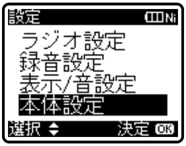


設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ◆ 決定 OK

- 録音中またはファイルリストからファイルを検索している場合、設定画面に入れません。
- 設定を途中でやめる場合、**停止**（■）ボタンを押してください（設定途中の内容は消去されます）。

2 +または−ボタンを押して［**本体設定**］を選び、OK ▶ を押す

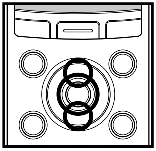


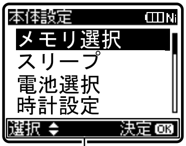


設定
ラジオ設定
録音設定
表示/音設定
本体設定
選択 ◆ 決定 OK

3 +または−ボタンを押して設定項目を選び、OK ▶ を押す

- 各設定項目を選び、操作ガイドにしたがって操作してください。





本体設定
メモリ選択
スリープ
電池選択
時計設定
選択 ◆ 決定 OK

操作ガイド

- 設定の途中で**戻る**ボタンを押すと前の画面に戻ります。

本体設定の設定項目：

［**メモリ選択**］（☞ P.108）

➥ メモリ（内蔵メモリまたは microSD カード）を選択できます。

［**スリープ**］（☞ P.108）

➥ スリープ機能を設定できます。

［**電池選択**］（☞ P.108）

➥ 電源を選択できます。

［**時計設定**］（☞ P.108）

➥ 本機の時刻合わせができます。

［**時計補正設定**］（☞ P.109）

➥ 時計自動補正機能を設定できます。

［**設定リセット**］（☞ P.109）

➥ 各種機能を初期値に戻します。

［**初期化**］（☞ P.111）

➥ メモリを初期化（フォーマット）します。

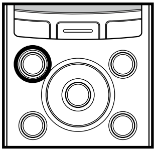
［**メモリ情報**］（☞ P.112）

➥ メモリの情報を確認できます。

［**システム情報**］（☞ P.112）

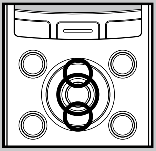
➥ システムの情報を確認できます。

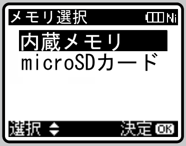
4 **停止（■）ボタンを押して設定を終了する**



[メモリ選択] の設定

❶ ＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。





メモリ選択
内蔵メモリ
microSDカード
選択 ⇕ 決定 OK

[**内蔵メモリ**]：本機の内蔵メモリに記録します。

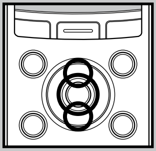
[**microSD カード**]：microSD カードに記録します。

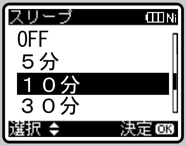
ご注意

- microSD カードが挿入されていないときは、[**メモリ選択**] 画面は表示できません。

[スリープ] の設定

❶ ＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。





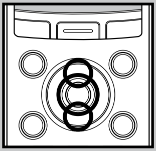
スリープ
OFF
５分
１０分
３０分
選択 ⇕ 決定 OK

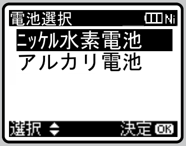
- [**OFF**] を選ぶとスリープ機能は働きません。

[電池選択] の設定

使用する電池に合わせて設定してください。

❶ ＋または－ボタンを押してお好みの設定を選び、OK ▶ ボタンを押す。





電池選択
ニッケル水素電池
アルカリ電池
選択 ⇕ 決定 OK

[**ニッケル水素電池**]：充電可能なニッケル水素電池を使用します。

[**アルカリ電池**]：アルカリ電池を使用します。

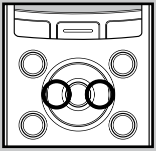
ご注意

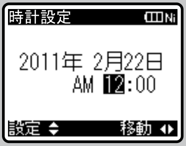
- 設定した種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。
- [**アルカリ電池**] を選んだ場合は、充電機能は働きません。

[時計設定] の設定

本機の時刻合わせができます。**「年」**、**「月」**、**「日」**、**「時」**、**「分」** を設定します。

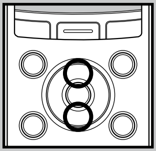
❶ ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定したい項目にカーソルを移動させます。

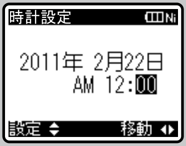




時計設定
2011年 2月22日
AM 12:00
設定 ⇕ 移動 ◀▶

❷ +または−ボタンを押して設定する。





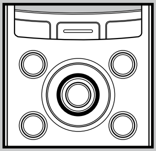
時計設定

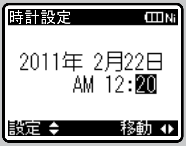
2011年 2月22日
AM 12:00

設定 ⇕ 移動 ◀▶

- 「**時**」または「**分**」の設定時に**モード**ボタンを押すと、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください (昼の 12 時の場合は、[PM12:00] に設定します)。

❸ 日付・時刻を設定したら、OK ▶ ボタンを押す。





時計設定

2011年 2月22日
AM 12:20

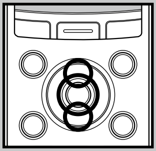
設定 ⇕ 移動 ◀▶

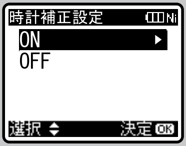
[時計補正設定] の設定

本機の電源が切れているときに、NHK 第一放送の時報を利用して設定した時刻に時刻合わせをします。

■ 使用する・しないを設定する

❶ +または−ボタンを押して [ON] または [OFF] を選び、OK ▶ ボタンを押す。





時計補正設定

ON ▶
OFF

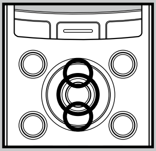
選択 ⇕ 決定 OK

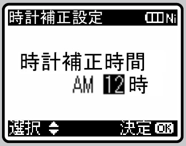
[**ON**]：[**ON**] にカーソルを合わせて ▶▶| を押すと、自動補正時間の設定画面が表示されます。

[**OFF**]：時刻補正機能は働きません。

時計補正時間の設定：

❶ +または−ボタンを押して補正時刻を選び、OK ▶ ボタンを押す。





時計補正設定

時計補正時間
AM 12 時

選択 ⇕ 決定 OK

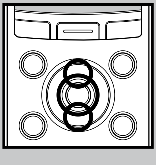
- 時間表示 (12 時間表示または 24 時間表示) は、[**時計設定**] の設定によって異なります。12 時間表示の場合は、午前と午後の 12 時をお間違えにならないようご注意ください (昼の 12 時の場合は、[PM12:00] に設定します)。

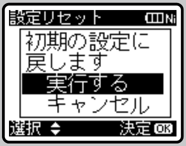
[設定リセット] の設定

各種機能を初期値に戻します。

> **!** **放送局リスト、予約録音リストおよび各種設定を初期化します。リセット後は設定し直してください。**

❶ +または−ボタンを押して [実行する] を選び、OK ▶ ボタンを押します。



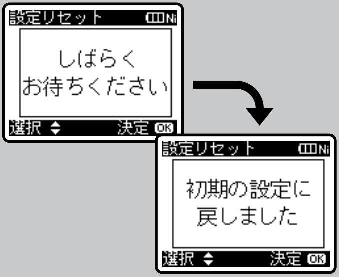


設定リセット

初期の設定に
戻します
実行する
キャンセル

選択 ⇕ 決定 OK

- 画面が［**しばらくお待ちください**］に切り替わり、処理を開始します。［**初期の設定に戻しました**］と表示されたら終了です。



設定リセット

しばらくお待ちください

設定リセット

初期の設定に戻しました

ご注意

- 設定をリセットすると、ファイル検索の［**最近再生検索**］および［**最近録音検索**］の情報は、内蔵メモリおよび microSD カード（カード挿入時のみ）の両方が初期化されます。
- 設定をリセットしても、［**時計設定**］の設定とファイルはリセットされません。
- 設定リセットの処理が終了すると、初期設定画面に切り替わります。初期設定をしてください（☞ P.30）。
- 設定リセットしたあとの初期値は、「**設定リセット後の初期値**」をご覧ください。

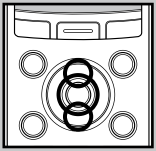
設定リセット後の初期値：

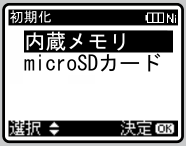
● ［**ラジオ設定**］（☞ P.84）	
［**ノイズフィルタ**］	［**OFF**］
［**スキャン感度**］	［**感度 Hi**］
［**FM モード**］	［**自動切換え**］
● ［**録音設定**］（☞ P.96）	
［**録音音質**］	［**高音質**］
［**マイク感度**］	［**高**］
［**VCVA 設定**］	［**OFF**］
● ［**再生設定**］（☞ P.99）	
［**音声フィルタ**］	［**OFF**］
［**再生モード**］	［**再生範囲**］
［**再生範囲**］	［**ファイル**］
［**リピート**］	［**OFF**］
［**ランダム**］	［**OFF**］
［**イコライザ**］	［**OFF**］
［**スキップ間隔**］	［**スキップ**］
［**スキップ**］	［**ファイルスキップ**］
［**逆スキップ**］	［**ファイルスキップ**］
［**しおり機能**］	［**OFF**］
● ［**表示／音設定**］（☞ P.103）	
［**バックライト**］	［**10 秒**］
［**コントラスト**］	［**06**］
［**LED**］	［**ON**］
［**ビープ音**］	［**ON**］
［**AM 画面表示**］	［**ON**］
［**スピーカ出力**］	［**自動切換え**］
［**アンテナステーション出力**］	［**内蔵スピーカ**］
［**音声ガイド**］	
［**ON/OFF**］	［**ON**］
［**音量**］	［**音量 3**］
［**スピード**］	［**スピード 3**］
［**イントロ再生**］	［**OFF**］
● ［**本体設定**］（☞ P.107）	
［**メモリ選択**］：	［**内蔵メモリ**］
［**スリープ**］：	［**10 分**］
［**電池選択**］：	［**ニッケル水素電池**］
［**時計補正設定**］：	［**ON**］>［**AM12：00**］
［**初期化**］：	［**内蔵メモリ**］

［初期化］の設定

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

❶ **＋または－ボタンを押して初期化するメモリを選び、OK ▶ ボタンを押す。**

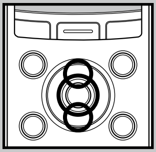


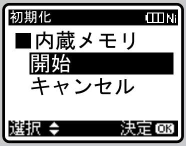

初期化
内蔵メモリ
microSDカード
選択 ⬍
決定 OK

［**内蔵メモリ**］：本機の内蔵メモリを初期化します。

［**microSD カード**］：microSD カードを初期化します。

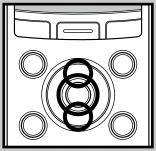
❷ **＋または－ボタンを押して［開始］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**

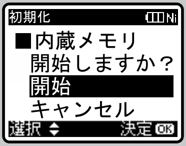



初期化
■内蔵メモリ
開始
キャンセル
選択 ⬍
決定 OK

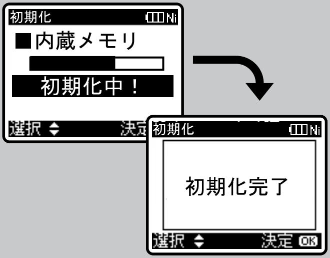
・［**データが完全に消去されます**］のあとに、［**開始しますか?**］が表示されます。

❸ **＋または－ボタンを押して［開始］を選び、OK ▶ ボタンを押す。**




初期化
■内蔵メモリ
開始しますか？
開始
キャンセル
選択 ⬍
決定 OK

・［**初期化中！**］と表示され、処理を開始します。［**初期化完了**］と表示されたら終了です。


初期化
■内蔵メモリ
初期化中！
選択 ⬍
決定
初期化
初期化完了
選択 ⬍
決定 OK

ご注意

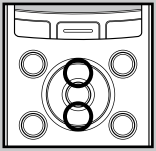
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を行ってください（☞ P.109）。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらか間違えないよう必ず確認してください。
- 処理が終了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池または microSD カードを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 本体の内蔵メモリを初期化すると、［**音声ガイド**］のデータも消去されるため、［**音声ガイド**］機能が使用できなくなります。データを消去した場合は、本機をパソコンに接続し、予約設定ツール for PJ-20 を使って音声ガイドデータを本機にコピーしてください。
予約設定ツール for PJ-20 については、当社 Web サイトをご確認ください。
http://olympus-imaging.jp/

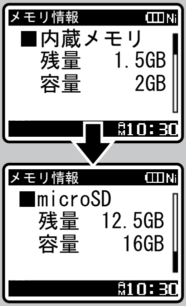
- 本機での microSD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。
  ［**初期化**］を行っても、microSD カード内のデータのファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡または廃棄をする場合、microSD カード内のデータの流出にご注意ください。
  廃棄の際には、microSD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
  一度初期化をすると、DRM 付き音楽ファイルを再び本機へ転送できなくなる場合があります。

［メモリ情報］を確認する

本機の内蔵メモリおよび挿入している microSD カードのメモリ残量を確認できます。

❶ **＋または－ボタンを押して情報を切り替える。**





メモリ情報

■内蔵メモリ
残量　1.5GB
容量　2GB

10:30

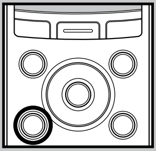
メモリ情報

■microSD
残量　12.5GB
容量　16GB

10:30

- microSD カードが挿入されていない場合、microSD の情報は表示されません。

❷ **メモリ残量を確認したら、戻るボタンを押す。**



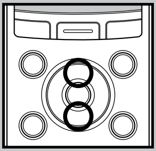
ご注意

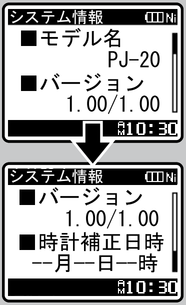
- 本機に表示される記録メディアの容量には、本機が使用する管理ファイルの容量分も含まれています。microSD カードでは、規格容量を下回って表示されますが、異常ではありません。

［システム情報］を確認する

設定画面から本機の情報を確認できます。

❶ **＋または－ボタンを押して情報を切り替える。**





システム情報

■モデル名
PJ-20
■バージョン
1.00/1.00

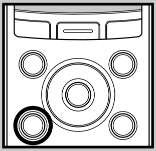
10:30

システム情報

■バージョン
1.00/1.00
■時計補正日時
--月--日--時

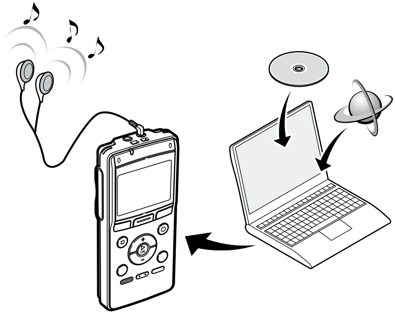
10:30

❷ **内容を確認したら、戻るボタンを押す。**



パソコンで使う

- 本機は MP3、WMA 形式の語学コンテンツに対応しています。
- 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます（☞ P.117、P.118）。



パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）：
Microsoft Windows XP/Vista/7
標準インストール（日本語版）

対応パソコン：
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）：
Mac OS X 10.4.11 ～ 10.6（Mac OS X 10.7 は未対応）
標準インストール（日本語版）

対応パソコン：
1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

ご注意

- 本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
- 動作環境を満たしていても、OS をアップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の録音表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.116 に記載の方法で操作してください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されない恐れがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］画面から操作してください（☞ P.107、P.111）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行なうと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなる場合があります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼす恐れがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。
- 本機とパソコンの接続を解除すると、[**しばらくお待ちください**] が表示されます。メッセージが表示されている間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。また、処理中に電池が切れることがないように、操作の前にあらかじめ充電または新しい電池に交換してください。

著作権と著作権保護機能（DRM）について

著作権者に無断でインターネットからダウンロードした音声や音楽ファイル、音楽 CD などの複製や配布、インターネットへの掲載、再掲載、商用または販売を目的とした MP3、WMA ファイルへのデータ変換は、著作権法で固く禁じられています。

WMA ファイルには著作権の保護を目的とした DRM（Digital Right Management）が施されている場合があります。DRM が施されているファイルは音楽 CD から変換（リッピング）した音楽ファイルや音楽配信により入手した音楽ファイルを不法にコピーしたり、配布できないよう制限されています。 DRM の施された WMA ファイルを本機に転送するには Windows Media Player を用いるなど所定の方法で転送する必要があります。また、音楽配信サービスなどで購入された DRM 付き音楽ファイルは、ポータブルデバイス（本機）へのコピーに制限がある場合があります。

ご注意

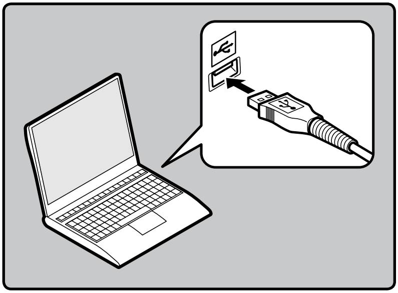
- 本機は Microsoft Corporation の DRM9 に対応していますが、DRM10 には未対応です。

パソコンに接続する

USB 接続ケーブルを接続する前にホールドを解除してください(☞ P.18)。

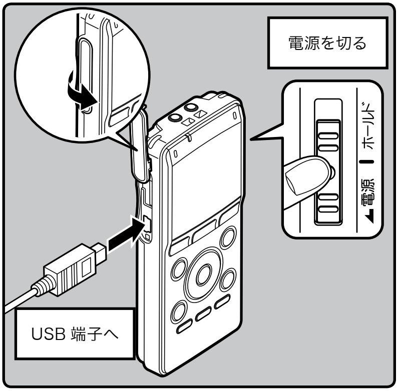
1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB 端子に接続する



3 本機の電源が切れていることを確認し、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

- 録音中や再生中の他、ラジオを受信している場合、パソコンが本機を認識できません。


電源を切る
ホールド
電源
USB 端子へ

- ［**電池選択**］の設定で［**ニッケル水素電池**］を選んだ場合は、［**OK ボタンで充電を開始します**］が表示されます。［**OK ボタンで充電を開始します**］が表示されているときに OK ▶ ボタンを押すと、充電モードに入ります。OK ▶ ボタン以外のボタンを押すと、表示が消えます。

Windows：

［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

Macintosh：

Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

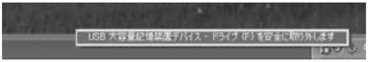
ご注意

- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンと接続すると、付属の USB 接続ケーブルから電源を供給します。本機に電池や AC アダプタからの電源供給は必要ありません。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になる恐れがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用した場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［　］をクリックし、［**USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します**］をクリックする



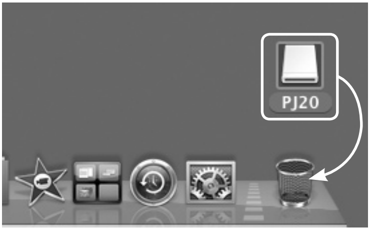
USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウの表示の確認をしたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の録音表示ランプが消灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する



2 本機の録音表示ランプが消灯していることを確認し、USB 接続ケーブルを外す

ご注意

- 録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

録音したファイルをパソコン内のお好きなフォルダにコピーできます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する（☞ P.115）

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のドライブをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す（☞ P.116）

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する（☞ P.115）

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す（☞ P.116）

ご注意

- 本機の［**AM**］、［**FM**］、［**MIC**］、［**MUSIC**］や［**SYSTEM**］のデフォルトフォルダを削除しないでください。正常に動作しない場合があります。
- データ通信中は［**データ送信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

パソコンの外部メモリとして使う

本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する（☞ P.115）

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のドライブをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す（☞ P.116）

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する（☞ P.115）

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名が認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す（☞ P.116）

ご注意

- 本機の［**AM**］、［**FM**］、［**MIC**］、［**MUSIC**］や［**SYSTEM**］のデフォルトフォルダを削除しないでください。正常に動作しない場合があります。
- データ通信中は［**データを送信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください (☞ P.15、P.25)。
ファイルがありません	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください (☞ P.56)。
ファイル件数がいっぱいです	フォルダ内のファイル件数が最大数 (200) になっている。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.63)。
フォルダ件数がいっぱいです	すべてのフォルダ件数の合計が最大数 (20) になっている。	必要のないフォルダを消去してください (☞ P.64)。
メモリがいっぱいです	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください (☞ P.63)。
これ以上記録できません (インデックス／テンプマークをつけるとき)	ファイル内でインデックス／テンプマークを最大数 (16) まで使用している。	必要のないインデックス／テンプマークを消去してください (☞ P.54)。
ファイルロック中 消去できません	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください (☞ P.91)。
これ以上登録できません (放送局を登録するとき)	放送局リストの登録件数が最大数 (20) になっている。	必要のない放送局の登録を消去してください (☞ P.88)。
既に登録されています	同じ放送局を登録しようとしている。	他の放送局を選び直してください (☞ P.85)。
メモリに異常があります	メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください (☞ 裏表紙)。
microSD ｶｰﾄﾞに 異常があります	microSD カードが正しく認識されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください (☞ P.28)
電源に異常がありますケーブルを抜いてください	バスパワーに異常がある。	本機の電源を切って USB 接続ケーブルを抜き、再度接続してください。
USB バスパワー電圧不足です	バスパワーに異常がある。	本機の電源を切って USB 接続ケーブルを抜き、再度接続してください。
不正コピーされたファイルです	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください (☞ P.63)
初期化に失敗しました	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください (☞ P.107、P.111)。
このファイルは再生できません	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルをご確認ください (☞ P.52)。
ファイルを選んでください	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください (☞ P.49)。
移動できないフォルダです	同じフォルダに移動しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動できないﾌｧｲﾙがあります	移動先に同一ファイル名がある場合。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです	本機で録音した MP3 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
表示画面に何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.15）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.15）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
	AM ラジオ受信中に、［**AM画面表示**］の設定を［**OFF**］にしている。	AM ラジオ受信中に、表示画面を点灯させる場合、［**AM画面表示**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.103、P.105）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換してください（☞ P.15）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.16）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.18）。
時計の時刻自動補正が働かない	NHK 第一放送が受信できていない。	窓際など受信状態の良い位置でご使用ください（☞ P.19）。
	NHK 第一放送を放送リストから消去している、またはAM放送局を自動登録していない。	AM放送局を自動登録し直してください（☞ P.84）。
	本機の時刻が現在の時刻と５分以上ずれている。	日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.107、P.108）。
登録済みの放送局を選んでも受信できない	ケーブルテレビ局などの放送波を使ってアンテナステーションで放送局を登録した場合、外出先でイヤホンや FM ケーブルアンテナから通常の放送波を受信すると、その登録した周波数を使って受信することができません。	アンテナステーションで放送局を登録したあとに、外出先で受信するための放送局を新たに追加してください。 本機の放送局リストには、FM ラジオを最大 20 件まで登録できます（☞ P.84）。
予約した番組が録音できない	本機の時刻が現在の時刻と合っていない。	日付・時刻を合わせ直してください（☞ P.107、P.108）。
	電波が弱くラジオの受信状態が良好ではない。	窓際など受信状態の良い位置で使用してください（☞ P.19）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.63）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.67、P.70）。
音が聞こえない	イヤホンが接続されている。	内蔵スピーカで再生する場合、イヤホンを取り外してください。
	［**スピーカ出力**］の設定が［**OFF**］になっている。	内蔵スピーカで再生する場合、［**スピーカ出力**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.103、P.105）。
	受信周波数が合っていない。	登録した放送局リストから選ぶか、周波数を合わせてください（☞ P.39、P.41）。
	音量が［**0**］になっている。	ボリュームを調整してください（☞ P.40）。

症状	考えられる原因	対処方法
録音のレベルが小さい	マイク感度が低い。	マイク感度を［**高**］にしてもう一度録音してください（☞ P.96、P.97）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。
録音したファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音音質**］の設定で、［**長時間音質**］を選んでいる。	［**録音音質**］の設定で、［**高音質**］を選ぶと、ステレオ録音できます（☞ P.96、P.97）。
録音したファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.56）。
雑音が入る	録音中に本機をこすったりした。	——
	電波が弱く受信状態が良くない場所で放送番組を受信・録音した。	窓際など受信状態の良い位置でご使用ください（☞ P.19）。
	自動車が通る道路の近くなどで、放送番組を受信・録音した。	ＡＭラジオは特に周囲の状況により受信状態が左右されます。自動車やバイクのウィンカーやイグニッションなどで、ノイズが入ってしまう恐れがあります。
	テレビ、携帯電話や蛍光灯などの電化製品の近くで使用している。	電気製品から離れるか、これらの電源を切ってから使用してください。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.91）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください（☞ P.117）。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングを起こしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングを起こす恐れがあります。録音モニターはイヤホンのご使用をおすすめします。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方向へ向けないなどの調整をしてください。
インデックス／テンプマークがつけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.54）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.91）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
転送したファイルが見えない	フォルダ内のファイル件数が 200 件を超えている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.63）。

アクセサリー（別売）

オリンパス製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

単 4 形ニッケル水素充電池：BR404
持続性に優れた高性能充電池です。

ステレオマイクロホン：ME51SW
大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲のノイズの影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

コンパクトズームマイクロホン：ME32
三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

AM ループアンテナ：AN1
微弱な遠距離 AM 局からの受信を補助します。ノイズに強い同軸ケーブル（5m）を採用。コンパクトな構造で設置・取り付けは簡単にできます。

テレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

コネクティングコード：KA333
両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

用語の説明

用語	意味
インデックス／テンプマーク	ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。
音楽ファイル	CD やインターネット上から取り込んだ WMA（Windows Media Audio）、MP3（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）形式のファイルのことを音楽ファイルと呼びます。
ファイルロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。
停止状態	本機が録音、再生などの動作をしていない状態を指します。
ビットレート	1 秒間あたりに処理されるデータ量のことです。圧縮率を示す数値が高いほど音質は良くなりますが、ファイルの容量は大きくなります。
フォーマット	初期化とも言います。
フォルダ	ファイルを分類して録音するための保管場所（入れ物）です。
メモリ（メディア）	記憶媒体のことで、電源が切れてもデータは消えない構造になっています。本書では内蔵フラッシュメモリおよび microSD カードのことを指します。
VCVA	設定より大きな音を感知すると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。
BEEP（ビープ）音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側に USB 端子が必要です。

主な仕様

一般事項

- **記録形式：**
  MP3 (MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3) 形式
- **サンプリング周波数：**

録音音質	サンプリング周波数／ビットレート
［**高音質**］	44.1 kHz／ 128 kbps
［**長時間音質**］	22.05 kHz／ 48 kbps

- **周波数特性：**
  マイクジャック録音時：
  ［**高音質**］：40 Hz ～ 17 kHz
  ［**長時間音質**］：40 Hz ～ 9 kHz
  内蔵ステレオマイク録音時：
  70 Hz ～ 14 kHz
  再生時：
  20 Hz ～ 20 kHz
- **ヘッドホン最大出力：**
  3 mW + 3 mW (16 Ω負荷時)
- **記録媒体：**
  内蔵型 NAND FLASH メモリ (4 GB)
  microSD/SDHC (32 GB まで対応)
- **スピーカ：**
  φ 23 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵
- **マイクジャック：**
  φ 3.5 mm インピーダンス 2 kΩ
- **イヤホンジャック：**
  φ 3.5 mm インピーダンス 16 Ω以上
- **スピーカ実用最大出力：**
  250 mW (スピーカ 8 Ω)
- **電源：**
  規定電圧：3 V
  電　　池：単 4 形乾電池 2 本 (LR03)
  　　　　　またはオリンパス製
  　　　　　ニッケル水素充電池 2 本
- **外形寸法：**
  112 mm × 50 mm × 16 mm
  (最大突起部含まず)
- **質量：**
  106 g (電池含む)
- **使用温度：**
  0 ～ 42℃
- **受信周波数：**
  FM ラジオ：76.0 MHz ～ 90.0 MHz
  AM ラジオ：531 kHz ～ 1,710 kHz
- **同梱品：**
  本体／アンテナステーション／AC アダプタ／AM ループアンテナ／FM ケーブルアンテナ／単 4 形ニッケル水素充電池 2 本／USB ケーブル／イヤホン／取扱説明書 (保証書付) ／かんたんガイド

録音時間 (めやす)

- **内蔵フラッシュメモリ (4 GB)：**

［**高音質**］	66 時間 30 分
［**長時間音質**］	178 時間

- **microSD カード (1 GB)：**

［**高音質**］	16 時間
［**長時間音質**］	43 時間

- **microSD カード (2 GB)：**

［**高音質**］	33 時間
［**長時間音質**］	88 時間

- **microSD カード (4 GB)：**

［**高音質**］	66 時間 25 分
［**長時間音質**］	177 時間 15 分

- **microSD カード (8 GB)：**

［**高音質**］	133 時間 35 分
［**長時間音質**］	356 時間 20 分

- **microSD カード (16 GB)：**

［**高音質**］	268 時間 5 分
［**長時間音質**］	714 時間 55 分

- **microSD カード (32 GB)：**

［**高音質**］	537 時間 10 分
［**長時間音質**］	1432 時間 25 分

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 小刻みに録音を繰り返すと、録音可能時間がこれより短くなる恐れがあります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。

1 ファイルあたりの最長録音時間：

［**高音質**］	約 74 時間 30 分
［**長時間音質**］	約 198 時間

電池持続時間（めやす）

■ プレイヤーモード：

内蔵ステレオマイク録音時

録音音質	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
［**高音質**］	約 31 時間	約 22 時間
［**長時間音質**］	約 33 時間	約 24 時間

ファイル再生時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 39 時間	約 25 時間
スピーカ再生時	約 14 時間	約 11 時間

■ ラジオ受信モード：

AM ラジオ受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 20 時間	約 16 時間

FM ラジオ受信時

再生状況	アルカリ電池	ニッケル水素充電池
イヤホン再生時	約 23 時間	約 16 時間

AM ラジオ録音時

アルカリ電池	約 16 間時
ニッケル水素充電池	約 12 時間

FM ラジオ録音時

アルカリ電池	約 16 間時
ニッケル水素充電池	約 11 時間

ご注意

- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きくかわります。

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

NHK 第一放送（周波数リスト）

地方	都府県	地域	周波数
北海道	札幌	札幌	567 kHz
	函館	函館	675 kHz
		江差	792 kHz
	旭川	旭川	621 kHz
		遠別	792 kHz
		名寄	837 kHz
		稚内	927 kHz
	帯広	帯広	603 kHz
	釧路	釧路	585 kHz
	北見	北見	1,188 kHz
		網走	1,188 kHz
	室蘭	苫小牧	945 kHz
		室蘭	945 kHz
東北	青森	青森	963 kHz
		八戸	999 kHz
	岩手	盛岡	531 kHz
		大船渡	576 kHz
	秋田	秋田	1,503 kHz
	山形	山形	540 kHz
		米沢	1,026 kHz
		鶴岡	1,368 kHz
	宮城	仙台	891 kHz
	福島	郡山	846 kHz
		会津若松	1,161 kHz
		福島	1,323 kHz
		いわき	1,341 kHz
関東	栃木	那須	594 kHz
		宇都宮	594 kHz
	茨城	水戸	594 kHz
		土浦	594 kHz
	群馬	前橋	594 kHz
	埼玉	さいたま	594 kHz
	東京	東京	594 kHz
	千葉	千葉	594 kHz
	神奈川	横浜	594 kHz
	山梨	甲府	927 kHz
		富士吉田	1,584 kHz
信越・北陸	新潟	高田	792 kHz
		新潟	837 kHz
	長野	松本	540 kHz
		飯田	621 kHz
		長野	819 kHz
		木曽福島	981 kHz
	富山	富山	648 kHz
	石川	七尾	540 kHz
		金沢	1,224 kHz
	福井	福井	927 kHz
東海	静岡	浜松	576 kHz
		静岡	882 kHz
	岐阜	岐阜	729 kHz
		高山	792 kHz
	愛知	名古屋	729 kHz
	三重	津	729 kHz
近畿	京都	舞鶴	585 kHz
		京都	621 kHz
	大阪	大阪	666 kHz
	滋賀	彦根	945 kHz
	奈良	奈良	666 kHz
	和歌山	和歌山	666 kHz
	兵庫	神戸	666 kHz

地方	都府県	地域	周波数
中国	岡山	岡山	603 kHz
		津山	927 kHz
		新見	1,341 kHz
	広島	広島	1,071 kHz
		福山	999 kHz
		庄原	1,161 kHz
	鳥取	米子	963 kHz
		鳥取	1,368 kHz
	島根	松江	1,296 kHz
	山口	岩国	585 kHz
		山口	675 kHz
		周南	675 kHz
		下関	1,026 kHz
		萩	963 kHz
四国	愛媛	新居浜	531 kHz
		宇和島	846 kHz
		松山	963 kHz
	徳島	徳島	945 kHz
		池田	1,161 kHz
	香川	高松	1,368 kHz
	高知	高知	990 kHz
		中村	999 kHz

地方	都府県	地域	周波数
九州・沖縄	福岡	北九州	540 kHz
		福岡	612 kHz
	佐賀	佐賀	963 kHz
	長崎	長崎	684 kHz
		福江	945 kHz
		佐世保	981 kHz
	大分	大分	639 kHz
	熊本	熊本	756 kHz
		人吉	846 kHz
		阿蘇	1,503 kHz
		水俣	1,341 kHz
	宮崎	宮崎	540 kHz
		延岡	621 kHz
		小林	1,026 kHz
		日南	1,341 kHz
		高千穂	1,584 kHz
	鹿児島	鹿児島	576 kHz
		名瀬	792 kHz
		阿久根	1,026 kHz
		大口	1,503 kHz
	沖縄	石垣	540 kHz
		那覇	549 kHz

索引

記号

＋－ボタン 11, 40, 49, 79, 106

数字

▶▶I I◀◀ ボタン 11, 50, 51

アルファベット

A

A-B ボタン 11, 41, 42, 60
AC アダプタ 21
AM 画面表示 103, 105
AM ラジオ 39
AM ループアンテナ 21

D

DRM 114

F

FM ケーブルアンテナ 21
FM モード 89, 90
FM ラジオ 39

L

LED 103, 104

M

microSD/SDHC カード 28

O

OFF タイマー 81
OK ▶ ボタン 11, 49

U

USB 端子 11, 26, 115

V

VCVA 96, 98, 123

あ

アンテナステーション 21, 25
アンテナステーション出力 103, 105

い

イコライザ 99, 101
イヤホンジャック 11, 20, 41
インデックスボタン 11, 53
イントロ再生 103, 106

お

音楽ファイル 52, 123
音声ガイド 32, 103, 105
音声フィルタ 99, 100
音量 40, 49, 79, 106

か

カードスロット 11, 28
外部スピーカ 23
外部マイク 47
カレンダー検索 56, 58

こ

コントラスト 103, 104

さ

再生 49
再生モード 99, 100
最近再生検索 56, 59
最近録音検索 56, 59
再生設定 99
再生範囲 100
サンプリングレート 52

し

しおり機能 99, 102
システム情報 107, 112
消去 🗑 ボタン 11, 63, 74, 88
初期化 107, 111
初期設定 30

す

スキップ間隔 99, 102
スキャン感度 89, 90
ストラップ取り付け部 11, 14
スピーカ出力 103, 105
スリープ 107, 108

せ

設定 🔧 ボタン 11, 61, 84, 91, 96, 99, 103, 107
設定リセット 107, 109
全ファイル検索 56, 59

ち

地域選択 33, 87

て

停止（■） ボタン 11, 43, 49
テレビ受信用アンテナ 23
電源／ホールドスイッチ 11, 16, 18
電池カバー 11, 15
電池選択 30, 107, 108
電池充電 25
電池表示 12, 13, 14, 16

テンプマーク ……… 53

と

動作環境 ……… 113
時計設定 ……… 107, 108
時計補正設定 ……… 107, 109

な

内蔵ステレオマイク ……… 11, 96, 97
内蔵スピーカ ……… 11, 103, 105

に

日時設定 ……… 31, 107, 108

の

ノイズフィルタ ……… 89, 90

は

バックライト ……… 103, 104

ひ

ビープ音 ……… 103, 104
ビットレート ……… 46, 52, 123
表示画面 ……… 12, 13, 14

ふ

ファイル移動／コピー ……… 92
ファイル検索 ……… 56
ファイル情報 ……… 61
ファイル分割 ……… 94
フォルダ検索 ……… 56, 57
ファイルロック ……… 91
部分リピート再生 ……… 55

ほ

放送局検索 ……… 56, 58
放送局リスト ……… 39
保存先 ……… 36, 67, 70
ホールド ……… 18

ま

マイク感度 ……… 96, 97
マイクジャック ……… 11, 47

み

未再生ファイル検索 ……… 56, 59

め

目覚まし ……… 75
メモリ ……… 60, 107, 108, 112, 123

も

モードボタン ……… 11, 31, 35
戻るボタン ……… 11, 62

よ

予約ボタン ……… 11, 46, 66
予約録音 ……… 66, 72, 74

ら

ラジオ局登録 ……… 33, 84
ラジオ設定 ……… 84
ランダム再生 ……… 101

り

リストボタン ……… 11, 39, 56, 60
リピート再生 ……… 100

ろ

録音 ……… 43
録音音質 ……… 96, 97
録音終了時間 ……… 46
録音設定 ……… 96
録音表示ランプ ……… 11, 103, 104
録音ファイル ……… 36, 46
録音（●）ボタン ……… 11, 43

MEMO

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ. 本書のご提示がない場合。
   - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN）
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿 2 の 3 の 1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1年	無料	
品名	ラジオサーバーポケット	型名	**PJ-20**
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名			

OLYMPUS

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。

また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。

オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）

フリーダイヤル

☎ 0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。

お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

☎ 0120-971995

営業時間：平日 8：00～21：00
土・日・祭日 9：00～17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。